滿洲日報
一月二十五日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

政、民兩黨の純理派は軍民離間問題を追及
政府方面は激化を憂慮

【東京特電二十五日發】議會の對軍部批判が漸次高調され二十四日衆議院における所謂軍民離間策に對する聲明問題が論議さるゝに至つて、そのクライマックスに達したが、今後この問題が如何に發展するかといふに政民兩黨内部のリベラリストはこの機會に追究の手をゆるめず、軍部の政治關與を是正して議會政黨政治復興の氣勢を揚ぐべしと敦圉いてゐるが、一方にはこの情勢の激化によつて軍部及び一部右翼系の反撥を買ひ、徒らに空氣を險惡ならしめ折角平靜に歸しつゝある世相を再び惡化する端を開くことを恐れ、ここに政府方面は極度に憂慮して議會における軍部攻擊的論調がこれ以上發展せざらんことを希望してゐるので、政黨首腦部はやゝ警戒的態度を執つてゐるが、要するに政民兩黨の微妙な關係及び各黨内の各派對立關係によつて意外の情勢を惹き起すであらう

軍部批判活潑豫想
けふ第三日目の質問陣

【東京特電二十五日發】二十五日の兩院は依然質問戰を續けるが、貴族院では劈頭日程を變更して政府提出の農業倉庫法中改正案を上程、委員附託として後、大河内輝耕子、田中館愛橘氏等の質問が行はれた、衆議院々は政友會の八角三郎、民政黨の小川鄉太郎、政友會の原口初太郎氏の順で質問演說を行ふが、政友會の兩氏は軍人としての立場から軍部の軍紀問題及び在鄉軍人會に依る政黨解消運動に對して相當痛烈な質問を行ふべく、前日に引續き議會における軍部批判が一層活潑となるであらう

秘密會の答辯で政府は押通す
軍民離間問題質問に

【東京二十五日發國通】二十四日の衆議院本會議において政友會の安藤正純氏の質問が偶々過般陸海軍協同にてなされた軍民離反に關する聲明書問題に言及し遂に秘密會となり、一般の視聽を集めたが、これは當の質問者たる安藤正純氏自身も意外とする位のことで、政府が豫て答辯の打合せをなす萬端の用意を怠つたゝめその處を衝かれた觀がある、然し寄合世帶の内閣の下では豫じめ答辯の打合せをなす事は出來ない事情にあるから二十四日の秘密會要求は臨機の處置として止むを得ないものとしてゐる、而して二十四日の論議に刺戟され軍紀問題が今後どの程度迄發展するか固より豫想し得ぬが、豫算總會又は貴院本會議等で多少論議される事あるも二十四日の秘密會でなしたる政府の答辯を以て押通す肚を極め、これ以上の發展は見ないだらうとの觀測の下に政府首腦部は今後の成行を注目することゝなつた

綱紀問題糾彈と政府の答辯方針
首相けふ商相と協議

【東京二十五日發國通】齋藤首相は二十四日午後五時半衆議院秘密會散會後、院内大臣室で中島商相と會見、同日午前首相が伊澤、上山兩氏に綱紀肅正問題に關し訪問を受け、その際兩氏から製鐵合同問題に關し政府は評價審査委員會をなして嚴正なる評價をなさしめたと稱するも、合同成立の上は重役に就任することは既定の事實と見られる人物をこの委員に加へたことは果して妥當なりや、その他帝國人絹問題等につき質問を受けた會見に答を說明し、更に首相から兩氏の訪問は二十六日の貴族院における政府糾彈的質問の伏線と見られるから政府においても充分愼重な態度を以つて臨まねばならぬと種々對策を協議の結果、政府は若し貴族院において質問があれば中島商相をして堂々その間の經緯を說明せしめ疑惑を一掃することに方針の決定を見、會見二十五分で別れた

綱紀問題調査
貴院研究會で

【東京廿五日發國通】製鐵合同問題、帝國人絹株式問題、教育疑獄問題等が問題となつて來たので、貴族院研究會は問題に對する認識を正確にするため政務審査部で調査する事となり公正會並びに同和會も同樣調査し、その結果如何によつては團體的行動をとり代表者をして質問せしむるに至るやもしれぬ

議會政治擁護
空氣漲る

【東京二十五日發國通】今議會は政友會代表床次竹二郎氏の議會政治擁護と政黨大同團結の熱辯、續いて民政黨代表町田忠治氏の憲政擁護の强調により冒頭から勢からざる活氣を呈し、政黨も今議會を轉機として兎も角立直りの方向に漸次進んでゆくのではないかとの感を與へたが、更に安藤正純氏の軍民離間問題に對する演說は軍部の態度に一投石を與へたもので、從來兎角軍部問題となればいふべき事でも質さずして議會自ら國政審議の權限を放擲したかの觀があつたに對し、今議會は軍部問題に對しても國政審議の必要上言ふべき事はどしどし質訊せんとするの空氣が濃厚になつて來た、勿論政黨各派の意嚮は決して軍部打倒とか又は反軍部熱の鼓吹といふが如きではないが議員として糺すべき事があれば假令軍部問題にせよ徹底的に糺問しやうとの空氣が釀生されて來たのである、この意味で今後も本會議又は豫算總會で軍部問題に對する質問がどしどし現れて來る模樣であり、議會政治擁護の空氣が漸次漲つて來てゐる

新疆省の西南部に回教徒の獨立政府
蘇聯の援助で建設

【上海特電二十五日發】新疆省西南部の回々教徒は喀什噶爾に新政府を組織し獨立を宣言したが、その背後にはロシアの援助あるものと見られてゐる

【南京二十五日發國通】モスクワ來電によれば、新疆省南部喀什噶爾に新獨立政府成立し支那との離脫を聲明した、新政府の首腦は同地方の要衝和闐の回々教宗長の一族薩畢脫杜爾拉と稱し新疆省西部一帶の領有を宣言したが、その獨立宣言中「在新疆の漢民族地區」なる語が目を惹いて居る

汪氏の對日方針を承認の上援助
第四中全會議決議

【上海特電二十五日發】南京來電によれば、汪精衞の過去及び現在の對日外交方針は二十四日第四次中央全體會議において正式に承認され、これを援助するに決議した

【南京二十五日發國通】第四次中國全體會議本會議第三日は蔣介石以下委員百二名出席、午前九時開會、秘處長葉楚傖より第三中全會議錄を朗讀の後、會員提出の提案十三項を上程審議の上十二時散會

國民、國際兩精神の作興方策如何
田中館博士の愛嬌ある質問
けふの貴族院本會議

【東京二十五日發國通】質問第三日目二十五日の貴族院本會議は午前十時十分振鈴、同十八分開議、日程を變更

一、農業倉庫業法中改正法律案（政府提出）を上程後藤農相提案理由を說明し

阪本釤之助氏（同和）籾貯藏倉庫不足に對する農業倉庫の關係如何、米穀統制法と本法との關係如何

と質問、これに對し

後藤農相 兩者の間には制度上直接關係なく、從つて本法の改正が籾貯藏の上に重要影響なきも或程度迄效果はあると思ふ、又今回の改正で國費膨脹の恐れはない

と答へ二、三應答の後委員附託、次いで施政方針演說に對する質疑に入り

田中館愛橘氏（無）登壇 國民精神と國際精神の作興に就てこの兩精神の理解融合を缺くところに社會混亂、國際會議停頓の素因がある、我々は積極的にこの世界混亂を指導する責がある、政府の方策如何、なほこれにはその人を得ることが最重要だが政府の方針如何

と物理學界の實例を引きながら例の愛嬌ある質問なので場内なごやかな氣分が流れる、田中館博士更に熱心な口調でメートル法問題に觸れ

メートル法條約には我國も參加し本年が丁度實施期となつてゐたが、政府は一部反對のため五年間延期する事としたのは如何なる理由に基くか、五年後においては之を如何にするか

と詰め寄つて降壇

鳩山文相 國民精神と國際精神とは古來矛盾相剋の間にありこれが調和は國際友誼の特徵を發揮する事にあると思ふ、日本精神の發揚でも同樣で、結局國際協調主義と矛盾する事はない

田中館愛橘氏

この方針により思想善導に當るつもりだが、その人を得る點においては師範教育改善其他の方法を研究してゐる

中島商相 メートル法實施の第一次猶豫期間は本年六月で切れるがその前後の社會各方面殊に財界の實情等に鑑みると、なほ準備不足と認められる點尠くないので更に五年延期とした、これで該法實施の根本方針を變更したのではない

田中館博士再登壇して質問を補足し更に例のローマ字問題、地球磁氣調査に關する豫算につき政府の方針を質して降壇

齋藤首相 思想善導については先刻鳩山文相よりお答へした通りだが、善良なる有識階級の指導を最重要と考へてゐる

廣田外相 國家なくして國際協調なしとの觀念を持ち國家を本位として萬邦協和の精神に基き今後の文化の施設を進めたいと思ふ、各國の文化を通じ相互諒解し合ふことも一方法と思ふ

鳩山文相 ローマ字問題は目下ローマ字調査會で研究中でその結果に待つ

中島商相もメートル法問題につき重ねて簡單に答へ正午散會

ウクライナ分離運動と蘇聯民族政策更新（下）
新村龍二

而もかゝる反ソ民族主義者は農務人民委員會、司法人民委員會、文部人民委員會の如き國家の樞要機關に巢喰ひ、その位置を利用しそれ／＼の分野においてウクライナ分離運動を促進してゐたのだ。その優なるものにスクルイプンクがある。彼はウクライナ社會主義ソウエート共和國の文部人民委員長にして黨方面に於てもウクライナ共產黨組織部員なる最高位置にあり、曾て一九一八年四月ウクライナソウエート政權が解散されその代行機關として人民書記局が組織された時、前記コシオールや現ロシア共和國文部人民委員長ブブノフ等と共にその委員となつた程の人物である。

そのスクルイプンクが民族運動の音頭取となつてウクライナ分離運動に沒頭してゐたのだ。ソ聯邦の新土地利用法は土地は各共和國の所有ではなくて全聯邦の所有であると規定してゐるがかゝる法律を採用すれば、各共和國はその領土を有せずしてその政府を有するといふ奇現象を呈することになると指摘して、彼は巧妙にウクライナ領域の分離獨立を宣傳したものである。

▼……▲

周知の如くウクライナはソ聯邦民族共和國の一であり、民族共和國としてウクライナ民族文化の發展、ウクライナ語の使用を獎勵してゐる。然るにウクライナ民族主義者はこのウクライナ化政策を利用し、經濟的、國家的、文化的にソ聯邦とウクライナとの連繫を切斷するため、ウクライナ語の中でロシア語に似てゐる語はこれをドイツ語ポーランド語に換へ、學校において極端なウクライナ化を行つた。またウクライナ民族主義者は、ソ聯邦が民族平等主義に基き大ロシア的愛國主義を排擊してゐるのを奇貨としてウクライナ國民主義を强調した。此處にソ聯民族政策の痛し痒しな處があるのだ。

これに對し昨年末の前記ウクライナ共產黨、中央委員會、中央統制委員會聯席會議においては、大ロシア愛國主義は依然として主要なる危險であるが、これは共和國殊にウクライナにおいて、帝國主義的干渉論者と結託してゐるウクライナ國民主義が主要なる危險であるといふことゝ矛盾するものではない、反革命派に支持される大ロシア愛國主義者とウクライナ國民主義者とはウクライナをソ聯邦より切離す立場において結びついてゐる、とウクライナ國民主義を排擊し、大ロシア勤勞者とウクライナ勤勞者の連繫促進と國際主義の確立を强調した。

かくてこの政策を宣傳實現するため、各種機關の大掃除をなし多數の映畫館を新設し、ソ聯巨頭の著作をウクライナ語にて大々的に播布し、ウクライナ共產黨員の再教育を行ふなどソ聯當局は今や大童になつてゐる。

▼……▲

而してウクライナ民族運動そのものは昨年を通じ保安機關の活動により殆ど潰滅し、ウクライナには斷乎としてソ聯邦の根本政策が行はれることゝなり、昨年は農產物も豐作で穀物調達も豫期の如く進捗したやうであるから、さしも尖銳化したウクライナ分離問題も一段落と見ることが出來る。併し尚ほこれを以てウクライナ問題が金輪際に氷解清算されたと考へるは早計である。この運動は過去數度の事件と現在ヨーロッパ政局の推移に鑑み、いつ再び擡頭しないとも限らない。何れにせよソ聯邦の民族政策及び農業改造政策の成否を示すバロメーターはウクライナである。この意味においてウクライナの將來は直にソ聯邦そのものゝ將來をトするものといはなければならない。（完）

滿洲國を正式に「承認の外無し」
イギリス有力紙論評

【東京二十五日發國通】二十四日確實なる筋に達した情報によればイギリスにては最近滿洲國の健全なる發達を見てから、一般に滿洲事變に對する認識を改め來り、去る十七日ロンドンで發行された有力新聞一、二紙には早くも「イギリスは結局滿洲國を正式承認する外なかるべし」との論旨が掲げられた由である

蘇大使館襲擊は虛報
大田大使に回訓

【東京二十五日發國通】去る二十二日大田駐露大使がソコルニコフ氏と會見せる際、ソコルニコフ氏は二十日午後十時頃二百名の暴漢が東京のソウエート大使館を襲擊せんとしたが、幸ひ警官の阻止によつて事無きを得たが、今後斯かる事件が再發せぬやう充分取締られたしと述べたので、二十四日大田大使は外務省に照會し來た、外務省では斯かる風說がアメリカ方面にも眞しやかに傳へられて日蘇間に危機が存在するかの如く觀測を與へてゐるに鑑み、二十四日左の如く事情を明かにした訓電を大田大使宛に發した

建國會演說大會終了後決議文を當地のソウエート大使館に手交せしむべく代表者二十四名が麻布の蘇聯大使館前に差掛つた際右の内八名が警官に檢擧されたものであるが事實が誇大に宣傳されたものである

地委聯合會の幹事會

附屬地全地方委員が集まつて地方行政について協議するところの本年地方委員聯合會は三月十日に奉天において開催の豫定であるが、數日中に常任幹事會を奉天に開催して日取及び協議事項を決定する筈、本社よりは中西地方部長、多田地方課長以下地方係員が當日出席するが、附屬地行政の移管問題が論議されてゐる折柄、來るべき委員聯合會において課稅の直接利害を有する委員等の討議がある筈で注目されてゐる

署長打合會議

關東廳警務局では二十四日午前十時から財務局長應接室において立川奉天、高山新京、前田安東、營口松本、猪苗代四平街の各署長を招致、本廳側より本田高等課長其他出席來る三月一日における警備並びに奧地派遣警察官に對する事項に關し協議會を開いた

大同學院試驗委員

【新京二十五日發國通】大同學院生徒試驗委員皆川人事處長、古海給與科長、永井財政部關稅科長、江藤民政部調査科長の一行は二十七日午後十時新京發列車で渡日の途に就く事となつた、なほ今回內地方面よりの採用者は約五十名の豫定試驗地は東京京都仙臺福岡京城である

ばいかる丸 二十六日午前九時半大連港外着の豫定

人事

▲石川鉄郎氏（宇品陸軍運輸部庶務課長）二十五日天津丸にて輸送業務視察のため天津へ
▲岡野勇氏（大連市助役）市立中學設立につき廿五日關東廳訪問

蛇角

◇廣田外相、九州辯でセウケ（策）のこと）外交を論ず。
◇ズウ／＼辯の町田ツウ治君にこれが通じたかどうか。
◇蘇國大使館を襲つたといふ二百名の暴漢、實は二十四名の面會人だつたとは。
◇蘇滿國境、黑龍江の羽音も恐らくこの類だらう。
◇「市中」設立の議、衝天の勢ひを以て輿論を喚起。
◇無論結構だが出來ぬ前から、有頂天と間違はれぬやう。
◇新商四年生が結束して「ナラッテヤランゾ」と來た。
◇寒乘りの兒等焚火する船の中。

大連から旅順へ（四）
野上大[illegible]

桃源臺の文化住宅

滿洲は到る所、住宅の完備さ、土地の風光さを取入れられない殺風景の感があつたが、而も桃源臺の文化住宅地は、大連郊外によく附近の景色を調和よく美術的に配置され、紅や青の瓦の屋根に白い壁とが鮮かに彩られて畫の樣な美觀を呈してゐる。

星野總務司長

【新京二十五日發國通】星野財政部總務司長、松田主計處長は日滿經濟金融統制問題並びに滿洲國海港稅關北鮮設置その他重大用件を携へて日本政府と折衝のため二十七日新京發東上の途につくことゝなつたが、星野、松田兩氏の東上により各方面より注目されてゐる國幣の關東州內發行及び滿洲國稅關の羅津、清津設置等も圓滿解決するものと期待されてゐる

生活の虹（24）
菊池寛作
志村立美畫

既に愛へ（三）

自動車を、降りると、身輕で、勢ひよく、グーンと扉をあけて、五臺のエレヴエーターにその人の姿を眼を皿のやうにして求める。一臺、一臺、また一臺。どれにも綾子の姿が見出されなかつた。

子爵は、がつかりと、氣落ちがして扉をあけて、彼の乘るのを待つてゐる一臺に乘つてしまつた。二階で、呼んでゐるらしく信號が白くなつてゐる。いつも昇りに對して乘客のない二階なので、停められるのも心外だつた。綾子に會へないなら一氣に四階まで、昇つてしまひ度かつた。二階で、乘つた人は、

がけない綾子だつた。休憩時間中らしく手に、參考書のやうな書籍を一冊持つた、綾子だつた。

「ヤア」

子爵は、自分でも、はづかしい位大きな聲をかけてしまつて、はッとなつた。

彼としては、どんなに大きな叫び聲をあげても、間に合はぬほどその場合綾子の姿は、珍しく思ひがけないものだつたのである。

綾子は、ニッコリ微笑して、輕く挨拶した。

「どちらへ……?」

「ルーフへ日向ぼつこに參りますの」

彼は四階で、降りてしまふのが實に勿體なく惜ない思ひがしたが止むを得ない」

子爵は、自分の社へ來てしまふと、束の間でも綾子に會へた事を喜びとした。

机の前に腰を降ろして、まづ、キヤメルの一本に火をつけて見たが、彼としてなすべき事務が、澤山あるわけでもなく、心はうろうろと、ルーフへ上つて、勉强をしてゐるであらう綾子の上にのみ走つた。

（僕が、ルーフへ上つて行つたら彼女は憤慨してしまふだらうか。ほんの二言、三言、このキヤメルが、吸ひ盡されてしまふ間だけ、僕が、傍にゐても惡いことではないだらう）

さう考へると、子爵は、思ひ切つて、またエレヴエーターに乘ると、

「八階へ」

と、命じて、ルーフに出てしまつた。

屋上の、風は、十一月も末の、肌に冷たく嚴しかつた。日は麗かで、昇降機室の蔭は、風も、よけられて、暖かさうであつたが、子爵は、

「こんな處で、勉强するなんて、風邪をひいてしまふぞ」

と、口に出して呟きながら、昇降機室の壁に、背をよせて、餘念なく、本を讀んでゐる、綾子を、なるべく驚かせないやうに、數歩手前で、

「ヤア、御勉强ですか」

と、聲をかけた。

綾子は、矢張り、迷惑さうに、默つて、微笑するだけだつた。

「僕が、來て、お邪魔でせう。直ぐ降りますよ。僕はルーフは初めてですし、ちよつと、廣い空を眺めたかつたのです」

「私達とちがつて、いつでも眺めてゐらつしやいますのに……」

「皮肉ですか」

と、云ひながら、子爵は、綾子が、自分の愚しい出現を、さう迷惑がつてゐない樣子に、だんだんと安心して、心の平靜を取もどした。

社員會强力内閣 大統領は誰？

社員會幹部の選擧近づき 下馬評に上る人々

滿鐵社員會昭和九年度評議員の選擧は過日行はれその結果は沿線の一部分を除いて全部確定したがこれと同時に九年度社員會の幹部の陣容も

二月三日　聯合會長選擧
同　五日　幹事選擧
同十二日　幹事長選擧

と日程を逐うて選擧を行ひ、新幹事長確定後、その指名によつて常任幹事および各部々長と副部長を決定し、こゝにいはゆる

社員會内閣 を組織する段取りとなつて居る、而して社員會は昨秋來滿洲は固より内地方面にまでその存在を認められるに至つたので、自然幹事長の地位も一層重要視されるに至り、次期幹事長が何人となるかは理事後任問題のごとき興味をもつて社内外から注視されて居り、現社員會當局も出來るだけ速かに次期幹事長候補者を決定すべく二十五日午後四時より社員倶樂部に候補者選定に關する役員會を開くこととなつた、現社員會當局の方針としては幹事長候補者の資格が新規程によつて擴大されたことを根據として、出來るだけ廣く

社内に適任者 を求むべく目標を在大連評議員中の有力者又は聯合會長に置き大體この範圍より求めんとして居る、これによる時は在大連評議員中の課長級は伊藤武雄(審査役)内海治一(經調幹事)奥村愼次(經調主査)伊藤太郎(經調主査)岡田卓雄(經調主査)の五氏であり、聯合會長に選擧されることに略決定されて居るのは中島宗一(第一聯合會)千種峰藏(第二聯合會)の兩氏で、この他に總務部審査役粟屋秀夫氏は幹事長候補として特に審査役室にて評議員は選擧せずに置いたから當然候補者の話題に上るべく即ち總計八名の候補者が擧げられてゐるわけである、この内伊藤武雄氏は八年度幹事長として活躍したが幹事長は留任しないのが前例なので、當然辭退しその代りに一評議員として活動すべく、奥村、岡田、内海の三氏は各種の兼務があつて多忙だからその點でまづ就任不可能と見られ、結局、中島、千種、伊藤(太)、粟屋の四氏が

第一候補 に立つものと見られて居る

なほ九年度の社員會は强力内閣を組織すべしとの説が高いので幹事長は何人が就任するもこれを助くる常任幹事には上記課長級の有力者と幹事長の少壯分子を適宜に配置し、さらに各部役員中にも出來得るかぎり社内の指導的地位にある人物を推さんとして居り、九年度の滿鐵社員會は前例を見ざる充實ぶりを示すこと[illegible]模樣である

賴む男と別れて 女性の自殺

早春の悲譜 手切金二千圓を枕頭に置き 遺書 黄泉より御成功を

唯一人の身寄りもない女が愛する男と別れて總てに希望を失ひ儚く散つて行つた、二十五日午前四時頃市内若狹町三〇番地住友ビル居住の大連會館勤務竹下久氏方に二十四日内地から來て一泊した許りの靜岡生れ芝山雪枝(三)の呻り聲に、竹下氏の妻女が眼を覺まし揺り起したところ枕元にアダリンのあるに驚き、直に越後町梶田醫師を招いて應急手當を施し大連署より渡邊檢證官が檢證したが瀕死の状態で生命は覺束ない、彼女は二三年前まで北一席[illegible]抱萬歲の藝名を以て大檢に出てゐる内、某氏に落籍されて囲ひ者となり住友ビル竹下氏の隣室に居住してゐたものであるが

昨年十二月某氏との間に別れ話が持ちあがり手切金二千圓を貰ひ同月一先づ内地に歸國してゐたが、再び昨二十四日飄然と來連し竹下氏方を訪れたので夫婦は大いに喜び歡待し、夜は六時頃から竹下氏の妻女と共に大連會館に赴き、散々踊り抜き愉快に十一時頃歸宅就寢したもの枕元には旦那だつた人から別れる時貰つた二千圓の小切手を惜しげもなく抛り出し警察、竹下妻女と吉田といふ三人に宛てた遺書があつたが、警察と竹下氏妻女宛のものは生前の知遇を感謝し併せて迷惑をかけて濟まぬ旨を書き殘してあり吉田といふ人物宛には

望の綱も命の綱も切れました、吉田樣貴男は私のすべてを御存知でしたわれ、妾は貴男樣の幸福のために死んで行きます、どうぞ一生懸命働いて大連一の實業家に成つて下さい、遠いところから貴男樣の幸をお祈りしてゐます去り行く雪枝より(原文のまゝ)

とあり、吉田といふのは山縣通りエリー商會の主人であることが判つたが、兎も角男と別れて内地に歸つたもの、たれ一人として賴るところないのを悲觀して自殺を決意し懷しい大連の地に再び戻つて竹下氏方を選んだものらしい、なほ南向の窓よりサン〳〵と入る日射を受けた八疊の間で刻々と死に近づきつゝある雪枝の枕元で係官が靜かに死の叫びを聞いてゐた

氷ホツケー 選手權大會

大連氷上競技聯盟ホツケー部では來る二月一、二、三日(豫選)四日(決勝)の四日間に亘つて大連アイスホツケー選手權大會を開催することとなつたが參加希望チームは參加料一圓を添へ滿鐵地方部學務課體育係氣付大連氷上聯盟宛申込れたしと

尚主將會議は卅日午後七時よりマルキタ地下室に於て開催の筈

ヘロ密造工場 また柳町で發見

市内柳町八五番地の宏壯なる建物内にヘロイン密造の大工場あるを大連署で突き止め二十五日午後零時半同署司法係及び關東廳刑事課では刑事召集を行ひ自動車三臺に分乘し現場に急行した、同家の標札には中鉢正雄(二五)とあり可成り久しく當局の目をかすめてヘロ密造に從事してゐたものらしく、三澤昌幸(二五)の外關係者多數に上る見込みで目下犯人檢擧に努めると共に大々的に家宅捜査を行つてゐる

問題の家(×印は密造場所)

跋扈する邪教

毆られて病が癒ると信ずる女 殺した犬の血を神前に献ぐ 内偵して斷乎摘發

醫藥によらずして萬病を治癒すると怪しげな祈禱で無智な民衆を迷路に追ひ込む邪教の跋扈は幾多の社會的悲慘事を生み沙河口署管内では自分の夫が天然痘患者とも知らず祈禱師のいふがまゝに豚饅頭の中毒と信じ、怪しげな祈禱をするうち遂に死亡したといふ戰慄すべき實例さへあり、邪教取締に關しては各署で非常な注意が拂はれてゐる矢先、大連署管内に居住する祈禱師二、三名について最近奇怪な噂が立ちその最も恐るべき一二の例を左に示す、これ等何れも邪教が生んだ悲劇として世間に取沙汰されてゐるを大連署高等係で探知し目下内偵の歩を進めつゝあり、事實判明次第徹底的に檢擧する筈であるが、その噂は戰慄すべき怪奇な事實が暴露されるものと見られてゐる

A 流行病で苦しむ妻を夫が祈禱師の言を信じ神が乘り移つてゐるのだと云つては虐待し、妻も亦それと信じて夫に毆打されるを信じてゐるといふ怪奇な家庭があることが發見された、また

B 一家次から次へと病氣になるので某祈禱師に占つて貰ふと飼つてゐる犬の前世が狐であつて、その犬が祟つてゐるのだとの御託宣に犬を撲り殺し、したゝる血を神前に捧げ病人を醫師にも見せず放つて置いたといふ無智な家庭――

皆よく働らく 俺の責も重い

川原少將奉天で語る

【奉天特電二十五日發】熱河聖戰に迅速隊の驍名を馳せた挺身隊長川原少將は幕僚三十三名とともに北滿の各地を視察し、二十四日原隊熱河に歸還するため來奉、瀋陽館に一泊の後二十五日奉山線急行で歸還したが

ポクラニーチナヤから北安、それから鐵路總局の八同自動車線にも乘り各地を見て來たが何れも日本の勢力溢るゝものを感じて全く感激した、その間軍人のみでなく日本人誰彼の區別なく身を賭して活動してゐる、自動車運轉手等は一介の雇員等がそれでも軍人に劣らない活動をやつてゐる、あゝした心境に行けば行くほど擧國一致をやつて心強く感ずる

それより話は熱河に轉じ新部隊と交替するといふことは奉天に來て初めて聞いたのだ何れ交替するときは再び奉天へ來るから熱河の思ひ出もその時に語らう、只自分の部下も數百の死傷者を出し、而も遺族の中名譽の戰死者の母親の發狂したといふ事實が三人もあるのを自分は知つてゐるのだ、國家のためと言へ遺族の心持を思ふと自分の心持は暗然たるものがある、自分等は長城の露と消ゆることをお互ひに約してなほ今まで生き長らへてゐるが、自分の姿を顧る時あゝ實に自分の責任と努力のより一層の重大さを感ずるのだ

と眼に露を光らす將軍を見て記者もツイ眼頭に熱きものを感じた、斯くて定刻多數の見送りを受けて任地熱河に向つたが治安維持については全滿既に平定に歸したと朗かに語つてゐた

『北滿雉』の洋行

ロンドン人の食膳へ 一萬五千羽進出

北滿雉のロンドン進出……シベリアから北滿にかけて無數に棲息する雉が目下十六番バース繫留大沽洋行扱ひのサベドン號で和記洋行の手を經て三千十七梱、百八十屯その羽數にして一萬五千羽、すつかり荷造りされ凍つたまゝ船艙におさめられ印度洋を渡つて遙々ロンドンの市中に送られる事となり二十四、五兩日に亘つて滿鐵冷藏車で續々南下船積されてゐる、二十六日出帆の豫定だが雉はこの外に丸二洋行扱ひのもの約四、五噸、これは安奉線を中心とする南滿もの

かうした雉の進出ぶりは海運界に一つの話題を提供したところであるが更に第二船として二月に入つて大量の雉がロンドンを襲擊する筈である、右につき當の和記洋行では

一梱少くも五羽位は居るでせう大變な數量です、滿洲事變前までは大抵ウラジオ經由で送られてゐたのが事變と共にポクラが閉鎖されて以來南下して大連經由で送られる事になつたんです、これは稅關の關係で一月、二月三月の三ケ月の間しか送れないのでその間にと云ふので送り主も努力してゐるわけです、かうして大量輸出は本年最初の事です、雉はすべて毛のまゝですがこれから印度洋を渡つて行く事ですし一つの冒險である事は事實です

深夜の泥棒 新京百貨店へ

犯人は滿人……すぐ御用

【新京特電二十五日發】二十五日午前三時頃市内日本橋通り新京百貨店の北通用門の硝子窓を破壞し櫻井商會方に侵入し銀狐毛皮一枚赤狐毛皮五枚、獺毛皮十一本等計千五百圓の毛皮類を竊取逃走した事件に俄然緊張した新京署では敏腕犯人逮捕に努めたが、同署谷本刑事、孫巡補は右犯人が東一條通り滿人宿屋興合公司方に潜伏してゐるのを突き止め難なく逮捕した、犯人は山東省生れ住所不定王一三(二九)と稱し他に共犯者あり目下引續き嚴探中

橫領發覺 同發盛店員が

市内敷島町八番地同發盛方店員姜成仁(一九)は若輩の身でありながら市内小崗子秦公街二十五號の玉[illegible]といふ子女にうつゝを抜かし、前後四回に亘つて主家の集金七百五十圓を橫領消費してゐたこと判明二十五日午前水上署に引致された

出頭されたし ハンドバツグの御婦人へ

既報の去る十八日午後六時五十分頃市内駿河町二四番地滿洲銀行附近において一婦人よりハンドバツグを强奪逃走せんとする一支那人はその場で通行中の日本人に逮捕されその後大連署司法係栢當警部補の手によつて取調べを受けてゐるが、該犯人はハンドバツグは拾得したものであると頑强に否認し續けるも何分右被害者たる婦人の住所氏名不明のため非常に困惑して居り至急司法係まで屆出で、貰ひたいと希望してゐる

喘息・百日咳

四十年間惱んだ喘息や三人の子供の百日咳を忘れた樣に根治した家庭療法を實驗者が人助けの爲婦人倶樂部二月號に發表、同病者から非常に喜ばれてゐる。

日蝕觀測隊 ロ島に上陸

【瑞鳳丸二十五日發國通】瑞鳳より春日搭乘の日蝕觀測隊七十一名は二十四日午後ロソツプ島に上陸し春日は午後六時橫須賀軍港に歸還の途についたと報告あつた

監禁して拷問 韓氏の顧問が

山東省主席韓復榘の顧問と稱し市内惠比須町一番地に中國人職業紹介所を經營、南支、北支を股にかけて事件を漁つてゐた所謂事件屋竹田齊治(五二)=原籍新潟縣中頸城郡中鄕村二本木一二四番地現住所前記紹介所が不法監禁恐喝罪で二十五日早朝沙河口署留置場に繫がれた、取調べの結果

竹田は韓の依賴を受けて山東匪賊陶妖源を内偵する命を受けたと稱し、部下杜百川に之が捜査方を委せてゐたところ去る二十一日市内元町一二二番地仁陶成林なる姓あるを探知し、竹田に報告したところ竹田は陶妖源が僞名してゐるものと思ひ込み、同日午前中陶成林を自宅に連れ込み終日拷問を續け恐喝監禁したものであるが、陶成林の述べるところに依ると事件は案外多方面に亘つて行はれてゐる模樣である

逃げた漁船 實は待遇の不滿から

既報行方捜査中の第三及第五松丸は二十五日木浦で發見され直に連れ戻されることになつたが、同事件は仄聞するところによれば船主松丸氏の待遇に對して日頃から不滿を抱いてゐた乘組員が要求の容れられぬところより示威的怠業としてこの擧に出たものらしく右兩船の歸港により裏面の錯綜した事情が明るみに出されるだらうと各方面より興味をもつて見られてゐる

因みに松丸氏所有の漁船は以前も兩三度これに類似した事件を惹起して居り使用人等も餘り永續したものはないとのことだ

少數の自警團 賊二百を擊退

【ハルビン二十五日發國通】當地に達した情報に依れば寧安の黄旗屯自警團は去る十七日匪賊約二百名と猛烈に交戰し僅か十四名の自警團は十六名の匪賊を斃し小銃三挺、彈丸百七十發、馬三頭を捕獲し匪賊を擊退せしめ目覺ましい活躍振を發揮し地方住民を救つたので住民は心から感謝の意を表してゐる、斯くて今や全國津々浦々の警察自警團は治安の維持に必死の努力をつゞけてゐるので治安は日増しに確保されてゐる

市立中學の假校舍 教科書編輯部か

同盟會滿鐵へ賴みこむ

大連市立中學校設立期成同盟會では二十四日夜、常盤小學校内の事務所にて委員會を開き關東廳並に民政署當局訪問の經過を報告し種々設立準備の協議を行つた結果、二十五日午前高塚、松浦、森川、脇屋、八丁各委員は假校舍の第一候補たる兒玉町七南滿洲教育會教科書編輯部を下檢分したところ最も適當とするに意見一致したので午後二時滿鐵當局を訪れてこれが借用方を懇請することになつた、一方辻、坂本、桑野、恩田の各委員は新聞社方面を歴訪して市民要望の趣旨を述べ中學設立につき援助方を求めた

なほ二十四日夜在京の小川市長宛大連市會、保護者聯合會、各有志より極力善處方を乞ふ旨打電したが保護者聯合會の電文は左の如くである

市立中學校新設に關し市會議員の堅き支持により昇天の勢を以て市の輿論を惹起せり、閣下は是非御賛成の上目的の貫徹に御努力を乞ふ(寫眞は教科書編輯部)

診療所改名

市内山吹町十番地日本赤十字社滿洲委員本部診療所ではかねて改名協議中のところ本年一月一日より日本赤十字社大連病院と改稱することに決定

進む科學

ソ聯

風變りの飛行機がソ聯によつて建造されつゝある、流石お國柄で飛行機は宣傳用に供される筈その設備を見ると印刷機、電話交換器、映寫機、ラヂオ放送局並に最新のテレヴイジョン裝置を有して居り、飛行操縱員の外に一群のタイピスト、交換手、撮映技師なども乘組ましてゐる、有效積載量は六噸乃至七噸

都市の上空から ラヂオの放送 スカイ・サインズメツセーヂ

都市の上空にかゝるや飛行機は低空飛行を試み、巨大な擴聲器を以て放送を開始し、宣傳ビラやパンフレットを雨と降らす事になつてゐる、同機はその上二マイル離れた上空から群衆にわかるやうにスカイサインを以てメツセーヂを送るべく計畫されてゐると

英國 無線で操縱する快速水雷艇

巨人水雷艇として活躍さす爲めに無線電信によつて操縱されるモーターボートが最近英國海軍の技師達によつて發明された、右水雷艇は一時間四十節の怪速で海上を滑走し最大の戰艦をも苦もなく擊沈し得る性能を有するものであると、因に右實地試驗も英國海軍によつて極秘裡に行はれたが異常の成績を收めたと傳へられる

獨逸 一風變つた競爭用自動車

流線型、全アルミニユーム製の怪自動車が今度ドイツに作られた、從來のものとは操舵機その他の機械的改善が加へられ、今年度の國際自動車競爭に見事敵手に土俵の砂を嚙ませようと目論んでゐる、車體は十三フイートで長い葉卷型、操縱者の頭は最新流線型のものよりも遙かに風避けから守られてゐない油槽は、地上僅か一呎半上にとりつけられた操縱席の前に置かれ十六汽筒發動機は車の後部に、彈力性を持つた前部スプリングは快速度疾走と路面の凹凸によるバウンドを完全に抹殺調節して操縱には何等の困難もなからしめてゐる

天氣予報

二十六日 北西の風晴一時曇

各地溫度(廿五日)

	午前五時	午前十一時
大連	零下一六	零下一一
旅順	同一四	同八
營口	同二四	同一五
奉天	同二九	同一七
新京	同二六	同一八
新義州	同一七	同一三

南蠻彩船 (23)

鈴木氏亭作　布施長春畫

街の格闘 (三)

額際から流れる脂汗で、眼が眩みさうになる、息がスウ〳〵荒くなつてくる、遠里小野三郎は、いまにも打たれさうで、まるで、子供が一本橋を渡つてゐるやうだ。

鬼兎羅をはじめ、銅羅、翁、この危なつかしい勝負を見てゐられない。何んさかして勝たしたい、さ思ふ――が、助太刀を禁じられてゐるので、腹の中では一生懸命だが、どうにもならない。

「よう鬼兎羅、見ちやゐられねえが、どうにかしれえさ、しようがねえぢやれえか」

最初に口を切つたのは銅羅である。

「俺も、さう思つてんだが、なまじつかのことをするさ、白い眼を剝かれるから敵はれえ。だが、いつまでもかうして見てばかりも居られまい」

「それにしても、相手の奴は、何處の奴かしられえが、餘程凄い腕だぜ」

「さころが、さつぱり打ち込んでこれえさころはどうしたもんだらう」

翁は、急に不思議にしだした。

「それがさ、俺も、さつきから不思議にしてゐるさころさ」

「これには、屹度、理由があるに相違ないぜ」

「さうかもしれねえ」

三人が、ひそ〳〵さ噂し合つてゐるうちに、遠里小野三郎は、體軀中が汗でぐつしより、他目にも疲勞れが目立つて浮足だつて來た。

そのうちに、三郎自身も不思議に思はれて來たこさだが、それは相手が少しも打込んで來ないことだつた。

これには、何か曰くがあるに相違ない。

多少、心に考へるだけの、餘裕が出來て來た。

――こりや、俺を困らしてやらうさいふ了見かもしれない。若しさうださすれば、敵を斬つて捨てやうなざさ云ふ考へは、ばかばかしい、こつちもそのつもりで相手にしてやれ、さ云ふ氣になる。

その隙を見込んで、浪人者が、必死さ打込んで來た。

あはれや三郎、暗に燦めく銀蛇の下、血潮さつさ四邊を染めて眞二つになつたさ思ひきや斬り込んで行つた浪人者の利腕を、しつかさ握つた覆面の士がある。

「小僧、危ない！」

金ものを鐵板にでも叩きつけたやうな聲だ。

浪人は、振り放さうさしてもがく、だがもがけばもがく程、摑んだ五指の力が、ぐん〳〵腕の肉に喰ひ入つて行く、浪人は右手を小手招ぐやうな恰好をして、片足をぶらり半身を浮かしてゐる。

「卑怯な何奴だ！」

「何奴でもない俺だ！」

「俺ではわからない、名乘れ！」

「名乘るまでもない。手前にはわかつてゐる筈だ」

「何のために邪魔立てする」

「生意氣云ふな、手前こそ、彩天丸の賄をしてゐた讃州だらう」

「ご、どうしてそれが？」

「どうも、かうも、この俺がわからないか」

さ云ふなり、いまゝで覆つてゐた頭巾をかなぐり捨てるさ、そこには彩天丸の呂宋助左衞門の俠姿が、闇の中にぽつかり浮んだ。

「讃州、手前の生命は貰つたぞ！」

さ、助左衞門の手が、石田三成の贈物高木貞宗の鮫柄にかゝつた時、どうしたのか、

「うむ、、…………」

さ、息しい唸り聲を放つて、何者にか利腕を握られでもしたやうに、さたぢ〳〵二三歩蹣跚た。

「ざま見やがれ！」

遠くで、嗄れた聲が、礫のやうに飛んだ。

そのまに、讃州、身を交すなり肩をすぼめて、飛鳥の如く走り出した。

「アツハツハ……」

暗の中で、南蠻堂坤齋の聲が、高らかに、助左衞門を嘲笑つてゐる。

拉濱沿線發日本向 穀物の直通扱運賃

廿四日發表、二月一日から實施 ローカル運賃より割安

拉濱沿線の周家、拉林、五常、山河屯、水曲柳各驛から北鮮を經由して日本各港へ輸出さるべき穀物種子類の直通扱ひは來る二月一日から國際運輸の手にて實施さるゝ筈だが、その通し運賃は左の如く二十四日各荷主方面に發表された、しかして右直通扱通し運賃は北鮮打切のローカル運賃に比較して非常な割安となつてゐるので拉濱線開通後北鮮の荷主組合では北鮮同盟會加入の船會社に對して既約運賃の引下げ方を申出でてゐる事實があるが、これに對して國際としては將來北鮮に於ける各有力船會社の有力代理店となることを考慮に入れて善處する模樣である、尚右通し運賃は三月末日迄二ケ月間の暫定的のものである

發驛	品名	門司、神戸大阪	四日市、名古屋、武豐清水、横濱	境、宮津、舞鶴、七尾伏木、新潟	船川、青森函館、小樽
周家	穀物種子類	二六、九〇二七、三七	二七、三〇二七、八二	二六、九〇二七、三七	二七、四〇二七、九五
拉林	穀物種子類	二五、五八二六、〇五	二五、九八二六、五〇	二五、五八二六、〇五	二六、〇八二六、六三
五常	穀物種子類	二三、九四二四、四一	二四、三四二四、八六	二三、九四二四、四一	二四、四四二四、九九
山河屯	穀物種子類	二二、七八二三、二五	二三、一八二三、七〇	二二、七八二三、二五	二三、二八二三、八三
水曲柳	穀物種子類	二二、七〇二二、一七	二三、一〇二二、六二	二二、七〇二二、一七	二三、二〇二二、七五

組合組織により 邦農の金融機關

近く當局と折衝開始

在滿邦農の振興に就ては關東廳が金融組合を滿鐵が輸入組合を設置無利子資金を貸與して窮迫した中小商工業者に金融の道を開き、また一般商業銀行の施設も完備してゐるが、從來動もすれば在滿邦農の振興が閑却され、各關係當局でも商工業者に對する程の積極的施設を行はず、金融機關の如きは單に東拓が存するのみにて不動產擔保貸に關聯し、僅かに融資を行つてゐたに過ぎず、而もその金利も極めて高率で農業經營の實情に卽せず、農業金融を專業とする金融機關の缺如は在滿邦農の發展に一大障碍を爲しつゝあり

この見地から昭和五年田邊總領氏を委員長に滿洲農業金融機關設置期成同盟會を結成し農業經營者に對する金融を目的とした金融機關設置を計畫したが、邦人農業經營者も僅か二百餘で而も關東州より滿鐵附屬地へと地域的に分散してゐる關係上その實現も覺束なく、またこれを設立するも全然採算がとれず今なほ實現の運びとならないが最近に至り尨大な金融機關設置よりも小規模の組合組織で組合員の團結により一金融機關を設くべしとの議論が有力化し昨年十一月滿洲農事協會主催の農事座談會の席上これが表面化し全會一致組合員組織による金融機關設立を可決、增尾、千葉、門間、粟屋、三浦、和田の諸氏を委員に擧げ爾來各委員の手で具體的研究を進めつゝあつたが、その結果長期金融機關設置は農業經營上不可缺のものであるが事實問題としてその設置は不可能であること、また昨年秋政府の不動產融資による利益に均霑消極的ながら低利肩替りに成功の曙光を見出し長期金融機關設置の必要は以前程痛感されず、寧ろ短期經營資金を得るの道を講ずべしとの意見に一致を見るに至り、研究の結果

在滿邦農の短期資金は大體にて足りるが、徒らに滿鐵關東廳に援助を仰ぐは組合の目的が團結による相互扶助自力更生にある關係上潔よしとせずこれを一口五百圓の割で各組合員が出資する、これも一時に積立てることゝする

卽ち、その經營費は僅か事務所費、人件費、雜費の程度に止まり極めて少額でこの程度の補助は滿鐵關東廳がそれ〴〵輸入組合金融組合を創設無利子で融資し、尚は且つ經費の一部を補助しつゝある現狀に鑑みれば容易に承認を得らるべしとの樂觀的觀測を爲してゐる

未だ右の案は具體的決定にまで至つてゐないが、近日中には成案を得案文の起草も終る筈で、決定次第滿鐵關東廳の各關係當局と折衝を遂げる模樣である

日滿合辦 鹽業會社

設立準備着手

【新京二十五日發國通】滿洲製鹽業開發の爲め設立準備中の資本金五百萬圓の日滿合辦鹽業會社は愈々設立大綱の成案を得たので近く實業部の認可を得て正式創立準備に着手することゝなつた、同社は復縣鹽場を基礎に年產百萬ピクル生產を目標に計畫を變更し資金を一般より公募することゝなつた

滿電電燈電力料金 約五分方引下げか

近く重役會議に附議

滿電の現行電燈電力料金は來る三月末日を以て關東廳の認可期限滿了するので滿電では目下營業課において新料金制の研究を進めつゝあるが一兩日中に成案を得、重役會議に附議し、滿鐵の承認を求めて本月末までには遞信局に提出することになつた、新料金はまだ最後的決定に至らないのと滿鐵關東廳に內示せられてゐないので極秘に附せられてゐるが、從來の料金再認可の經緯を見ると每回一割乃至七分の料金引下が斷行されてをり今回も滿電の業績の飛躍的好轉より料金引下の英斷に出づべきことは確定的と見られ電燈電力共に五分程度の引下をみるのではないかと推測される

滿電側では現行電力料金は再認可申請每に引下げられてゐる關係上最早引下の餘地なくこれを內地の大都市に比較するも決して高くはない、否大連と人口を同じくする三流都市に比すれば最も低廉であるとの自負を持ち最近の物價並に炭價の趨勢に鑑みれば料金引下げは愼重なる考慮を要するとの消極論さへ行はれてをり

また實際問題として滿電が明年度より着手せんとする甘井子發電所

全滿的に植物檢査

農事協會當局に具陳

植物並に果實等を媒介とする病蟲害の侵入防止については內地、朝鮮、臺灣等各地とも植物檢査所並にこれに關する規定を設け嚴重檢査を遂げてゐるが、關東州には未だこの施設なく、病蟲害の自由地帶の如き觀ありかくては州內在住者の保健上、はた又果樹園經營者にとつては由々しき問題であり一般の要望に從ひ關東廳では明年度より植物檢査所を設置し、州、輸出入植物、果實の檢査を嚴重に行ふことに決定、明年度新規事業豫算として要求する一方、規定その他の準備を進めつゝあつたが政府の事業費の大削減により遂に削除の運命に陷るに至つた、然し乍ら右の檢査所設置計畫は各方面に重大なる影響を有し、且つ又無檢査を理由に一地方面では關東州よりの植物輸入禁止等の說も流布されこれを早急に實現するの必要に迫られてゐるので關東廳では是非とも明年度より實現を期すべく追加豫算に計上したが、右の計畫に對し滿洲農事協會側では單に關東州出入のものゝみを取締ることは植物檢査の徹底を期し難き事情に鑑み、これを全滿的に及ぼすべしとの見解を持し來る二十七日午後一時より滿鐵社員俱樂部に於て委員會を開催、右の趣旨を滿鐵、關東廳、滿洲國當局に具陳すると共にその具體的運動方法につき協議を遂げることになつた

新日印通商條約 假調印手間どる

澤田代表促進方要請

【東京二十五日發國通】二十四日在デリーの澤田代表より外務省への公電によれば澤田代表は印度に於て速かに日印通商條約文を作成假調印を行ひ來る四月一日より効力を發生せしむべく努力中なるが印度側が草案作成に手間取りつゝあるので二十二日ボア長官と會見し條約案の作成

南支那見聞記

排日の坩堝に喘ぐ 在支邦商の窮態

（二）恨めしや低利資金

以上によつても想像し得る如く上海に在る邦人は商人とデはずサラリーマンとデは窮迫のドン底にあり商人も排日以外にサラリーマンの購買力の減少に二重の打擊を受けてゐるわけで、その慘狀たるや言語に絕する、凡そ滿洲の好景氣に醉つて居るものにとつては想像も出來ない

上海事變直後政府でも在上海邦人の窮狀を見兼ね、これを救濟すると共に枯渴した經營資金を補給し、事變後の經濟活動に對して新しい血液を注入する意味で、事變直後、議會の協贊を經て五百萬圓の低利資金を融通することになつたものだ、だがその低資の効果は政府の期待した結果とは全然相反し、何等その用をなさないのみか却て上海の邦人を窮地に追込む樣な結果となつてしまつた、それは何故か滿洲でもさうであつたが、低利資金は政府の金だ、從つて水泡に歸せしめてはならない、これを有効に利用しなければならない事に對しては何人も異論がない所だが、實際に貸出しに當つて見ると返濟能力と云ふ事が問題となつてくる、今惡くとも將來大いに伸びる可能性はあつても、又かりにそんな客觀的情勢にあつたとしても貸付當時その能力無しと認定された以上は、鯱鉾立ちしても借り得ない、資產信用が十二分に具はつて居るものでなければ貸出は出來ないといふことになる、從つて一部のその必要を感じないものに對しては低資が借りられ、低資の必要を痛感し火の車の塞所には到底貸し得ない

これ等の事情は滿洲における全く同樣であるが、滿洲に於ては今後の見透しも充分につき、將來

正隆銀行決算

株主配當四分

市場電報

市況

滿洲國度量衡法

二十五日公布さる

大豆暴騰

株式

當市保合

錢鈔

商品

綿絲軟調

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價 一部五錢 一ケ月一圓二十錢 郵稅…
廣告料 普通一行… 特別一行… 場所指定…
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛

發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

『軍民離間聲明』問題の風雲を孕んで開會

【廿五日】衆議院本會議

【東京二十五日發國通】二十五日の衆議院本會議は午後一時十分振鈴 昨日來の軍民離間問題で緊張裡に同二十八分秋田議長開會を宣し本日の先陣を承つて八角中將登壇

質問戰いま酣

八角三郎氏

八角三郎君（政友）非常時財政中軍事費に總豫算の四割四分を投じた事は國防安全上感謝に堪へぬ之れで第二補充計畫を十二年迄に完成、ロンドン會議の結果たる兵力量の不足を補ひ國防不安を一掃し得たが當に來るべき軍縮會議に對する根本對策の樹立が必要だが夫れ迄にロンドン條約改廢の意思なきか

八角君更に轉じて國防上航空の重要性を說き支那の航空事業に米國資本の殺到せるを擧げて當局の所信を質し又舌鋒を轉じ軍民離間問題に觸れ

國民と軍隊は一體にして二者ある譯でない、軍隊は國民の師表として團結して居られねばならぬに軍部內の對立の噂の如きは誠に遺憾である

大角海相 國防上の安全觀から軍縮條約又は會議等の根本方針を研究してゐる、隣邦支那、ソウエートの空軍發達に對する我有効適切なる對策は日夜腐心研究してゐる、國防の擧國一致たることは同感だ

八角君再登壇 ワシントン條約第十九條に對する外相の所見如何と質す外相登壇質問が判らぬから今一度と述べ議場哄笑 斯くて兩君の應酬あつて二時十分

小川鄕太郎君（民政）登壇

舌端火を吐く
現政府の放漫政策を痛論し
小川鄕太郎氏起つ

一、昭和九年度豫算の軍事費に偏せるは財政と國防との調和を保たしむる主旨に反かざるや

二、軍事偏重豫算の實行は徒らに軍需工業其の他に關聯する工業を繁榮せしめ農村の振興これに伴はず都會と農村に分配をより不公平ならしめないか

三、殊に繼續に依り將來に於ても軍需工業設備增加を促し軍需資本主義を強化するに至らざるかの態度如何

四、滿洲現地當局者中には統制經濟の名の下に現經濟機構を根本的に改革せんとするものありと聞くが眞僞如何、軍部の態度如何

五、軍需工業及び之に關聯せる工業に依る非常利得者に特別課稅の要なきや

六、謹みて明治大帝の賜へる軍人勅諭を拜するにその中に「抑も國家を保護し國權を維持するは兵力に在れば兵力の消長は是國運の盛衰なることを辨へ世論に惑はず政治に拘らず」と宣せられてあり、伊藤公の憲法義解や選擧法等にも軍人の政治に干與せぬ事を明記してゐる然るに今日では軍人の政治干與が世人に疑はれてゐるが軍部當局は議會を通じ國民に眞相を明示する事を望む

小川鄕太郎氏

次に公債政策財政計畫等に關しその該博な蘊蓄を傾けて政府の放漫政策を痛論し最後に經濟問題に就き爲替安定策、金保有策、通商障碍、貿易管理、關稅政策、貿易均衡等につき政府の明答を要求して二時五十五分降壇すれば

四十五分間 長答辯
藏相衰へず

陸相 陸軍は兵備改善と作戰資材とで東洋平和の萬全を期してゐる軍の名を藉る運動は嚴重取締る軍人の政治干與の御高見には全く同感

藏相 軍需工業の繁榮は農村にも影響する

と答へ

藏相 軍需工業の繁榮は必ずしも商工業者に厚く農民に薄いとは思はぬ、米が安くなれば政府で買上げるが商工業品は賣れなくとも政府は買上げぬ、又軍需工業では勞働者も利益を受けてゐる軍需工業家の特別稅は赤字公債の時だからやるべきでないと思つてゐる、增稅の時期も簡單に斷言は出來ない、經常歲入で歲出を計るのが常態だが、それが出來ぬ時は歲出入のバランスをとるのが政治家の務だ、平價切下げは愈々の時に國民の協贊を求むべきで今は云へない爲替相場は大體安定してゐるが買上げた產金もそのまゝ保有する考へだ

と四十五分間に亘る長答辯を試み代つて

大角海相 現役軍人の政治干與あれば取締るが國力如何を批判する政治には現役軍人たりとも無關心であり得ないこの意味から政治常識養成は無理でない

滿鐵改組は研究中である
林陸相の愼重な答辯

林陸相 軍需品の註文は中、小商工業者にも註文してゐる、滿鐵改組は目下研究中、現役軍人の政治干與と云ふも國防と政治の密接關係から國防を憂ふる餘り政治を研究論議する者は絕無とは云へぬ

とて兩相共愼重原稿を讀上げ小川君增稅と公債消化力に就き重ねて質し

首相 藏相の答辯が政府を代表し重ねて私からいふ必要は認めませぬ

と輕く突放し藏相も前言を繰返したのみ、小川君再轉して軍人の政治干與問題に移り陸海兩相の答辯は軍人の政治干與を許すが如き口吻であつた首相は何んとみる

首相 陸海兩相の答辯は何等不都合を認めぬ、陸相も別に干與を認める意味でない

と輕く說明

原口初太郎君（政友）陸海兩相は軍事費計上に關し國民の納得出來る目安を示されたい、陸軍の豫備金一千萬圓讓渡は陸軍豫算中に餘分があると考へられるが軍部の名を藉る會合が傳へらるが軍部の所見如何

最後に政治干與問題に言及して降壇

齋藤首相 豫備金融通は政府部內のことで答辯の限りでない

列國の放言には堂々應酬せよ
中野正剛氏の長廣舌

原口君と首相應答後

中野正剛君（國同）登壇

時局に對する認識を質すと題し

一、首相に非常時認識を質すと題し先づ齋藤內閣が非常時克服を任として出現して以來國內外に漲るインフレ景氣に言及し列國の經濟武裝で我貿易に大影響の惧れあるを說き、更に五、六年の危機激成の惧れあるに對しこれが根本的解消の準備と覺悟を要するが現內閣の認識を問ふ

二、各閣僚の時局に對する認識は相互間に大なる差異あり、又時と場所とに依つて相違ぜりとて首相、藏相、陸相の前言を擧げて首相の明確なる說明を求む

三、軍民離間の宣傳警告についてと題し軍部の農村對策を說き「軍が眞に社會の動向を正解せば軍民離間の宣言を用ひらる所なし」と論じ次に外交に就き

一、國際經濟ブロックの對立と外交の尖銳化より說き起し滿洲問題と聯盟脫退に言及し外相は危機を危機と確認列國の放言に對し堂々應酬の決意なきや

二、外交にて活路を拓くとは實質的難關を取拂く當局者の見解如何

三、國際平和は國際正義を基礎とす正義の基準は公平にあり帝國は公平の基礎により外交を行ふべし

四、對露外交に就いては何物も恐れず世界平和政策のため對露問題解決の意なきや

財界安定の認識に就いて

一、文明國で財界安定とは大衆生活の安定失業問題の解決だが施政演說中これに言及せざるは如何

二、非常時利得者と被害者の發生を何とみるか

三、米國の聯邦產業委員會の如く反行政的、反司法的產業建設機關を設くる意思なきや

更に農業問題、財政問題等に就き詳細論及し最後に危機は五、六年よりも經濟的に將來益々高まるべきを憂へ、金融統制、經濟參謀本部の必要を說き積極的生產統制案を主張し、閣僚と既成政黨との應酬は日本の實狀に即せずとして閣僚の認識を質し一時間半に亘る長廣舌を振つて降壇

首相 目下の時局を政府は樂觀して內政不安の除去に心を用ひてゐるが尙全國民の協力一致によりこの難局を乘切らねばならぬと信ず

と答へ、各大臣起たぬので中野君自席から指名せる各大臣に答辯を要求、議場騷然

廣田外相 中野君の意見を初めて聞いたが自分の考へてゐることゝ近い樣に思ふ、然し國際關係複雜の際私の考へを極端な言葉で表はすは愼しみたい、又米國極東長官の言は極東モンロー主義と云ふ樣な解釋上外國人の誤解を招く文字を使はぬが確固たる日本の立場で進みたいと思ふ、日露國交親善にもつと努める

中島商相 重要產業の統制に就いては全く同感だ尙後藤農相から簡單な答辯の後降壇

林陸相 軍は本來の本分に基き邁進するあるのみと考へてゐる、農村問題は軍の大部分を構成するから大に關心を有つてゐる

高橋藏相 中野君の熱心には敬服する、非常時利得者等といふものはない

中野君（自席から）首相は人心の安定と生活の安定に努めてゐるといふが政治の上ではその効果何物も無い

廣田外相 過去の優柔不斷外交の更新を希望して已まぬ、シムラ會商は遺憾であつたがあの場合英國は計畫的に日印を離めんとしたものである

と答へ同六時四十分散會した

政民兩黨の提携 漸次濃厚化す
强力な新政黨樹立說の擡頭
國民同盟は靜觀主義

【東京二十五日發國通】政民提携の機運は今議會に於ける政友會の床次及び民政黨の町田兩氏の施政方針演說に對する質問演說によつて漸次濃厚化せんとしこれに對する政界各派の動向は各方面より極めて重視されるに至つたが唯一の野黨國同の大勢は大體次の如く一致してゐる

卽ち床次氏が去る二十三日の如き極めて意味深長な演說をなすに至つたについては來るべき政局の動向を支持して相當重大決意の下になされたもので政友會部內の情勢如何によつては敢へて脫黨も辭せず、而して民政黨內の提携派との間にも既に一脈の連繫あるもの〻如く場合によつてはこれ等民政黨內の提携派と政友部內の同志を合流せしめて强力なる新政黨を樹立し政局の前途に重大なる動搖革新を期せしめんとする意圖に出づるものでないかとの說あるについては

國同はその成立が不純なる動機に出づるものでないならば固より擧黨一致欣然これに參加する事を惜まぬものだが何れにしても政民兩黨今後の動向を靜觀した上善處すべきが至當であるとなしてゐる

▽▽本會議の幕あき△△ 二十三日いよ〱第六十五議會本會議の幕あきとなり貴衆兩院とも政戰の論陣が展開されることゝなつた（寫眞（上）は貴族院で齋藤首相の施政方針演說（下）は林新陸相の初答辯、背後は松平新副議長）

けふの議會

【東京二十五日發國通】廿六日は衆議院の豫算總會で閣僚全部をとられるので貴族院は本會議、委員會とも休會、衆議院は午前十時より豫算總會を開き政友會の內田信也氏國防問題を提げて起つが午前中で休會だから同氏の一人舞臺に終るだらう、若し時間があれば砂田重政氏（政友）が農村問題で起ち更に午後一時からは本會議を開き國務大臣に對する質問を續行高田耘平氏（民政）農村問題で起ち宮澤裕氏（政友）小池四郎氏（國同）山桝儀重氏（民政）の順であるが中心は本會議より豫算總會に移ることにならう

議會の中心 豫算總會に移る
第一陣內田信也氏
けふ午前十時より開く
衆議院豫算總會

【東京特電二十五日發】衆議院は二十六日から豫算總會を開き本會議と並行して質問を行ふことゝなつた、豫算總會では政友會の內田信也氏が海軍問題で先陣を切り、つゞいて砂田重政氏が農村問題を提げて追求するに續き太田正孝氏が一般經濟問題、加藤久米四郎氏が滿洲問題、長島隆二氏が外交問題を扱ふことゝなつた

【東京二十五日發國通】衆議院は愈々二十六日午前十時より豫算總會を開き高橋藏相の說明に續いて質問に入ることゝなつたがこれで議會の中心は愈々豫算總會に移り本會議の大綱的質問に代るに細目的具體的質問に入り同日の第一陣は政友會の內田信也君が國防質問を提げて立ち次いで第二陣は政友會の砂田重政君が農村問題に關し相當痛烈な質問戰を展開する筈である

軍部批判の聲 激する少壯將校
堀切翰長緩和運動

【東京特電二十五日發】議會の軍部批判高揚につれて陸海軍の少壯派は二十五日各所に集會して對策を協議し首腦部はその抑制につとめてゐるが少壯派の言ふところは政黨が徒らに軍部の措置を誹謗してゐることは却て軍民離間に油を注ぐものであつて彼等が依然反省の實を示さゞるものであるから軍部當局は毅然たる態度を以てこれに臨まねばならぬといふのであるこの情勢を察し政府は堀切翰長を通じて政黨方面に對しこれ以上軍部を刺戟せぬやう留意を望むと通達したが、勢ひの激するところこの問題の前途がどうなるか豫斷を許さぬものがある

議會風景

【東京特電二十五日發】貴族院は田中館博士の學術講演的質問演說で至極のんびりしたもの、メートル法延期の理由如何で問題の人中島商相が初めて登壇したが至極謹愼的な態度で鄭重に答辯した、その他ローマ字がどうの地球磁氣の研究がどうのと學士會の討論のやうな光景を呈した、衆議院は引續き軍部追擊を各人が一くさりづゝ述べる、軍人議員の八角、原口兩氏が頻に軍人の本分を力說すれば財政專門の小川鄕太郎博士まで軍人の政治干與に向つて非難すると云ふやうな有樣で一言づゝ軍部に何か言はないと腹の蟲がおさまらぬらしい、原口中將が滿洲事件豫備費の中一千萬圓を海軍費にふり向けたことは國民をして軍事費豫算の確實性に疑念を與へるものだとて首相の答へを求めたに對し首相は極め

それは政府部內の問題でこゝに答辯の限りでないと堀切翰長の官僚式答辯をその儘述べたので議場承知せず騷ぎ立てるを見兼ねて藏相が耳打ちしてのやり直しは閣僚中首相の答辯が尤も危いのだから困つたものだ、質問順でごたついた問題の人中野正剛君約二時間に亘つて痛烈なる舌鋒で政府を糾彈し七人の大臣を壇上に引出すその論旨がたまたま軍部の經濟となるや政民兩派は躍起となつて彌次り立て久し振りに議場氣分を出す、併しその力強い雄辯には議場もさすがに緊張して殊に後藤農相の政治的無能力を完膚なきまで下すや兩黨の議員は盛んに拍手を送る、兎に角この議會の演說で床次氏のそれと共に特筆すべきものであつた

滿鐵改組は協議中
林陸相の答辯

【東京特電二十五日發】廿五日の衆議院本會議で小川鄕太郎氏は軍人の政治干與に關聯して滿鐵改組問題に軍人が參畫せる事を述べ軍部は資本主義經濟制度に改革を與へる建前でこの改革案を取扱つてゐると聞くが何うかと質したに對し林陸相は單にこの問題は目下關係各省の間に協議中であるから內容について說明する時期でないと答へた

下院通過

【ワシントン二十四日發國通】一九三四年より三五年に至る海軍豫算案は二十四日表決を用ひず下院本會議を通過直に上院に廻附された、同豫算案の要旨次の如し

總額 一八四、七四七千弗

內譯

海軍經常費の他に六吋備砲巡洋艦三隻の建造費 三三、六一九、三三四弗

水兵二千八百名並に海兵隊員一千名增員費を含む但し現在既に艦齡に達せるもの並に一九三六年ロンドン條約滿期の際艦齡に達する艦艇の代艦建造費を計上せず

豫算案の下院通過に先立ち下院海軍委員會は委員長ビンソン提案の五ケ年建艦案を修正條項として豫算案に追加する計畫を放棄し別個に同案の通過を圖るに決した

北滿ソ聯機關紙
本國より嫌はる

【ハルビン二十五日發國通】蘇聯側は北滿に在る自國民の人心收攬機關として唯一の機關新聞「ノーウォスチ、ウォズトク」を發刊してゐるがソ聯本國に送つた同紙はこの程本國より多數發送者に逆送されて來た、理由は同新聞にはソ聯本國の物價より遙かに安價な商品廣告が揭載してあるのみならず紙面がブルジョア化してゐるといふにある

趙博士に歸國命令

【新京二十五日發國通】渡日中の趙欣伯博士に對し歸國命令發せられたので三月一日に間に合ふやう歸國する筈である

イタリーより飛行機借款
四百萬元 南京政府發表

【東京二十五日發國通】其の筋への報告によると宋子文はイタリー滯在中財政長官との間に伊支間の懸案たる團匪賠償金の返還に關する協定を締結した結果南京政府は右返還基金を擔保として伊國銀行團より四百萬元の借款をなした旨發表した

此の借款は支那がイタリーより飛行機その他の軍器の購入に當てるもので最近ムッソリーニ首相以下イタリー朝野に諂ふのもこゝに原因すると見られる

新關稅法案
印度立法議會に提出

【デリー二十四日發國通】印度中央立法議會は二十四日から再開されたが特殊ボーア稅務長官は新關稅法案を提出し委員會を任命して該法案の審議を行ふと共に一週間以內に報告を提出すべきことを要請した

社說

非常時と危機 言葉の爭より內容の檢討を

昨年も非常時といふ言葉が政界の問題になつたが、今度も亦時並に之れに關聯する日本危機といふ言葉が議會內外の口にさなされてゐる。併しながら斯樣な事は單に言葉の上だけの爭ひではないか。非常時といふも、危機といふも、その言葉の內容を出し合つて見れば何れも同樣になるのではないか。心有る人は斯樣な抽象的言語によつて人心を惹き附けんとする政策を弄することの好ましからざるを見拔いてゐることは明白で、何れにしても同樣な惱みを免れない。現在世界の各國が內政に複雜な難問題があり、外交上にも複雜な問題がある。

◇此の內外の難問題あるは顯然たる事實で、誰も之れを否認する者はない。此の事相あるによりて非常時といふ。併しながらいつになつたら此の狀態が變じて、內政外交の圓滑を期し得るかといへば、誰しも豫想し得ない所である。のみならず、今後益々此の難問が深刻になるとも考へられる。故に斯る事相は非常でなく常態であるとも思はれる。非常に對するといふ氣持よりも常態だとして對策を考へる方が堅實だとも云ひ得る。故に今日に於て最も必要なるは、常時非常時の言葉を爭ふ點にあらずして、內政外交の如何なる點に難問があるかを知悉し、難問の程度如何を認識し、此れに處する方策如何を講究する點にある。政治家其他憂國の士が國家の前途を懸念して國民を指導せんとするならば、非常時といふ聲を高くして政權を取らうとか維持しようとか、豫算の分前を多く取らうとかいふやうなことを考へずして、內政の問題はこれこれ、外交の問題はしかじかといふことを一般的に普及し、國民協力してその對策を講ずるやうに導くを要する。

◇危機といふ言葉は、內政にも用ひられるのだが、今日主として外交問題に關して爲されてゐるのは主として外交に關するものゝやうである。一九三五・六年、卽ちロンドン條約の終り、國際聯盟からの脫退確定の期として、日本が國際的危機に立つといふ意味である。これに對しても決して危機といふべきではない。その時になつたとて、どこかの國が日本に戰爭を仕掛けて來るか、又諸國が團結して日本に對して經濟的壓迫を加へんとするか。左樣なことは決して豫想し得ないといふ論がある。併しながら此の論者と雖も、それだからノンキに構へてゐてよいといふものは誰もあるまい。三五・六年には、更に或はその後引續きて、我邦が相當の國際的難關に逢着すべきを豫想しない筈はない。隨つて之れに對する覺悟準備の必要なるを認めてゐるに相違ない。一方に危機を唱へる者と雖も必ず戰爭が起るのだといふのではなく、戰爭が起る虞れがあるから十分な覺悟準備が必要だといふ。

此の双方のいひ分は言葉は反對でも內容には變りはない。これを外交的に考へる方では、餘りに危機の聲を大きくして、その準備ばかりをやつてゐるやうに聞えては、外國を刺戟して疑念を增加せしめ、日本が平和外交を働きかけても、何か裏面の謀略があるのでないかと疑はれて、我平和外交の効を弱くするといふのである。而して更に

◇その半面には左樣な外國の思はくなど考へるに及ばぬといふ說もある筈だ。又內政的に見れば危機の聲を高くすると人心を萎縮せしめて經濟の發達に害ありと云ひ、一方では緊張興起せしめ得るといふ。此點に議論が岐れる。そこは國民の判斷と國家機關の信念とによりて善處すべき所だ。

◇要するに抽象的の言語によりて人心を刺戟し、感情を煽り立てゝ引つ張つて行くのは危險だとも考へねばならぬ。併しその半面には、無感情の冷靜態度は實行力を弱からしめて、自然に退嬰に傾く危險もある。但し國人各自の所信によりて議論を闘はすことによりて、實際的に中正を得可く、兩端の危險を去りて堅實な步驟を執ることが出來る。そこに進んで行き得る國民が將來の發達を期し得るので、餘りに感情的なのも、餘りに理論的なのも共にあぶない。熱餘りあれども冷なる以て之を持し、理に徹すれども情を忘れなかつた好例は三國干涉當時から日露戰爭終るまでの我國民の態度であつた。彼の十年間を、今の一瞬に壓縮した氣持で今日に處すればよい。

帝政に凱歌

共和制の實施は東洋に適せぬ

見よ中華民國の醜狀を…… 鄭總理快然語る

【新京特電二十五日發】滿洲國成立するや國務總理の重任につき英邁なる執政を輔佐して建國の大業に携はり努力を續けてゐる老宰相鄭孝胥氏は忠節遂に酬いられ建國僅か二年にして天命は遂に[illegible]執政の上に降り帝政實施の運びとなり一月二十日その聲明を發表したが、この老宰相の明朗な心境を[illegible]く在京記者團との會見は二十五日午後二時より國務院會議室で開かれたが記者の質問に對し總理は嚴肅な老顏に包み切れぬ喜びを浮べつゝ語る

問・國體變革後の影響如何

答・先づ私のいひたいのは君主制と民主制との明確な區別である支那の歷史を顧みるにその數千年の歷史は君主制であつた、然るに歐米文化に心醉した青年達は民主制採用を叫んで遂に近代の革命となり清室に位を讓らせ[illegible]國が生れたがかくて二十年現狀はどうであるか君主制是か民主制非か多言を要せぬ所である、今次我が國の國體變革はこの民國の混亂狀態に鑑み共和政體が遂に東洋に適せざるを見極め君主制を採るに至つたのである、この當然の歸趨である君主制採用について時代に逆行するものであると笑ふ者があるとすればそれは錯覺の夢から醒めぬ者の言である、又かゝる人々は舊道德を遵奉するは近代文明に違背する者だと笑ふであらうが吾々は強ち近代文化を否定する者でない、東亞に殘存する精神文明に加ふるに物質文明の粹を取り入れんとする者である、現在は一つの岐路に立ち世界の思想は二分されんとしてゐる、而して我が滿洲國の進まんとする途は平和を願ふ王道主義であることは人種の別を排除し國境を超越する大きな人類愛の極致である

問・執政の御卽位は天意により建國當初旣に定まつてゐたもので來る三月一日は單に大典の儀式を擧げるだけといふてはいかぬか

答・それも一つの解釋と思ふが天に口なく人をして言はしめるの義で三月一日登極の大典を擧げられたいとの國民の聲が期せずして起つた卽ちこれ天意の現はれと見られる

問・渡日の時期如何

答・決まつてゐない、だが機會を得れば行きたいと思つてゐる

恩赦令 二月上旬に決定されん

【東京二十五日發國通】內閣では皇太子殿下御誕生に依る恩赦令に關し考究してゐるが宮中喪明けの二月上旬決定するものと觀測される、卽ち宮中喪明け後御誕生の御祝ひが執り行はせられるのでその機會に實現かと云はれる

大典豫算公布 總計二百八十七萬圓

【新京特電二十五日發】卽位大典費に關する追加豫算案は旣報の如くまる二十二日開催の第三次國務院會議に上程通過したが同案は二十五日開催の臨時參議府會議の諮詢を經て同日執政の裁可を得公布された、本豫算は執政の御趣旨に從ひ努ら節約を旨として計上されたもので總計二百八十七萬五千九百七十五圓でその內譯は(單位圓)

宮府營繕費 二六〇、〇〇〇
卽位大典費 二、六一四、三九五
建國功勞調査費 五、五八〇

であるが卽位大典費の內約半額の百十五萬五千圓は賑恤救濟基金、撫恤、建國軍人殉職者慰藉費、恤兵寄附金、救民費、恩賜慈善救恤、赦犯、敬老、孝子節婦表彰費などの經費に計上されたもので、これをみても如何に三月一日の御卽位大典が質素を旨とされてゐるかを物語るもので、この新帝の有難き御趣旨に對しては全國民が感泣してゐる

滿鐵 社員會新幹事長 中島宗一氏推薦決定

昭和九年度滿鐵社員會新幹事長詮衡の在大連評議員有志打合會は[illegible]倶樂部集會室に有志百十七名出席のうへ伊藤現幹事長を座長に推して午後四時から開かれたが先づ詮衡委員會を設けてこれによつて適當な候補者をあげることゝなり座長指命で

內海浩一(第一聯合會)林周介(第二聯合會)池原義見(鐵道部聯合會)齋藤輪之助(連鐵聯合會)川副孝(建設局聯合會)谷川正之(埠頭聯合會)太田藤三郎(沙河口聯合會)

の七氏を委員に選び更に伊藤幹事長もこれに加はつて別室で約二十分間協議の結果先づ目標を在大連各聯合會長に置くこととし最近大連第一聯合會長に選出された經濟調査會第四部主査中島宗一氏を推すことに決定、これを出席評議員に諮つたところ滿場異議なく中島宗一氏推薦と決定拍手裡に午後五時三十分散會した

從つて中島氏推薦は直ちに沿線はじめ地方各評議員に報告し同氏の當選に關して努力することゝなつたが從來の例からするも大連有志會で詮衡された候補者の當選は確定的のことであり結局中島氏の當選を見るものと豫想されてゐる

新幹事長の人となり

新幹事長にあげられた中島宗一氏は滿鐵社員會創立委員の一人としてその發會式當日には綱領を朗讀した社員會生みの親の一人で爾來社內新思想家として終始社員會の發達に側面的に或ひは直接に努力をつゞけてゐる、その風格は外面極めて溫順であるが意志の強いことは經調內部でも有名なもので各種會議の席上においても容易に節を枉げるが如きことは無く、しかも熱の人として青年社員の信頼も厚くけだし多難な昭和九年度の新幹事長としては最適任であるとされてゐる

滿鐵社屋の假用 中西地方部長內諾 市立中學問題急進展

旣報の如く市立中學校設立期成同盟會の松浦、脇屋、森川、芦刈、辻五氏の一行は二十五日午後二時滿鐵本社に中西地方部長を訪問、市立中學の假校舍として兒玉町の敎科書編輯部の建物借用の件に就いて懇談したが中西地方部長はこれに對して內諾を與へた、たゞ敎科書編輯部の移轉先に就いて考慮しなければならないが假校舍の期間が本年九月頃までであり或は同居しても差支へない模樣である

第二次五年計畫を議す ソ聯共產黨大會

【ハルビン特電二十五日發】第十七回ソ聯共產黨大會は一月二十五日から開催されるが、これが準備は全國的規模に於いて行はれた、同大會の俎上に載せらるべき議事項の中特に重要性を持つてゐるものに第二次五ケ年計畫──その運輸組織の改善並に赤軍の强化、勞働者の生活水準の向上等の速度等──がある、モスクワの言論界は一度今大會の事に觸れるや異常に雄辯に各種の反對派に對して行はれた成功的な鬪爭を謳歌し「今や凡ての階級的自覺を獲得した勞働者の純一の共同戰線が現はれた」と說き機關紙「プラウダ」は『ボルシエヴイズムの凱歌だ』と述べて次の如く誇張的に第二次五ケ年計畫の自讃をしてゐる

一、第二次五ケ年計畫の實現と共にソウエート農業の完全な集中化と富農制度の最後的解消が相共に進行してゐる、第十七回大會は個人所有權に對して斷乎たる判決を與へ永久に沒收するであらう、而して第二次五ケ年計畫は從前搾取と階級差に導いた諸因をなくし、民衆の財產は將來吾人の全經濟機構の資產といふ單純なる形式をとるに至るであらう

又他紙はソ聯外交の最近の成功に滿足の意を表しつゝ今大會を祝福してゐる

平津の財豪 滿洲進出企圖 投資口の調査員派遣

【奉天特電二十五日發】中國銀行奉天支店では事變以來山東河北省方面と滿洲國間の爲替業務を行ひ最近では特殊の地盤を開拓し獨占的取扱をしてゐるが業務擴張に新たに百萬元の增資を行ふため奉天では平津間の財閥から資本の吸收につとめつゝあり、これに刺戟された平津間の有力資本家等は對滿投資のため投資會社を計畫し駐在員を滿洲に派遣する傾向あり注目されてゐる

滿電資金繰 明年度新規事業 一千萬圓社債が第一案

滿電では明年度の新規事業遂行資金として約一千萬圓の資金に不足を告げこれを社債によるか增資によるか、兩者の折衷案によるかの最後的決定は議會議終了を俟つて滿鐵重役會議の決裁に俟つことになつたことは旣報の如くであるが、右の三案の內果して何れに落着するかは豫斷を許さないが現下の諸事情を綜合するときは大體社債發行或は社債、增資兩案の折衷に落着するのではないかと思はれる

卽ちかくの如き大事業は增資に依る[illegible]當苦痛を伴ふものではないかとも思はれ、それよりは低金利時代のことゝて滿鐵の保證で社債を發行すれば少くとも四分半利にて十分確信あり、然も今後の政府の公債發行に伴ひ今日以上の低金利時代到來はさして遠い將來でないといふ觀測より增資により八分のコストの資金を利用するよりも滿電にとつては非常に有利である、また一面この程度の期限で成功するか十年二十年といふ長期のものは現下の情勢より望まれないとの缺陷もある

從つて右の兩案を折衷した第三案が最も可能性があるともいへるが果して滿鐵が如何なる態度に出るやはこれまた未知數であるが大體社債を第一案とし第二案として社債、增資の折衷案、全額增資は望み薄ではないかと豫想される

キユバ政府承認 わが政府考慮

【東京二十五日發國通】キユバ新政府は旣に米國を始め英、佛等各國政府の承認を得たが目下日本に於ても考慮中で近く承認實現の模樣である

人

▲村地正司氏(帝國在鄕軍人會大連市聯合分會副長)副長就任挨拶の爲め同副長たる春日兼三郎松崎良胤兩氏と共に二十五日市內各要部歷訪
▲喜多壯一郎氏(早大ホッケー部長)二十五日本社來訪、二十六日うすりい丸で離連
▲大場鑑次郎氏(關東廳警務局長)二十五日午後四時二十分發列車にて新京へ
▲金井章次氏(新京市長)同上
▲江崎重吉氏(大連鐵道事務所長)廿五日午後七時半着列車で歸連

スピード スケーターに (3)

奉天 齋藤兼吉

これだけ書いて再び選手評をしてみれば、木谷君は老いたりといふ者もあるが、私は決してそんなことはないと思ふ。フォームをほせば河村君も齒が立たないのではないかと思ふ、河村君は今日のフォームになる爲めに四シーズン位の研究を積んでゐる、君にも進步の跡が見えるが未だ[illegible]、安東には良いコーチがゐない、若し石原君が私のやうな[illegible]

[illegible]君を推奨したら、君は矢張り第一人者であらう。木谷君が今回の敗北は練習期間の短いことに起因するとするならば非常な誤りである、君のフォームが惡いのだ、石原君は君と同じ體であつて五百米に於いて優勝して居る、スケートほどフォームの影響するものはない位である。奉天の安達君は[illegible]選手だ、[illegible]缺點があるが、實に元氣である、[illegible]

[illegible]らみたら河村君なぞよりは遙かに上である、惜しいことには體格が無い、君の精神と鐵の如き身體を河村君に與へたい、そしたら世界の舞臺へ立つても餘り見劣りがしまい。南澗君は、石原君についで良いフォームである、君は若いから體格は左程驚くない物になるかも知れぬ、內地の學校へ行くかも知れず、又最も條件の良い醫大へ入つたにしても、醫大ではスピードは芽の出たことが無い、ホッケーのみもいつた樣な片輪な選手では出來ない、殘るは矢張りヱタランで河村、木谷、三代、吉野、出原君といつたやうな相當な體格の人達であらう。

斯う觀て來ると君達には自ら責任といふものがあるやうだ、君達は可成の[illegible]を振つて五百米を四十五秒で走ることをモットーとして協力して進んでみては何うか、それが出來ないで、それ以上の短距離に對する野望は架空である。短距離は短距離のフォームさへ整へば直ぐ進步するものだ。

◇トレーニングの要は百米なれば、ここにある。ノースタートで百米を九秒で走れるか否かといふことである、直線が出來たらカーブの百米を九秒で走るのだ、それが出來ないでは如何に計畫をしても如何に焦つても無駄である、これは選手諸君もコーチに當られてゐる方々も充分考慮されたい、問題は百米だ。

若し、右五君の樣な人達にそれだけの熱がないならば、潔よく退いて寧ろ專心コーチの任に當られたがよい、人の趣味にまでタッチすることは惡いけれども、現在の滿洲のコーチに當られてゐる人々は、時計を持つてケシかけるけれ共、トレーニングに對する技術的自信もなく、體驗的興味もなく、體育衞生的トレーニングの經驗もない人許りである、現に角大きな外人を角逐するには肉體的にはアイヌポデーを造らなければ駄目だ、これ等の點を綜合してみて君達がコーチに當られた方が遙かに增しである。

◇私は大正十一年の冬から十一シーズン、スピードスケートを練習して[illegible]其間にはその研究のために歐洲までも遣はされもした、それで自分には理想のフォームといふやうなものも描いてはゐる、然し自分の實際は何うかといふことになると、自分は直ぐ內氣になつてしまふ實に小學生程度である、それだけに今迄にもスケート等に對して發表せねばならぬ責任を感じながら反省的なるが故に常に無言で來た。この稿は大體においてスピードスケートに對する暇乞をする爲めに書いたものである、私は今年からアイスホッケーを始めてゐる、毎日三時間は必ずやることにしてゐるが、そんな離別の感が私に溫なしく筆を執らしたのでせう。

今後數年の間はホッケーを研究し、次にフイガーを研究しやうと思つてゐる、新年の紙上に毎年北海道君に叱られながらも、私達は內地で育つたが故に、體育家ではあるがスケートは未知であつた、スピードに十年を費した、今後ホッケーに數年を費すだらう、我々だといふこともだけは知つて貰はなければならぬ、なるたけインチキコーチになるまいとして、計畫を立てゝ、努力してゐるのも少くも脫線の氣味があるが、要するにスピードスケートは百米の速さを呼吸して進むことである(完)

八面相 投書歡迎 五十行以內

雲助事件 雲助の孫

◇市內の或る大會社で刊行される能率誌に、表題の樣な見出しで「習慣から新しいものを批判し懲さする惡い癖」があり、民衆の利益に反對する他愛なき社員があることを、皮肉たつぷりにこき下してゐるが、これは近頃にない失言であると思ふ

◇大會社の左橫書統制は、五年後の今日結局重役會議で、みんな縱書に還元すべく決議されて了つた──。當時土地の新聞は、何れもその決裁を讃めてゐた、これまで如何に左橫書が評判惡かつたか、裏書されると思ふ。──重役會議のこの反對決議は雲助事件の筆者にいはせたら「極めて幼稚な反對であり、他愛なし」とすべき性質のものであるか何うか?敢て反駁して見たいと思ふ

◇左橫書と縱書の優劣を比較檢討するとき、確に三考すべき餘地があるけれど、實際問題として左橫書も、メートル法が民衆の利益を增進するとも考へられない──誤つて聞くが民衆のため利益だと思つた箇所だけその兩者を實行すれば、事足る問題ではないか?

◇いやしくも、會社と名のつく所で實行率を結果から見て、一%に充たない斯種理想運動は、文化啓蒙團體である、假名文字ブラス左橫書運動の手に任せて了つた方がよくはないか

◇若し、事、左橫書が能率增進したら前述、重役の他愛なき決議に反對聲明をなし能率運動を續行する處に、エフエセンシイ・エンジニヤーの權威があると思ふ

◇大會社が兩肩に荷擔つて、本當に汽車を二本のレールの上に走らす者は雲助筆者が嘲笑する處の、我々雲助卽ち現場員であることを知つてゐて貰ひたし

◇同時にあの「雲助事件」の記事に對しては、何等かの形式で取消さなければ、三萬社員の重役樣を雲助にして了ふ虞があることを杞憂する者である

大觀小觀

滿洲國政府は新度量衡法を公布した、支那一般に涉る度量衡の亂雜ぶりは非常なもので、よく商賣が出來るものだと思ふ▲滿洲も當然同樣であるが、その統一を見るに至つたのは誠に結構なことだ▲貨幣と度量衡とは相照應し、一方が定まつても他方が定まらねば效果はない▲貨幣の統制が先づ申分なき程に出來たのだから、度量衡の統制が出來れば完全になる▲その定め方にも、新舊併せ取りて急激な變化を避け、將來社會の情勢に應じて改正するに便する用意あるのもよい▲滿洲で流行病に罹る者は、滿洲國人よりも日本人に多い、今度の天然痘患者も日本人の方が多い▲種痘がこれ程勵行されても、まだその效果が徹底しないものと見える▲例へば、去年種痘して着かなかつたから今年は大丈夫と思ふ類のもの、もつと當局の警戒が必要であらう▲滿電の電燈電力料金が引下げられるさうだが、電信電話の方も引下げになる模樣、輿論の聲をすなほに聞く態度よし▲蔣介石、汪精衛の對日策は四中全會の動きに表されてゐる▲無益な空論に拘泥せず事實に卽する政策に終始せんとするのは、彼國政治家の進步だ。

市況(廿五日)

株式 新豆續騰 內地株不冴

內地新東は保合を入れ當市四十錢安、日產五十錢安とダレたが五品保合、新豆五六十錢高、錢鈔保合に引けた

[illegible]

特產 邦商の賣に大豆軟調

後場大豆は邦商の賣物ありて軟調を辿り豆粕は閑散保合を示し豆油は不申、高粱は人氣なく閑散保合を呈した

[illegible]

錢鈔 人氣强く鈔票聢り

[illegible]

商品 麻袋弱保合 綿糸保合

[illegible]

市場電報

大阪株式 / 大阪株式(短期) / 橫濱生糸 / 大阪綿糸 / 大阪期米 / 神戶期米 / 東京期米

[illegible]

奧地市況

[illegible]

家庭

小さな魂を脅かす 物凄い入學難
今年は千名を超えるだらう

過去二年間に滿洲國王道樂土を目指して渡來するものは夥しい數に上つてゐます、小學校を卒業して行く兒童や新入學して來る兒童の數、それに中等學校の入學難は如實にそれらを物語つてゐませう、自然これら制限された兒童の入學難を緩和するために起つたものが中等程度の工業學校、第三中學設立運動となり愛兒を持つ保護者たちの一縷の望みはこの問題の解決にかけられて來ましたが、これも望みが失せ、市立中學設立問題だけが現在殘されてゐるのですがそれにしても今年大連市內各小學校を卒業し、男、女各中等學校を希望する兒童數は一體どの位でせう大連一、二中收容人員約五百名、大連商業約二百名、神明、彌生、羽衣の三校で約六百名となつてゐますが市內各小學校兒童の上級學校志望者は次の樣なレコードになつてゐます、もちろん新學期を好機として州外內地其他から渡滿する者が相當の數に上る見込で入學競爭率はもつと困難になりませう

上級校入學志望者調

上級學校入學志望者調

校名	中學	商業	實業	育成	早苗	其他	全在籍者	高女	女商	技藝	聖徳	其他	全在籍者
伏見臺	七一	一七	一	—	九	九	一〇七	七九	一五	八	八	三	一一三
朝日	七八	三五	一	—	四	六	一二四	九三	六	一	—	—	一〇〇
日本橋	四三	一九	二	—	三一	一	九六	五五	二	二	九	一	八〇
常盤	四九	四六	—	—	九	四	一〇八	四七	一三	三	五	八	七六
大廣場	七〇	三九	一	—	二	二	一一四	七八	四	四	一	五	九二
春日	四三	三一	四	一	三	—	八二	三五	八	八	八	六	六五
松林	一三	二二	九	—	六	九	五九	三〇	三	六	八	一	五七
嶺前	六八	二一	四	—	—	四	九七	五三	二	五	七	四	七九
大正	四五	三三	二	—	一三	一	九四	三三	八	二	二	六	六〇
南山麓	三三	三三	九	—	六	—	九一	七四	一八	四	三	一	一〇〇
沙河口	四四	二一	—	—	一七	一	三五	三六	二	六	二	四	五九
聖徳	四七	二八	三	—	四	一	高等一〇〇 八三	三五	三	—	一〇	—	七五
早苗	一九六	一三九	—	四一	三四六	三八二	一二〇四						
下藤	四三	二一	三	—	八	—	六五	七七	六	二	四	—	八九
霞	二八	一〇	一	—	一八	—	五七	三〇	一七	五	一七	—	六九
光明臺	ナシ												
合計	八七〇	四五六	四〇	一	一五九	四八	一五三九	八六〇	一二三	七五	一〇三	三九	一二三〇

みどりなす 黒髪の魅力 その美を保つには

みどりなす黒髪、丈なすその黒髪こそは昔から日本女性の誇りでした。洋髪がはいり日本の女もアイロンや逆毛を使ふやうになつてから、この丈なす黒髪がだんだん赤つ茶けた短い汚らしい髪になつて行くのは惜しんでもあまりあることです。優美な日本のきものが讃へらるゝ限り豊かな黒髪は永久にその魅力を保つでせう。失はれ行く黒髪の美を保つために遼東ホテル美容院主磯口逸子さんの注意をきゝませう。

黒髪の美しさは日本髪に遺憾なく發揮されますが、洋髪にしてもわざわざ黒い豊な毛を西洋人のやうに赤くすることはない

日本人特有 の黒髪で恰好よく結ひ上げてこそ西洋人に眞似の出來ぬ美しい洋髪も出來ませう。生れつき黒い艶な髪ですから、これを素直に美しく育てるのがほんとうだと思ひます。髪を美しくするには日本髪に結ふのが一番です。若い時から日本髪に結ひつけて來た方たちのあのつやつやと申し分のない髪をごらんなさい、と申して今日の若い方だちに皆日本髪をおすゝめすることは不可能ですから、洋髪になすつても、アイロンや逆毛をお使ひになつてもなるべく大切なおぐしをいたはつて頂き度いのです。一番いけないのは強いアイロンをお使ひになることで新聞紙を挾んで見て焦げない程度の

アイロンを お使ひになればひどい害はありません。それにしても毎日毎日同じ所に同じやうなウエーヴをお作りになると、どうしてもウエーヴのところから切れ易くなりますから十日に一度はウエーヴを少しづゝ變へて新鮮味をお出しになつたがよいでせう　逆毛も拔ひ方が惡いと毛を目茶々々にします。立てる時には毛に眞直に根元から順に毛先の方へと氣長に少しづつ立て、梳く時はブラシを使つて反對に毛先の方から根元へと少しづつ梳いていらつしやれば、毛のからまるやうなことはありません。アイロンをお使ひになる洋髪でしたら

油をつけて は思ふやうにウエーヴが出來ませんが、結上げてからクルミオイルのやうな輕い艶出しを上から少しおしつけになると見違へるやうに艶々しくなり毛髪のためにもよいのです。でもこの艶出し液だけでは榮養が不足しますから月に一度位はアイロンをやめて日本髪に結ふとか、水油をたつぷりと地に擦り込んでウエーヴ無しの輕い束髪にでも結つて毛髪をいたはつてやらないと、だんだん赤い汚い毛になつて拔毛や切毛がひどく、頭の地も痛みふけが澤山出來たり逆上せたりします。美しい黒髪を保つためには洗髪も亦大切です、油氣のないおぐしでしたら洗髪の前に

良質の椿油 を頭の地によく擦り込んで出來るなら一晩位そのまゝ置き、翌日おぐしを綺麗にお洗ひになりますと油氣は去つてもつやつやと見違へるやうな美しいおぐしになります。

公設市場の 面白くない風評……
容赦なく注意することです

年末から公設市場に就ていろいろと面白くない風評（その主なものは滿洲人の店員が日本の婦人に面白からぬ言葉や行爲をするといふやうな）があつて取締に當る私共としては大變頭をなやまし

年末 の混雜時には特に取締りを嚴重にし其後もずつと此方面に注意を拂つてゐますが、そのせゐか其後は全くこんないやな風評が一掃されたやうで大變よろこんでゐます。何もろ教養もない品性の低級な店員が多いのですからどうかするとこんな面白くないことが起りますが、こんな際には容赦なくどんな些細なことでもかまひませんから市役所の產業課（電話二一二九二番、二二七二四番）或は市場事務所（電話四七六二三番）へ御電話下さるか備へ付けの申告箱へ御投入下すつて御遠慮なく御注意を頂きたいと思ひます。もつとも一部の

婦人 には寧ろ自ら進んで滿洲人のかういふ言葉や行爲を招くやうな方も全く無いとは申せませんが、かういふ恥知らずな一部の人の爲に他の多數の婦人方が迷惑されるのは許しておけません。市民どこまでも嚴重に取締つて、全體の利便のために設けた公設市場を皆樣に氣持よく利用して頂きたいと思ふのです。市場の品物が新鮮で豊富であることは誰方にも認めて頂いてゐますが、値段も標準相場（最高値段）が掲示してありますから行商人などからお求めになるよりずつと安心です。計器も方々に備へつけてありますからこれも是非利用して頂きたいのですが、これはほとんど

利用 なさる方を見受けないやうで殘念です。又時々產業課から係員が出張して皆樣のお買がになつた品物を其場でお値段をうかがつたり量目など檢べさせて頂くことがございますが、これも御面倒とは存じますが御きゝ入れ頂いたら奸商を除くことゝなりお互の利益だと思ひます。お家にゐて御用聞で萬事お濟ませになれば簡單は簡單でございますが新鮮なものを廉くお求めになるわけにはまゐりません。たとひ十錢の電車賃を奮發しても市場までおでになれば豊富な中から最も新しくて良い品を最も經濟的に御選擇になれます

板場 に就てのあたまも出來、物の良否の鑑識眼も養はれ、又外に出て新しい空氣にお觸れになることも大變有益だらうと思ひます。皆樣の爲の市場ですからせいぜい可愛がつて惡い點があればドシドシ御注意御叱正を願ひたいのです（大連市產業課長丸山郁之助氏談）

家庭顧問

近視の度が進んで困る

【問】僕は十六歳の中學生です、尋常五年生頃から近視になり中學一年から眼鏡を用ひましたがその後次第に度が進み昨年の二月眼鏡をかへました、ところがその眼鏡（二十度）が又合はなくなつて黒板の字が見えず、爲に學科の成績にさへ影響するのです、眼鏡は學校にゐる時だけかけて家では外してゐます、僕の父母も兄弟も一人も近視はゐません、こんなに度が進むやうでは將來どんなにひどくなる事だらうと心配でなりません、これ以上度が進まないでよくなるやうな方法はないでせうか（近視の少年）

何よりも體力を充實させること

【答】進行性の近視は普通遺傳が多いのです、御兩親が近視でなくてもそのお父さんかお母さんにあつたかも知れません、でなければ十歳頃までに何かの病氣で身體が弱つてゐた頃睡眠や運動や勉强が平均がとれないで眼ばかりつかつてゐたためかも知れません、先づ何よりも體力を充實させること、榮養を充分にとり非衞生的な生活を避け適當の運動によつて身體を鍛錬することが大切です、暗い部屋や朝夕のうすぐらい時に勉强をしたり、くびを壓迫するやうな不正な姿勢で讀書したりするとどんどん度が進みます、眼鏡は〇・八以上の視力の出るだけの眼鏡が必要で、眼鏡を強いのと弱いのと二種御用意し近くを見る時は弱い方を、外出時には強い方をつかつた方がよろしい、眼鏡については一度專門醫について選定して貰つた方が安全です、なほ時々郊外へでも行つてなるべく遠いところを見るやうにすれば段々よくなりませう（三根辰一）

毛糸物 洗濯法
方法が惡いと縮みます

◇…坊ちやん孃ちやん方の召していらつしやるフックラとあたゝかさうな毛糸編のジャケツやドレスもお洗濯の方法が惡いと一ぺんにゴワゴワになつたり、伸び縮みして着られないやうになります。色のおちやすいのは豫め水一升にタンニン酸茶匙二杯及醋酸一杯をよくといた中に五六分間浸して色留をします。

◇…洗濯は最初に數回水を換へ振りすゝいで上よごれを落してからマルセル石鹸かラックスのやうなアルカリ性の弱い石鹸液（微温）に浸し萬遍なくつかみ洗ひをします、この時熱い液に入れたり強くもんだり板でゴシゴシやつたり洗濯しますと毛糸の外側のやはらかい毛がからんでしまつてフエルトの樣にカチカチになつてしまひます。よごれがおちたら微温湯で數回振り洗ひをし冷水で石鹸分の拔けるまでよく濯ぎ、最後濯ぎの水に幾分すつぱい位に醋酸をまぜてその中に五六分浸します、かうすると色澤が元の通りに鮮かになり蟲害を防ぎます。

◇…醋通しがすみましたらザッとつかみ絞りにし平な板にのせて形を整へ板を斜に立かけて水をよく切ります。七分かわきになるまでその儘陰干にしたらあとは竿にかけても型のくづれるやうなことはありません。すつかり乾いたところで濡れたタオルを上に當ててアイロンで仕上げます（須藤洋行主須藤てる子さん談）

大連 JQAK　一月二十六日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二
▲午前七時―ラヂオ體操第一
▲午前十一時　相場（錢鈔、特產株式、各地相場、公設市場値段）各地温度通報
▲正午　時報
▲午後零時五分　相場（錢鈔、特產、株式、各地相場）ニュース
▲午後三時三十分　相場（錢鈔、特產、株式、各地相場）ニュース
▲午後三時五十五分（獨逸伯林より）日獨國際放送國內アナウンス管絃樂ドイツ交響樂團、指揮ジークムント・フォン・ハウゼッガー、交響曲第九番、ニ短調ベートーヴェン作曲、第一樂章アレグロ・マ・ノン・トロッポ・ウン・ポコ・マエストーソ、第二樂章スケルツォ（モルト・ヴィヴァーチエ）第三樂章アダヂオ・モルト・エ・カンタビレ及びアンダンテ・モデラート、第四樂章終曲（獨唱、重唱及び合唱付）國內アナウンス
▲午後六時　ニュース、職業紹介（東京より）趣味講座の夕（世界の謎）
▲午後六時三十分　趣味講演「小人國の謎」内田寛一
▲午後七時　同「ボルネオの獵奇行」小倉清太郎
▲午後七時三十分　同「神秘境チベット及び蒙古」河口慧海
▲午後八時（東京より）連續講談「快男子」（第二席）大島伯鶴
▲午後八時卅分　時報（東京より）
▲午後八時卅一分　趣味講座「俳諧行脚」（第三夜）西巻冬雨莊
▲ニュース▲氣象通報

本社特選 新棋戰（其七）

香落　七段△宮松關三郎　五段▲塚田正夫

【圖は四三金右迄の局面】宮松氏持駒銀銀歩歩歩

塚田氏持駒歩

△五九角　▲七八歩
△三八飛　▲七九歩成
△七七桂　▲九六歩
△二六角　▲四四歩
△六五歩　▲七八と
△同　飛　▲九七歩成
△八五桂　累計九十一手

土居八段講評　宮松君の三八飛以下桂を保護したのは、勢ひ敵飛車に働かるゝ順が生ずるから拙策、二六銀打、四四金、三五歩、四三銀、一三歩成、同香、一四歩、同香、一五歩と打つて香車を手に入れ、而して後に一、二兩筋より攻めを圖れば自然優勢の局形となるに相違ない、續いて七八同飛の處は、直に八五桂と指す方が敵に攻められる憂がない。

萩原七段解說　塚田氏の七八歩は稍々陣容を立て直したとはいへ、有力なる角を遊ばされた爲に攻撃に出て難く、と言つて持久戰に入つては益々不利である故に七八歩と打つたのである、續いて九六歩は、同歩なら九二飛と廻り、飛車の活用と局面の轉換を圖る意味である。宮松氏の二六角、六五歩は愈々攻勢に出て敵飛の十分に働かない內に持駒を利用して一擧に攻め倒さんとするものである、塚田氏の七八とは、敵飛を呼び寄せ次に九七歩と成つて八七と寄りを含んで居り、宮松氏の同飛は、敵飛に十分活用される順を與へて面白くなかつた。

日本棋院秋季大手合戰譜（第十局）

先　初段　竹中幸太郎
　　三段　加藤三七一

—【9】—

●一六一チ十三　○一六二チ十二
●一六三チ十四　○一六四ト十四
●一六五ヌ　九　○一六六ル　九
●一六七ト十三　○一六八ホ　八
●一六九ホ　五　○一七〇ト十四
●一七一ル　八　○一七二チ　九
●一七三ト十三　○一七四リ十五
●一七五リ十四　○一七六ト十四
●一七七ワ　九　○一七八ワ　十
●一七九ト十三　○一八〇チ　四

百八十手完（白中押勝）

●一六七劫とる●一六九ツグ○一七〇劫とる●一七三同○一七六同●一七九同

所要時間累計（白 五時十分　黒 四時二十五分）（制限時間各七時間）

對局者のことば

黒　白百八十とコスミツケられるここになつては劫爭は別としても足りない棋です、どうも百三十九以下ひどい眼にあはされました

戰の跡

本局を通觀するに、布石時代はもちろん先著の效果を失はず、黒有利であり、中盤に至つてもなほ優勢を失はなかつたが、八十七、八十九のあたりから漸く歩調がみだれ、つゞいて百三の緩著あるに及んで俄に白の乘ずる所となり、白百二十八に至り大勢は決したものとされやう、白としては寧ろ勝つて意外の感があつたかも知れない

帝制近き滿洲國に 移住露人續出
親戚や知己を秘かに誘つて 赤系露人まで入滿

【吉林】來吉一白系露人の談に依れば滿洲國の治安回復に伴ひ赤系露人の入滿希望者續出し現在北鐵從業員（赤系）中殆ど全部國内の惡政を痛感し表面上司の命に從つて居るが内心に於ては共産制度より離脫し滿洲國の王道樂土下に永住せんとしてをりその他親戚知人に現情を内通し之を同伴入滿する者續々として激增して居る、なほ二十日に於ける滿洲國新國是發表後に於ては其の氣分益々橫溢し入滿者には國幣三百圓乃至四百圓を提供して秘に知己親戚を呼寄せて居る模樣で之が爲に從事員中には自己の鄉里に何か事由を作り休暇を利用して歸鄉歸來するに際して必ず二三名の者を同伴し入滿して居る模樣で逐日激增して居る現況にある

待望の帝制 吉林住民の喜び
希望に輝く省内全土

【吉林】溥儀執政皇帝推戴運動は全滿各地の三千萬民衆の總意により遂に來る三月一日を以て即位の段取りに決定したが吉林における帝政運動即ち執政を皇帝に仰がんとする帝政請願書は各團體を通じて合計六十通の多きに達し帝政を願望する在吉滿人の如何に熱烈なるかを物語つてゐる、かくてこの民衆の要望容れられて滿洲國の新國是重大發表は二十日午後四時を以て遂に公表された、均しく國民擧つて待望したる帝政は實現に決定した吉林在住滿人間には恰も陽春を迎へたるが如く希望に燃え喜びに溢れて居る、一般人は三千萬民衆の要望に依り順天安民即ち天命に依りて實現されたるもので我々の等しく待望したる結晶なりとし至極平和境で皇道の榮えあらん事を願つて居る

京圖沿線の 特產出廻り激增
今後益々增加せん

【吉林】京圖沿線に於ける本年の特產出廻り狀況は昨年に比し等しく激增し居るが昨年の最盛期樺皮廠大豆四〇、一三〇噸、孤店子七二、四五〇、吉林四五、二四〇、蛟河一六、九二〇、敦化二四、六九〇噸に對する本年の出廻りは敦化八〇〇車、蛟河四〇〇車、新站二五〇車、煙筒山四〇車、磐石九七六二車、小城子三〇〇車、水曲柳三〇〇車、山河屯六〇〇車、五常七〇〇車、拉林五〇〇車

以上の如くにして之は京圖拉濱線の開通に依り經濟的に交通上から發展の動向を呈せる所にして右京圖拉濱兩線の開通は今後特產並に一般經濟上において異常な發達を豫想せらるるもので殊に拉濱沿線の如きは將來經濟的に豫想以上の發展を示すものと見られてゐる

なほ本年開通後における運賃の比率は一車に付き吉林新京間一二四圓二十錢、新京大連間四一二、二〇錢、これは大連向けにて北鮮向けは吉林拉法八六、四〇錢、拉法敦化一二二、四〇錢、敦化圖們一八〇、〇〇錢、圖們雄基一四二、五〇錢にして大連向けは一噸に付き二錢五厘北鮮向けは三錢三厘の比格率を示して居る、之は吉林及び京圖拉濱沿線に未だ特產商としての確固な邦人が進出して居ない爲に其の間の圓滑が取れず多少特產商人があつても小資本者なるが爲に萬事の交涉に對して不便な點が多いためで今後漸次大資本家の進出に依つて開拓せられて行くものと見られて居る

目下吉林の國際運輸支店では滿鐵建設事務所に對し混保施設方を出願中で京圖拉濱沿線に於ける將來の特產出廻は實に吉林吉海方面を壓倒して活氣づくものと期待されて居る

コロンバイルの 實狀を踏査
布利秋氏更に三河へ

【海拉爾】呼倫貝爾の認識、今や治安成つた今日呼倫貝爾への主題は一に茲に在るのだがそれからあわか昨夏以來これが調査と視察のため來呼する者、學徒といはず爲政家といはず利權屋に至る迄相次ぎ各々海拉爾又は滿洲里に陣取つて呼倫貝爾を究めてゐたが、多く座敷調査で兩市の調査表を基調に各自各相の呼倫貝爾史を作り探檢家といつても凡そ又これ等の轍で一かどの探檢家を氣取つた程のものだつたが、去る十六日突如來海した布利秋氏は全く探檢家の本領を發揮して零下三十五、六度の極寒も何のその、各種統計の調査は勿論附近一帶の實蹟調査は攜帶の十六ミリで片ツ端からフキルムに收め綿密な調査を續けてゐるが二十日勇躍三河地方へ向つた、將來唯一の農業移民地なりと聞かされた同氏は茲に豫定を變更して三河へ出發したのだが同氏は曩に滿洲里よりタライノールの遡上を縱斷し外蒙近く自動車を驅つて甘珠爾廟に出て全蒙古人の生活を支配してゐるラマ教の本據を衝き乾隆帝の眞筆の額が揭げてある壽寧寺にラマ教の實際を探り、遠く狼の群を車窓に眺めて零下四十五度の曠野を馳驅して來海したものだが、北滿の旅行は不自由してこそ意義ありとして創設期の海拉爾西本願寺の狹屋に宿泊して活動してゐる歸海後は一路チチハルに向ひ更に大黑龍江の秘境を探つて内地人の北滿認識に對する一轉機を與へんものと雄心勃々たるものがあるが同氏の壯擧によつて成る北滿紹介はその綿密の踏査より徹して反響多きものがあらう【寫眞は海拉爾郊外南屯ラマ寺に於ける布氏】

技術員の不足に 惱む大豆の檢查
總局、滿鐵に增員要求

【奉天】鐵路總局では大豆、豆粕の檢查規程を實施、產業の開發、荷主の便宜のために非常な努力を拂ひつゝあるが大豆及豆粕の檢查は純技術的な問題であるため滿鐵の檢查員派遣も全國線に亘つて充分な人數を得られず目下其の補充方を考究中であるが、滿鐵における檢查技術員は現在七十餘名しかなくその約半數が國線各驛に派遣されて居る狀態であるが新線の開通やいよ〱本格的となつた大豆出廻り等に檢查員の大多忙を來し出廻り主要驛數ケ所を一人でかけ持ちするといつた狀態で平均一人一日廿六車の檢查能力を以てしては到底荷主の檢查要求に即座に應ずる事が出來ない處があり斯くて一日でもその發送の遲れることは荷主に多大の影響を及ぼし延いては產業開發にも影響する虞があるので、總局では至急滿鐵々道部に交涉派遣員の增員を要求することゝなつた

大黑河に 邦人民會

【チチハル】アムールを隔てゝ蘇聯ブラゴエスチエンスクと對峙する滿洲國北の關門大黑河を指して押寄せた邦人は今や二百を超ゆるに至つたので居留民會を設くる事となりチチハル領事館の認可を經て去る十四日之が發會式を兼ねて評議員選擧を施行、得點を纏めて内田領事のもとに送附して來たが左の諸氏が得點順により認可される筈

九五票　松坂政孝（警察隊）
六七票　奧田道夫（醫師）
六二票　熊澤定一郎（旅館業）
六一票　寺崎嶽司（指導官）
六〇票　木下千一（國際）
五四票　市川猛（滿鐵）
五二票　牛田功（警察隊）
四一票　廣田繁一（旅館業）

チチハル鄉軍

【チチハル】在鄉軍人會チチハル分會にては十九日午後四時より滿鐵事務所において評議員會を開催し役員改選の結果左の通當選した

分會長鈴木兵一郎、副會長石川祥一、同佐藤鎮龜人、常任理事松尾量藏、同監事勝谷史郎、理事長谷川清、監事山本一行

就職難ものかは 卒業生大半賣切
吉林同文商業の好成績

【吉林】事變以來頓に其の存在と實質的價値を認識され學業順調に益々實力向上に努めつゝ有る吉林同文商業學校は現在相當多數の卒業生を送り何れも卒業前より就職先が決定し不況何ものぞとばかり賣行き甚だ好成績を示して居るが本年の卒業生二十四名も既に大半就職決定し申込者は一日も早く申込む樣にと希望して居る、右學校は事變前より殊に事變以來商業的に又日語にも熟達し實社會に用ひてあらゆる點に條件を具備し需要者に對しての希望通り實力相應じて居るため一般の評判も良く同校の前途には益々多くの期待がかけられて居る、近く昭和九年度の新入學者を募集する模樣で人員四十名、年齡十四歲以上十八歲以下の高等小學二年卒業程度を以て來る二月一日より二月末日迄募集し試驗は三月四、五の兩日學科は國文算術、口試身體檢査等にて既に其の諸準備を急いで居る

吉林市政公署 文化的施設

【吉林】吉林市區擴張案に關しては昨年來より吉林市政籌備處に於て鋭意諸準備を進め籌備處も市政公署と改名して近く市政公署移轉さへ決定し國道の開通に伴つて市街計畫並に公園其の他文化都市としての具備必要な準備は既に着々進められて居る模樣であるが本年は國慶を間近に控へ首都新京に隣接せる吉林として設備萬端至れり盡せりの方法を以て土地柄首都の遊園地として將來内地の京都に形造る樣計畫もある模樣で該市政公署の着手せんとする市區擴張並に市街計畫は均しく省城民に期待をかけられて居る

反日滿聯合軍結成
敦化延吉地方の匪團 頭目會議で協議決定

【新京】確實な筋よりの情報によれば敦化、延吉縣方面に蟠居する兵匪團頭目六名は去る一月初旬敦化縣黃泥河子に集合し頭目會議を開催したが同會議においては

一、敦化、延吉兩縣下に蟠居中の救國軍及馬匪賊團は爾後大同團結し日滿軍憲に對抗するため反日滿聯合軍を編成する

二、結氷期間の日滿兩軍の討匪工作に備へるため歩哨の增設聯絡を密にする

三、越冬、食糧問題については材木伐採業者一人宛に麥粉三袋、豆油十斤、食鹽四斤、精麥三斗玉蜀黍五斗の提供方を要求すること

等を協議した外、該反日滿聯合軍總司令には匪首青山を推薦することに滿場一致で可決した、なほ右兩縣下の匪團現狀は左の如し

頭目名	根據地	匪數
青山	敦化縣黃泥河子	八〇
新軍好	延吉縣崇札鄉屯	二〇〇
穿山	延吉縣崇札鄉屯	五〇
孔明山	敦化縣四道河子	一二〇
老來好	延吉縣崇札鄉屯	五〇
姚振山	敦化沙河掌	三〇〇

上海家裡教 首領來滿

【新京】上海家裡教第二十一代首領曾幼珊氏（六〇）は大連經由で最近來京したが、彼の渡滿目的は上海家裡と在滿家裡との聯絡を計るためで現在上海の家裡教は中央第十九路軍の壓迫によつて苦境に陷りこの強壓に對抗するには將來滿洲國内の家裡と連絡提攜を計り精神的對抗を行ふより外道がないと言つてゐるが、既に奉天に於ては家裡有力者間の遊說に奔走した模樣で更にハルビン、チチハル方面にも赴く豫定であると

開魯附近物價

【奉天】鄭家屯地方事務所調査によれば開魯縣城内は他地域の地價と同じく事變前後を通じ略同一地價を維持してゐる

正號即ち東西大通に面する市街地一號地は六畝に付上等五〇〇〇元、中等四〇〇〇元、下等二〇〇〇元にて副號即ち東西大通以外市街地一號地は五畝に付上等二〇〇〇元、中等一〇〇〇元、下等四〇〇元にして正副號共一號地の地價一〇〇〇元以上のものは家屋を包含する價格で一號地四〇〇元の市街地は家屋を含まない價格である

又開魯縣農耕地價は一頃百畝に付開魯城外附近上等地四〇〇元、中等地三〇〇元、下等地一〇〇元、城外三十支里附近は上等地二〇〇元、中等地一〇〇元、下等地五〇元、城外遠隔地は一般に五〇元見當であると

熱河の征服者
トラック隊朝陽へ

【奉天】朝陽から承德まで七十里其間四間と六間の立派なバラス道路が完成し旅大のペーブメントを疾走するよりは愉快だ——との話、この熱河は今や國道路の建設が着々進行し承德から欒平、國境は勿論のこと、赤峰、林西間も交通路が開け奉山路局のバスが本線を往復してゐるが、このほど皐姑屯から三十餘臺のトラックが朝陽に送られた、今後の熱河交通網を十二分に征服するものはこのトラックで日常の物資は大部分トラックで運搬されてゐる、神速の足をもつてゐるトラックも目的地に到着するまでは汽車の厄介にならねばならぬ（寫眞は其のトラック）

新站の全貌
一躍交通上の樞要地
（上）吉林支局 築山乙次郎

【吉林】新站は北緯四十三度六分東經廿七度の地點に位し東に張廣才嶺、西に太平、老爺の二嶺あり北は呼蘭山脈を以つて圍まれ松花江の支流たる拉法河、報馬河の合流地點にある貧地にして南は拉法を經て敦化に接續し將來京圖線と拉濱線の分岐點として國內鐵道並に軍事上の要衝にある要地である

× ×

今より約二百年前大洪水の爲め縣內杉松地方の部落流失の際、同地方より五六戸の農民が移住したのに始まり其後漸次戸口を增加したが大正十三四年頃に於いては支那人百餘戸鮮人十數戸に過ぎざる一寒村であつたが、それが昭和二年吉敦線開通してから大豆並に木材の小集散地として冬期稍殷盛を見るに至り昭和五年末には戸數二百二十餘戸、鮮支人雜居の小都市を形成するに至り、滿洲事變の勃發するや馬匪賊の慘害を受け一時疲弊其の極に達したが昭和七年十月拉濱線鐵道工事の開始と共に俄然發展の氣運に惠まれ、昭和八年五月あらゆる建築工事着工せらるゝや邦人の來住するもの日と共に激增し同年十二月十六日拉濱線の開通に依り一躍軍事上及び鐵道要衝地となつた同新站市街に於ける十二月現在人左の如し

日本人戸數五二人口二九四人、鮮人戸數一〇七人口五〇三人、滿人戸數五六〇、人口三、〇二六人、外人（露人）戸數二人口二人、合計七二一戸、三千八百二十五名（露人は白系にして鐵道工事從業者）

× ×

新站は昭和二年春吉敦線拉法驛開設以來一般に拉法新站と稱せられ爾來拉法驛を中心とする蘇門子舊站（拉法驛南方）に對する拉法北部の一村落名に過ぎなかつたが昭和八年二月當地に拉濱線新站驛開設せらるゝや拉法より獨立して新站として知らるゝに至つたものである

× ×

昭和七年四月新站附近の警備に任じてゐたが滿洲國軍營田長部隊の背反に依り當地住民は一時吉林方面及鐵道沿線に避難したが同年五月拉濱線鐵道工事開始に當り漸次避難民の歸住及他地方よりの來住者を見るにいたつた、しかし市街を圍繞ぜる山岳は馬匪賊の潛入場所となり屢々新站襲擊の噂傳へられ辛うじて一時其の難を免れたが同年六月以降高粱繁茂期に際し再び匪賊襲來の氣運再燃し、同年六月及び八月には新站東方部落蕃姑並西方部落太姑家子（新站より三支里）には匪頭中俠の率ゐる七十餘名同太平の部下二百餘名襲來し民家十九戸を燒却、多數の死傷者を出した、その後數次に亘る皇軍並に滿洲國軍の討伐に依り附近一帶の匪賊は潰滅或は歸順しその後新站附近は賊影を認めず目下極めて平穩である（つゞく）

金州戶外デー

【金州】二十一日の戶外デーは寒さは相當ひどかつたが折柄の好天氣であつたので豫想外の人出で定刻前既に南山登り口電氣所前と城内東門外の參加票交付所に押掛けたる老若男女約八百豫め準備せし七百の參加票不足となり補充せねばならぬ騷ぎで滿電バス前の抽籤所や民政署前の景品引替所は押すな〱の大混雜であつた、定刻正午迄には總ての行事が無事終了し日常餘り外に出ぬ老幼婦人等も寒空にも拘らず外出而も南山迄登らしめた事だけでも大成功であつた參加人員八百餘名

一等賞白米一俵の幸運者は民政署員福山氏の息七歲が當籤した

女の部屋（74）

林芙美子作　一木弴書

母と娘（二十）

綾子は持つてゐた茶を危く取り落しさうな程驚いた。

——どうしてゐたのよ、あんたまあ？

麗子は綾子の手を自分の手の中にしつかり握りしめて打振つた。

綾子は突嗟には口も利けない程此の思ひがけない邂逅に感動して了つてゐた。

——變つたわねえ！

——あんたも變つたね。

綾子の聲は慄へてゐた。

——何時頃から此處に來てゐるの？

——もう四年になるわ。

——ぢや、あの直後ね。

——……

綾子は答へる代りに點頭いて見せた。その顔は明らかに何かの苦痛を忍んでゐるものゝやうに硬直してゐた。

綾子と麗子とは女學校時代から同性愛と云はれる程仲よしで、何をするにも、何處に行くにも必ず一緒であつた。積極的で命令する事を喜ぶ麗子の氣性と、消極的で服從するのを喜ぶ綾子の氣性とはうまく一つになつて、恰も異性間の戀愛のやうな睦まじさが二人の間にかもされてゐたのだつた。

それが土方の出現によつて、更に麗子の勝利によつて、全く破壞されて了つた。戀の敗殘者になつた綾子は、音もなく麗子の前から姿を消して行つた。それ以來今日が始めての邂逅であつた。

二人は暫く無言で、つくづくとお互を打ち眺めてゐたが、軈て殆ど同時に太い吐息をついた。

——何時かゆつくり話し合ひたいわね。

麗子が情愛をこめていつた。

——妾……誰もお友達がないのよ。聞いて貰ひたいことは山程あるのだけど、あんたを失くしてからつてもの、誰一人妾の本心を理解してくれる人もゐなければ、此方から話したいと思ふ人もゐないし……矢張りあんただわね……

綾子は淋しく微笑んでゐた。

——何時か逢つてくれない？

——逢つたつて……

——……昔のやうぢやないつての？

——妾には、あんたの不幸に同情するなんて事……出來さうにもないわ。

麗子は彈じかれた樣に綾子の手を離した。血の氣が徐々に彼女の顔から退いて行つた。泪がすーと一本頰を流れて絨毯の上に落ちた。又一つ。又一つ。

綾子は目を伏せてゐる。心の動搖を示すまいと一心に努力してゐる。だが彼女の唇はその心を裏切つてぴくぴく慄へてゐた。

——妾はあの時、それでもそれが貴女の幸福の爲ならと思つてどうにか自分を慰める事が出來たのだけど……綾子の聲は水の樣に冷靜だつた。その後のあんたの噂……おゝ！

今は彼女も心の激しい喘ぎを隱しおふせなくなつて、刺すやうな憎惡と侮蔑に燃える眼で此の友を睨みすゑた。そして身震ひした。

——うちの若樣なんかと出歩くあんたの煩悶なんか……

——もう云はないで！

麗子は取り縋る樣に云つた。

綾子は暫く石の樣に立ちつくしてゐたが、漸く冷靜さを取りかへすと、音もなく出て行つた。

麗子は聲をあげて泣き度い處を漸く我慢して、心臟を刳り抜かれるやうな苦悶を感じながら、ソフアーの一つに身を落した。

其處へすつかり顔を洗ひ落して短く剃つた眉もそのまゝの、餘計珍妙になつて了つた信一がニコニコしながら入つて來た。

滿日柳壇

カレンダー　編輯局選

大連　土肥　重一
新妻にカレンダーも笑ひ寄り
奉天　笠原　青蛙
カレンダーだけを殘して除隊兵
カレンダー四五枚殘したまゝに暮
遼陽　大保　欣
戀人を待つ間にむしる二三枚
嫁く日を姉心でくつて見る
大連　河東美津雄
大晦日ほうり出されたカレンダー
大石橋　久郷　滋男
カレンダー杜の上で春を待ち
大連　佐藤　奇坊
ルンペンへ新カレンダーの派出な色
大連　月波　眞平
佛滅よ女給は今日の日もめくり
カレンダー後三枚へ餅になり
カレンダーへ愛想のまく年の暮
旅順　桃井たかし
カレンダーはがれたやうに老婆さん
大連　林子　禾
カレンダー剝いて時計の塵をふき
大連　赤井　利坊
片足は墓穴にありとカレンダー見
大連　市村　喜一
斷じては居られぬ日暦の満になり
出動の夢にカレンダーめくられる
カレーダーもういくつかは見逃され
新京　林田　深緑
カレンダー癪にさはつた日をめくり
大連　玉井　天坊
留守宅のカレンダー秋のまゝで暮
夜逃げしたその日を語るカレンダー
朝鮮　木内　鴬栖
カレンダー數へるだけの數になり
カレンダー旗日を探してる或る日
出張の日を示してるカレンーダー
遼陽　新見　貢
新舊のカレンダー並ぶ年の暮
新婚の夫婦へカレンダー分けてやり
大石橋　田中　仙人
不合格今年こそはと日をめくり

滿日柳壇課題

▽題「鏡」「友情」「湯」編輯局選
▽締切　二月十日（各題五句、別紙の事）
▽祝　滿洲帝國の祝吟高橋月南選
▽締切　二月十日一人一句（三月一日發表）
▽宛　本社編輯局川柳係宛
▽賞　佳吟に薄賞を呈す

大連　中川知美子
カレンダー見上げて妻は涙ぐみ
遼陽　星野　瓢六
カレンダーへ勘定書を添えて出し
カレンダーの旗日へ女給はしやいでる
東京　今井　泰雄
カレンダー一度にめくる年の暮
小平島　清風　充夫
平等に旗日のせまるカレンダー
新京　庄下　百鈴
正月を待つ子はカレンダー無茶にはぎ
カレンダーは桃色事件置いて行く
四平街　坂口　フミ
退院を待つカレンダー順に消し
抱いた子に明日の分迄めくらせる
大連　八尋たつを
失業へカレンダーさへも手に入らず
新京　美奈川五朗
暴君のカレンダー今日も旗印
開原　古市　贅六
カレンダー姉の婚日を數へて見
先勝の日今日も相場へ強く買ひ
恐れがち父の命日[illegible]つて出し
大連　松浦　虎雄
カレンダーも子の數へる程になり
大連　今宮　三郎
青春譜土曜のコース待つ遠し
大連　外山　角照
御歳暮は皆カレンダーで持て餘し
カレンダーの鏡へ女中嬉しがり
大連　赤井　市郎
佛滅のカレンダー恨む不合格
大連　高川　照雄
暦から正月が出るやうに剝ぎ
大連　葉　齒　朶
カレンダー別の氣で見る姉妹
弟は誕生日まで皆めくり
新京　吉川　峰雲
カレンダー剝いで弟駄々をこね
非常時が西暦消してるカレンダー
大連　藤村　忠夫
カレンダー新年の氣分さきがける
奉天　野口　安生
カレンダーは破れし戀を清算し
御年玉犬のカレンダー持ち廻り
大連　久川美名都
嫁ぐ日をそつと讀んでるカレンダー
日めくりの子の歸る日を又數へ
カレンダー氣の付く度にむしられる
大連　吉岡　武久
年の暮夜店に並ぶカレンダー
戀人と遇ふ日の暦書いてあり
大連　志鎮　乃公
カレンダーも買はればならぬ獨者
カレンダーもめくらず嬉しい二人仲
大連　月森　輝
嫁ぐ前姉のカレンダーめくられず
旅順　木川つとむ
カレンダー二枚破つて叱られる
大連　櫻井　崎子
新カレンダー先づ休日が數へられ
カレンダー後一枚で年が明け
大連　安田　三郎
カレンダー弟電車の切符にし
奉天　香塊　泉
カレンダーで試驗準備をせかせられ
大連　平松　磊笑
日曜が見え透く土曜のカレンダー
カレンダめくれば十九の春は待ち
二枚宛めくつて夜勤の疲れやう
奉天　金毛　利忠
カレンダーで旅行きめる仲のよさ
嫁入前カレンダー破てひやかされ
奉天　寺林　書
カレンダが坊主になつて春は待ち
大連　鈴木たつ坊
カレンダーまで不足する子澤山
陋屋の初春飾るカレンダー

A.10

一月二十五日發行
發行人 木村盛
編輯人 鈴木哲治
印刷人 昇武
發行所 大連市東公園町三十一番地 滿洲日報社

政、民兩黨の純理派は軍民離間問題を追及

政府方面は激化を憂慮

【東京特電二十五日發】議會の對軍部批判が漸次高調され二十四日衆議院における所謂軍民離間策に對する聲明問題が論議さるゝに至つて、そのクライマックスに達したが、今後この問題が如何に發展するかといふに政民兩黨内部のリベラリストはこの機會に追究の手をゆるめず、軍部の政治關與を是正して議會政黨政治復興の氣勢を揚ぐべしと敦圉いてゐるが、一方にはこの情勢の激化によつて軍部及び一部右翼系の反撥を買ひ、徒らに空氣を險惡ならしめ折角平靜に歸しつゝある世相を再び惡化する端を開くことを恐れ、ここに政府方面は極度に憂慮して議會における軍部攻撃的論調がこれ以上發展せざらんことを希望してゐるので、政黨首腦部はやゝ警戒的態度を執つてゐるが、要するに政民兩黨の微妙な關係及び各黨内の各派對立關係によつて意外の情勢を惹き起すであらう

軍部批判活潑豫想

けふ第三日目の質問陣

【東京特電二十五日發】二十五日の兩院は依然質問戰を續けるが、貴族院では時頭日程を變更して政府提出の農業倉庫法中改正案を上程、委員附託として後、大河内輝耕子、田中館愛橘氏等の質問が行はれた、衆議院々は政友會の八角三郎、民政黨の小川鄕太郎、政友會の原口初太郎氏の順で質問演說を行ふが、政友會の兩氏は軍人としての立場から軍部の軍紀問題及び在鄕軍人會に依る政黨解消運動に對して相當痛烈な質問を行ふべく、前日に引續き議會における軍部批判が一層活潑となるであらう

秘密會の答辯で政府は押通す

軍民離間問題質問に

【東京二十五日發國通】二十四日の衆議院本會議において政友會の安藤正純氏の質問が偶々過般陸海軍協同にてなされた軍民離反に關する聲明書問題に言及し遂に秘密會となり、一般の視聽を集めたが、これは當の質問者たる安藤正純氏自身も意外とする位のことで、政府が豫て答辯の打合せをなす萬端の用意を怠つたゝめその處置を衝かれた觀がある、然し寄合世帶の内閣の下では豫じめ答辯の打合せをなす事は出來ない事情にあるから二十四日の秘密會要求は臨機の處置として止むを得ないものとしてゐる、而して二十四日の論議に刺戟され軍紀問題が今後どの程度迄發展するか固より豫想し得ぬが、豫算總會又は貴院本會議等で多少論議される事あるも二十四日の秘密會でなしたる政府の答辯を以て押通す肚を極め、これ以上の發展は見ないだらうとの觀測の下に政府首腦部は今後の成行を注目することゝなつた

綱紀問題糾彈と政府の答辯方針

首相けふ商相と協議

國民、國際兩精神の作興方策如何

田中館博士の愛嬌ある質問

けふの貴族院本會議

田中館愛橘氏

新疆省の西南部に回教徒の獨立政府

蘇聯の援助で建設

【上海特電二十五日發】新疆省西南部の回々教徒は喀什噶爾に新政府を組織し獨立を宣言したが、その背後にはロシアの援助あるものと見られてゐる

【南京二十五日發國通】モスクワ來電によれば、新疆省南部喀什噶爾に新政府成立し支那との離脱を聲明した、新政府の首脳は同地方の要衝和闐の回々教宗長の一族で一帶の領有を宣言したが、その獨立宣言中「在新疆の漢民族地區」なる

議會政治擁護空氣漲る

【東京二十五日發國通】今議會は政友會代表床次竹二郎氏の議會政治擁護と政黨大同團結の熱辯、續

汪氏の對日方針を承認の上援助

第四中全會議決議

滿洲國を正式に承認の外無し

イギリス有力紙論評

蘇大使館襲撃は虛報

大田大使回訓

ウクライナ分離運動と蘇聯民族政策更新 (下)

新村龍二

大連から旅順へ (四)

野上大業

桃源臺の文化住宅

滿洲は到る所、住宅の完備さ、土地の風光とを取入れられない殺風景の感があつたが、大連郊外に而も桃源臺の文化住宅地は、よく附近の景色を調和よく美術的に配置され、紅や青の瓦の屋根に白い壁とが鮮かに彩られて畫の樣な美觀を呈してゐる。

星野總務司長

【新京二十五日發國通】星野財政部總務司長、松田主計處長は日滿經濟金融統制問題並びに滿國海關稅關北鮮設置その他重大用件を携へて日本政府と折衝のため二十

生活の虹 (24)

菊池寛 作　志村立美 畫

既に愛へ (三)

社員會强力内閣 大統領は誰？

社員會幹部の選擧近づき 下馬評に上る人々

滿鐵社員會昭和九年度評議員の選擧は過日行はれのその結果は沿線の一部分を除いて全部確定したがこれさ同時に九年度社員會の幹部の陣容も

二月三日　聯合會長選擧
同　五日　幹事選擧
同十二日　幹事長選擧

さ日程を逐うて選擧を行ひ、新幹事長確定後、その指名によつて常任幹事および各部々長さ副部長を決定し、こゝにいはゆる

社員會内閣

を組織する段取りさなつて居る、而して社員會は昨秋來滿洲は固より内地方面にまでその存在を認められるに至つたので、自然幹事長の地位も一層重要視されるに至り、次期幹事長が何人さなるかは理事後任問題のごさき興味をもつて社内外から注視されて居り、現社員會當局も出來るだけ速かに次期幹事長候補者を決定すべく二十五日午後四時より社員倶樂部に候補者選定に關する役員會を開くこささなつた、現社員會當局の方針さしては幹事長候補者の資格が新規程によつて擴大されたことを根據さして、出來るだけ廣く

社内に適任者

を求むべく目標を在大連評議員中の有力者又は聯合會長に置き大體この範圍より求めんさして居る、これによる時は在大連評議員中の課長級は伊藤武雄（審査役）内海治一（經調幹事）奥村愼次（經調主査）伊藤太郎（經調主査）岡田卓雄（經調主査）の五氏であり、聯合會長に選擧されるこさに略決定されて居るのは中島宗一（第一聯合會）千種峰藏（第二聯合會）の兩氏で、この他に總務部審査役粟屋秀夫氏は幹事長候補さして特に審査役室に於て評議員は選擧せずに置いたから當然候補者の話題に上るべく即ち總計八名の候補者が擧げられてゐるわけである、この内伊藤武雄氏は八年度幹事長さして活躍したが幹事長は留任しないのが前例なので、當然辭退して一評議員さして活動の代りに奥村、岡田、内海の三氏は各種の業務があつて多忙だからその點でまづ就任不可能さ見られ、結局、中島、千種、伊藤（太）、粟屋の四氏が

第一候補

に立つものさ見られて居るなほ九年度の社員會は强力内閣を組織すべしさの説が高いので幹事長は何人が就任するもこれを助ける常任幹事には上記課長級の有力者さ幹事長の少壯分子を適宜に配置し、さらに各部役員中にも出來得るかぎり社内の指導的地位にある人物を推さんさして居り、九年度の滿鐵社員會は前例を見ざる實ぶりを示すこさゝなる模樣である

賴む男と別れて 女性の自殺

早春の悲譜 手切金二千圓を枕頭に置き

遺書 黄泉より御成功を

唯一人の身寄りもない女が愛する男さ別れて總てに希望を失ひ儚く散つて行つた、二十五日午前四時頃市内若狹町三〇番地住友ビル居住の大連會館勤務竹下久氏方に二十四日内地から來て一泊した許りの靜岡生れ芝山雪枝（二三）の呻り聲に、竹下氏の妻女が眼を覺まし揺り起したさころ枕元にアダリンの瓶あるに驚き、直に越後町梶田醫師を招いて應急手當を施し大連署より渡邊檢證官が檢證したが瀕死の状態で生命は覺束ない、彼女は二三年前まで北一席抱萬歳の藝名を以て大檢に出てゐる内、某氏に落籍されて圍ひ者さなり住友ビル竹下氏の隣室に居住してゐたものであるが

昨年十二月某氏さの間に別れ話が持ちあがり手切金二千圓を貰ひ同月一先づ内地に歸國してゐたが、再び昨二十四日飄然さ來連し竹下氏方を訪れたので夫婦は大いに喜び歡待し、夜は六時頃から竹下氏の妻女さ共に大連會館に赴き、散々踊り抜き愉快に十一時頃歸宅就寝したもの枕元には旦那だつた人から別れる時貰つた二千圓の小切手を惜しげもなく抛り出し警察、竹下妻女さ吉田さいふ三人に宛てた遺書があつたが、警察さ竹下氏妻女宛のものは生前の知遇を感謝し併せて厄介をかけて濟まぬ旨を書き殘してあり吉田さいふ人物宛には

望の綱も命の綱も切れました、吉田樣貴男は私のすべてを御存知でしたわれ、妾は貴男の御幸福のために死んで行きます、どうぞ一生懸命働いて大きな實業家に成つて下さい、黄泉の國から貴男樣の幸をお祈りしてゐます去り行く雪枝より（原文のまゝ）

さあり、吉田さいふのは市内某エリー商會の主人であるさいふことだつたが、兎も角男さ別れて內地に歸つたものゝ、たれ一人身の寄るところないのを悲觀して死を決意し懷しい大連の地に再び來て竹下氏方を選んだものらしくなほ南向の窓よりサンサンさ日射を受けた八疊の間で…

ヘロ密造工場 また柳町で發見

市内柳町八五番地の宏壯なる建物内にヘロイン密造の大工場あるを大連署で突き止め二十五日午後零…

久しく當局の目をかすめてヘロ密造に從事してゐたものらしく、三澤昌幸（二五）の外關係者多數に上る…

問題の家（×印は密造場所）

跋扈する邪教

毆られて病が癒ると信ずる女 殺した犬の血を神前に献ぐ

内偵して斷乎摘發

醫藥によらずして萬病を治癒さ怪しげな祈禱で無智な民衆を路に追ひ込む邪教の跋扈は幾多の社會的悲慘事を生み沙河口署では自分の夫が天然痘患者さらず祈禱師のいふがまゝに豚の中毒さ信じ、怪しげな祈禱をするうち遂に死亡したさいふ…

皆よく働らく 俺の責も重い

川原少將奉天で語る

氷ホツケー選手權大會

横領發覺

同發盛店員が

進む科學

ソ聯

都市の上空から ラヂオの放送

スカイ・サインズメツセーヂ

英國

無線で操縱する 快速水雷艇

深夜の泥棒 新京百貨店へ

犯人は滿人……すぐ御用

出頭されたし ハンドバツグの御婦人へ

日蝕觀測隊 ロ島に上陸

監禁して拷問

韓氏の願間が

獨逸

競爭用自動車

逃げた漁船

實は待遇の不滿から

少數の自警團

賊二百を撃退

『北滿雉』の洋行

ロンドン人の食膳へ

一萬五千羽進出

市立中學の假校舍 教科書編輯部か

同盟會滿鐵へ賴みこむ

大連市立中學校設立期成同盟會では二十四日夜、常盤小學校内の事務所にて委員會を開き關東廳並に民政署當局訪問の經過を報告し種々設立準備の協議を行つた結果、二十五日午前高塚、松浦、森川、脇屋、八丁各委員は假校舍の第一候補たる兒玉町七南滿洲教育會教科書編輯部を下檢分したところ最も適當さするに意見一致したので午後二時滿鐵當局を訪れてこれが借用方を懇請するこさになつた、一方辻、坂本、桑野、恩田の各委員は新聞社方面を歷訪して市民要望の趣旨を述べ中學設立につき援助方を求めた

なほ二十四日夜在京の小川市長宛大連市會、保護者聯合會、各有志より極力善處方を乞ふ旨打電したが保護者聯合會の電文は左の如くである

市立中學校新設に關し市會議員の堅き支持により昇天の勢を以て市の輿論を惹起せり、閣下は是非御贊成の上目的の貫徹に御努力を乞ふ（寫眞は教科書編輯部）

診療所改名

市内山吹町十番地日本赤十字社滿洲委員本部診療所ではかねて改名協議中のさころ本年一月一日より日本赤十字社大連病院さ改稱するこさに決定

天氣豫報

北西の風晴一時曇

滿洲日報
朝刊夕刊共十二頁
定價　一ヶ月金一圓二十錢
編輯人　鈴木昇
發行人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社滿洲日報社
振替口座大連六〇番

『軍民離間聲明』問題の風雲を孕んで開會

【廿五日】衆議院本會議

質問戰いま酣

【東京二十五日發國通】二十五日の衆議院本會議は午後一時十分振鈴 昨日來の軍民離間問題で緊張裡に同二十八分秋田議長開會を宣し本日の先陣を承つて八角中將登壇

（寫眞は八角三郎氏）

八角三郎君（政友）非常時財政中軍事費に總豫算の四割四分を投じた事は國防安全上感謝に堪へぬ之れで第二補充計畫を十二年迄に完成、ロンドン會議の結果たる兵力量の不足を補ひ國防不安を一掃し得たが當に來るべき軍縮會議に對する根本對策の樹立が必要だが夫れ迄にロンドン條約改廢の意思なきか

八角君更に轉じて國防上航空の重要性を説き支那の航空事業に米國資本の殺到せるを擧げて當局の所信を質し又舌鋒を轉じ軍民離間問題に觸れ

國民と軍隊は一體にして二者ある譯でない、軍隊は國民の師表として團結して居られねばならぬに軍部內の對立の噂の如きは誠に遺憾である

大角海相 國防上の安全觀から軍縮條約又は會議等の根本方針を研究してゐる、隣邦支那の空軍發達に對する我有效適切なる對策は日夜腐心研究してゐる、國防の擧國一致たることは同感だ

・・・・八角君再登壇・・・・ ワシントン條約第十九條に對する外相の所見如何と質す外相登壇質問が判らぬから今一度と述べ議場哄笑 斯くて兩君の應酬あつて二時十分

小川鄉太郎君（民政）登壇（以下次號）

廿四日の衆議院本會議

——（昨報つゞき）

次いで政府の農村に對する意氣込み悄沈せるを指摘し內政會議も要するに理想論の協定に過ぎずとなし農村疲弊の現狀に對し政府の所見を質すところあり、轉じて一般の社會不安に就き言論の自由を主張し流言蜚語を一掃する方策を質し最後に

昨日の床次君の御演説中健全なる政黨政治の必要を力説せられたるは同感であります、現內閣組閣以來一ケ年半その成績を顧みれば擧國一致內閣の形のみでその實これに副はざるの觀ないでもない、政黨は何れも今日の難局に直面しては協力一致し一層力強き政治を實現せしむること緊急事と信ず

廣田外相 政府の執るべき外交方針につき國際關係上逐一説明し得ざるは遺憾であります、而して帝國の對滿洲國方針には變りはない又支那に對しては兩國の關係はよく落着いて考へなければなりませぬ、日露關係に就いても出來るだけ速に國境の防備撤廢にまで進んでゆきたい日米關係を若しも惡化せしむるが如き事態が起つては遺憾でありますから私としても目下米國當局とこの點につき相談してゐる次第であります、又一般的に危機呼はりするのは私も如何かと思ひます、世界の通商貿易に關しては飽くまで共存共榮を旨とし我貿易の發展に常に注意を拂つてゐる

高橋藏相 赤字公債の發行は遺憾ですが政府としては何時迄もつゞける心算はないのです、それには自ら限度があり國民がこれに耐へる範圍に限るべきで政府が公債發行を日銀に引受けしむるのはこの限度を知るためで政府は限度を超えぬ樣注意してゐるのであります、增税計畫ありやに就いては政府はその通りとお答へする、然し十年度なら實行するか否かは言明の限りでない

後藤農相 米穀統制法初年度に大豐作に逢つたが出來るだけ運用に努めてゐる農村負擔輕減方策は關係方面と協議してゐる

齋藤首相 庶政改革に就いては目下準備中である人心不安一掃に就いても治安維持國民生活安定に力を注いでゐる、議會政治尊重はいふ迄もない

とあつさり答辯し

大口喜六君（政友）先づ前議會で衆議院は第一に將來に對する財政計畫を樹立、第二に產業計畫の確立に決議をしたが此の一年政府は果して如何なる實行をなしたか疑問なり

次いで貿易關係に對する明瞭なる政府の説明を求めたる後、米國の平價切下げによる日本の影響と政府のこれに關聯する對策を質し通貨收縮を難じた、代つて

秘密會

安藤正純君（政友）總理は思想對策の中心點を誤解して居る國民は五・一五事件以來軍部がファッショが實現しないかと不安と疑惑を持つて居るから政府は先づ議會政治を基本として變化ないこと並びに一九三六年は國際危機ではあるが日本は平和を念としてこれに處する旨を言明し國民の向ふ所を示せ

と力説し

一、內政會議は何のために開いたかその結論如何、又資本主義を或程度に修正する考へはないか

一、昨年十二月九日軍部から軍民離間の宣傳ありと聲明したが何を捉へてさう言ふか、この聲明に依つて却つて反對の結果を招いたと思ふ、皇軍は自重すべし

と述べ政民兩派盛んに拍手、安藤君更に言論の自由、軍部の秘密主義解放を叫んで降壇

首相 私も議會政治により憲政運用に當つてゐる內政會議は農村根本對策を研究したのだ、言論壓迫等の考へはない、軍民間を離間せんとする諸種の情報を聞いたので聲明したが言論壓迫の意思はない

陸相、海相も同樣簡單に答へ、內相亦言論壓迫はないと答へ、安藤君再登壇

安藤君（政）軍部の聲明は重大であるが總理は事前に相談を受けたか

首相 相談を受けたかどうかお答へしない方がよい

海相 適確の例を擧げて説明したいが國家のため秘密會で述べたい

安藤君自席より秘密會を開いて答辯せよと迫り植原副議長之を安藤君に確めた上議場に諮り四時四十四分秘密會に入る、安藤君の追求から思はぬ秘密會に入つた衆議院本會議は五時十分秘密會を解き秋田議長より秘密會に於ては安藤君の質問に對し總理、陸、海相から夫々答辯あり、關聯して島田、龜井の二君から質問あり政府から答辯あつた旨報告し五時十四分散會

議會の中心 豫算總會に移る

第一陣內田信也氏

けふ午前十時より開く 衆議院豫算總會

【東京特電二十五日發】衆議院は二十六日から豫算總會を開き本會議と並行して質問を行ふこととなつた、豫算總會では政友會の內田信也氏が海軍問題で先陣を切りついで砂田重政氏が農村問題を引提げて追求するに續き太田正孝氏が一般經濟問題、加藤久米四郎氏が滿洲問題、長島隆二氏が外交問題を提ぐることとなつた【東京二十五日發國通】衆議院は愈々二十六日午前十時より豫算總會を開き高橋藏相の説明に續いて質問に入ることゝなつたがこれで議會の中心は愈々豫算總會に移り本會議の大綱的質問に代るに綱目的具體的質問に入り同日の第一陣は政友會の內田信也君が國防質問を提げて立ち次いで第二陣は政友會の砂田重政君が農村問題に關し相當痛烈な質問戰を展開する筈である

英蘭秘密協定成立否認

【東京二十五日發國通】齋藤駐蘭公使より二十四日外務省に達した公電によれば、オランダ政府は去る十八日シカゴトリビユーン紙が蘭領東印度に關し英蘭間に秘密海軍協定が成立した旨を報じてゐるが、右は全然無根なりと公式に聲明した、なほオランダ各紙も同樣打消しを掲載してゐる

滿洲國水先法近く實施

【新京二十五日發國通】滿洲國交通部では水先法を實施することゝなり、同法及び附屬章程の起草審議を急いでゐる

新關稅法案

印度立法議會に提出

【デリー二十四日發國通】印度中央立法議會は二十四日から再開されたが劈頭ボーア商務長官は新關稅法案を提出し委員會を任命して該法案の審議を行ふと共に一週間以內に報告を提出すべきことを要請した

日英綿業協議會

愈々正式會商開催

【ロンドン二十四日發國通】日英綿業協議會は本國から日本代表部へ回訓が到着しないため久しく遷延をつゞけ來たが紡績聯合會その他綿業三團體が愈々綿業代表團に日英綿業協議會に關する權限を附與し近く總會を開いて正式に決定する事となつたとの報道で英國側も大いに安堵し近く正式に交渉の開始をみるものと期待されるに至つた、愈々本國より正式通知に接すれば岡田首席代表は直ぐランカシヤ代表團に通知し、同時にランカシヤ代表の一部がロンドンに乘込み協議會の議事議題を決定し右決定に基き日印兩國代表團がロンドンに於いて正式會商を開始する段取りである、ランシマン商相は二十四日午後二時五十分マンチエスターに出發したが出發に先立ち松山商務參事官から上述の事情を聽取し欣んでマンチエスターに向つた

參謀長會議出席

【ハルビン二十五日發國通】二十六日より新京において開催される關東軍參謀長會議に出席のため當地〇團下の參謀長は本日午前九時三十分發列車で新京へ向つた

帝政に凱歌

共和制の實施は東洋に適せぬ

見よ中華民國の醜狀を……　鄭總理快然語る

【新京特電二十五日發】滿洲國成立するや國務總理の重任につき英邁なる執政を輔佐して建國の大業に携はり努力を續けてゐる老宰相鄭孝胥氏は忠節茲に酬いられ建國僅か二年にして天命は遂に乾德高き執政の上に降り帝政實施の運びとなり一月二十日その聲明を發表したがこの老宰相の明朗な心境を聽くべく在京記者團との會見は二十五日午後二時より國務院會議室で開かれたが記者の質問に對し總理は嚴肅な老顏に包み切れぬ喜びを浮べつゝ語る

問・國體變革後の影響如何

答・先づ私のいひたいのは君主制と民主制との明確な區別である支那の歷史を顧みるにその數千年の歷史は君主制であつた、然るに歐米文化に心醉した青年達は民主制採用を叫んで遂に近代の革命となり清室に於かせられては潔く位を讓られ茲に中華民國が生れたかくて二十年現狀はどうであるか君主制是か民主制非か多言を要せぬ所である、今次我が國の國體變革はこの民國の混亂狀態に鑑み共和政體が遂に東洋に適せざるを見極め君主制を採るに至つたのである、この當然の歸趨である君主制採用について時代に逆行するものであると笑ふ者があるとすればそれは錯覺の夢から醒めぬ者の言である、又かゝる人々は舊道德を遵奉するは近代文明に違背する者だと笑ふであらうが吾々は強ち近代文化を否定する者でない、東亞に嚴存する精神文明に加ふるに物質文明の粹を取り入れんとする者である、現在は一つの岐路に立ち世界の思想は二分されんとしてゐる、而して我が滿洲國の進まんとする途は平和を願ふ王道主義であるこれは人種の別を排除し國境を超越する大きな人類愛の極致である

問・執政の御即位は天意により建國當初既に定まつてゐたもので來る三月一日は單に大典の儀式を擧げるだけといふて好いか

答・それも一つの解釋と思ふが天に口なく人をして言はしめるの義で三月一日登極の大典を擧げられたいとの國民の聲が期せずして起つた即ちこれ天意の現はれと見られる

問・渡日の時期如何

答・決まつてゐない、だが機會を得れば行きたいと思つてゐる

恩赦令

二月上旬に決定されん

【東京二十五日發國通】內閣では皇太子殿下御誕生に依る恩赦令に關し考究してゐるが宮中喪明けの二月上旬決定するものと觀測される、即ち宮中喪明け後御誕生の御祝ひが執り行はせられるのでその機會に實現かと云はれる

大典豫算公布

總計二百八十七萬圓

【新京特電二十五日發】即位大典費に關する追加豫算案は既報の如く去る二十二日開催の第三次國務院會議に上程通過したが同案は二十五日開催の臨時參議府會議の諮詢を經て同日執政の裁可を得公布された、本豫算は執政の御趣旨に從ひ專ら節約を旨として計上されたもので總計二百八十七萬九千九百七十五圓でその內譯は（單位圓）

費目	金額
宮府營繕費	二六〇、〇〇〇
即位大典費	二、六一四、三九五
建國功勞調查費	五、五八〇

であるが即位大典費の內約半額の百十五萬五千圓は賑恤表彰費即ち救濟基金、撫恤、建國軍人殉職者慰藉費、傷兵害卹金、救民費、恩賜慈善救恤、赦犯、敬老、孝子節婦表彰費などの經費に計上されたもので、これをみても如何に三月一日の御即位大典が質素を旨とされてゐるかを物語るもので、この新帝の有難き御趣旨に對しては全國民が感泣してゐる

下院通過

【ワシントン二十四日發國通】一九三四年より三五年に至る海軍豫算案は二十四日表決を用ひず下院本會議を通過直に上院に廻附された、同豫算案の要旨次の如し

總額　二八四、七四七千弗

內譯

海軍經常費の他に六吋備砲巡洋艦三隻の建造費　三三、六一九、三三四弗

水兵二千八百名並に海兵隊員一千名增員費を含む但し現在既に艦齡に達せるもの並に一九三六年ロンドン條約滿期の際艦齡に達する艦艇の代艦建造費を計上せず

豫算案の下院通過に先立ち下院海軍委員會は委員長ビンソン提案の五ケ年建艦案を修正條項として豫算案に追加する計畫を放棄し別個に同案の通過を圖るに決した

北滿ソ聯機關紙

本國より嫌はる

【ハルビン二十五日發國通】蘇聯側は北滿に在る自國民の人心收攬機關として唯一の機關新聞「ノーウオスチ、ウオストク」を發刊してゐるがソ聯本國に送つた同紙はこの程本國より多數發送者に逆送されて來た、理由は同新聞にはソ聯本國の物價より遙かに安價な商品廣告が掲載してあるのみならず紙面がブルジョア化してゐるといふにある

滿洲旗人にも芽ぐむ春遠からじ

……滿洲帝國出現に昂奮

北京にて　風間阜

革命以來、五族協和は唱へられても、協和の實無く、實權は五族聯爭である。漢人の壓迫と搾取に回族も、西藏族も、滿族もみなよろめいた。漢族以外の四族は革命のモットーは單に口頭禪であるに過ぎぬことを知つた。外蒙、西藏は夙くに獨立し新疆その他の回族は漢族に持掠し、內蒙は自治の叫びをあげたが、唯一つ滿族は意氣揚らない。一時四百餘州を席捲して清朝の三百年の國礎が覆へり民國が代るに當つて民國政府は（一）皇室優待條件（二）皇族待遇條件（三）滿蒙回藏各族待遇條件を公布し「大清皇帝辭位の後、歲費を四百萬兩となし貨幣改鑄後、改めて四百萬元となし中華民國より支辨す」「滿蒙王公世襲の秩祿は舊に依らしめ、王公中生計困難の者は法を設けて其生を助く」「八旗の生計を調査し、調査以前は俸輿を舊に依りて支給す」等幾多の條項を定め各國にさへ通知したが、民國當局は其約を履行せぬのみか、清帝の財產を沒收し、軍閥は旗人の財產を沒收、掠奪するといふ有樣で、滿朝沒落後の宗室以下旗人等の生計は民國以來困憊その極に達してゐる。

◇……◇

北平にある宏大なる王府の多くは人手に渡り、主を代へ、辛ふじてその邸宅を保持する者あるも瓦朽ち、檐落ち、屋根にはぺんぺん草の生へるあり、往時の面影さへ失ひ、宗室の人々は四散し細々ながら實業を營み或は手藝に向つた人々も多く數へられる。たゞこゝに憐れをとゞめるのは滿洲旗人及びその後裔である。北平百五十萬の人口中滿洲人はその四分の一強、四十萬を數へてをり、多くは窮迫せる生活を送つてゐる。これ等滿洲人の最高の職業は支那語教師、次はその聲と姿の美しいのによつて俳優—併し滿洲人は俳優を以て善い職業とは思はず、これに從ふを欲しなかつた——次は巡警であつて北平の巡警八千人中六千人は滿洲人で占め、巡警は滿洲人の地盤となつてゐる。北平の巡警が穩順で、幾月の缺餉が續くも何等騷擾を起さぬのは愛鄉心に富んでゐるのと、その家族、親戚が北平にあるからでもある。滿洲人の普通職業は車夫（所謂洋車）である。北平には三萬の人力車があり、晝夜交代で牽く車夫は六萬人と稱せらる、車夫一人は平均三人の家族を支持してゐる。滿洲人の女性は男性よりも更に憐れな生活を送らなければならない。以前は北平の阿媽（女中）は三河縣から來た纏足の女が多つたが、今は天足の滿洲女が多い。北平天橋の歌姫、女優、妓館の女は滿洲女が多く漢人の奴婢に或は妾に賣られ悲慘な人生を味はつた女は數知れない。これ等が、三百餘年前の征服者の直接の後裔である。概して言へば多くの滿洲人は漢民族の中に融けて行つた。滿洲人の大部分は北平及び四郊にあるが嘉慶年間の調査によると滿洲旗人は二十二萬九千三十九人で、家族を加へる時は百萬に達してゐたらう、これが清末までには多くの增殖をしてゐる筈である。

◇……◇

滿洲人は由來、大ざつぱの人種で、彼等はスパルタ人やローマ人の如く性質が軍人である。彼等がまだ滿洲にゐた時分、滿洲旗人はその馴服を自慢し他の滿洲人を侮蔑の眼で見、日本のサムライのように商、工業をもつていやしむべき職業とした。清の統一以前、清に降つた、明の宰相洪承疇は政策の故か復讐の意企からか、滿洲人の農、商業に從事することを禁ずるやう清朝歷代の皇帝に建議し皇帝は之を容れた、で滿洲人はみな旗人となつた。彼等は商業や農業はいやしむべき職業で漢人の爲すべき仕事であり、征服者の爲すべからざる、考ふべからざる仕事なりとした、漢人はこの風潮を利用して滿人の搾取に餘力を遺さなかつた。

◇……◇

滿朝初代に於ては旗人の給與は階級によつて米四十八斗の外、月三兩乃至四兩を與へ、外に土地と家とを給與し、天子の結婚、生出、祝勝記念日等には別に給與を與へ又旗人に男子が生れゝば月二兩を與へ過度の寵愛を示し、康熙帝は旗人の爲に銀行を設け極低利で金を融通した。當時斯る給與は實に今日想像外である。しかも彼等は貧乏した。彼等が三兩の俸給を受取るや隆福寺、土地廟、芝居等に忽ち費した。滿洲人の教育はおこそかにされた、それでも時の滿洲大官に關係あれば、今日南京政府の大官や地方軍閥に因緣のある人々もさうだが、容易に官職を得て高祿を喰むことが出來た。乾隆帝は明君であつたから、清人の救ふべからざるを目擊した時挽救の方法として貧者を滿洲に送還することを決した、併し最初の三千人の一團が吉林に到着した時、荒野に住むを欲せず、北京をしたひ間も無く皇帝の與へた牛馬、家、土地を漢人に賣却して、そつと北京に戻つた。乾隆皇帝は再び移民を送らなかつた。

◇……◇

かゝる境遇に馴致した滿洲人が一旦祿を離るゝや、その困憊は異常であつた。旗人の生活維持に就ては民國の當局に於て一再ならず提案されたが、總ての提案が提案として提議さるゝだけで實行されない民國では、依然これも提案だけに止つたのは亦已むを得ないことである。最近民間から更に之が持あがつた。これは北平にある舊滿洲人である高友唐（監察委員）袁士鑼等四十餘人が、發起して「滿洲生計維持會」を設けることを行政院に提出した、それは

一、滿旗の貧寒者生計維持の方法を講じ以て流離困憊するを防止する

二、滿洲人民の生計は甚だ困難となり、故に青年子弟は教育を受くる機會を失つた、彼等の知識向上の計から中央より各省に向つて各省市立小學一校は學費免除者二十名を收容し、中學及び大學に於ても相當數の滿洲族を收容せしむること

三、滿族は政治の地位を與へられぬ、滿洲民族の政治地位は監察委員高友唐及び最近蒙藏委員會の滿同等數人に過ぎない、故に中央政府は以後、滿人を相當の地位に任用し以て五族國家の本旨に適合せしむること

といふにあつて、これは宣統帝が滿洲國の執政に就き、又滿洲國の建設と飛躍が著るしく、何時となしに滿人の耳に入り、衝動を受けるので、この機會にほんの少しの要求を南京政府に提出し滿人の向上を促した積りであるが、北平の滿洲人でない一部では、最近溥儀執政が帝位に就かれるとの報道がある今日、滿洲人が團體を組織することは社會人士の誤解を招く恐れがあるから暫く延期する方がよいとの主張をなす者があり行惱んでゐる。

◇……◇

滿洲國の帝制實現近きに在りとの報道當地に傳はつてから舊清室貴族や有識滿洲貴人は大なる衝動を受け一部は新京目ざして出發するといふ狀態である。これにつれて滿洲族の歸趨如何が各方面から異常なる注目を惹いてゐる。北平に於てだけでも、今日四十萬人の滿洲人がゐる。彼等は縱令、今日沈滯せる民族であつてもそれが往時の武士階級であり過去の光榮を追懷し、復興の感念が胸底深く燻りつゝあつて、點火せば燃えんとするの彼等の復興運動が注目さるゝ所以である。

家庭

小さな魂を脅かす物凄い入學難
今年は千名を超えるだらう
上級校入學志望者調

過去二年間に滿洲國王道樂土を目指して渡來するものは夥しい數に上つてゐます、小學校を卒業して行く兒童や新入學して來る兒童の數、それに中等學校の入學難は如實にそれらを物語つてゐませう、自然これら制限された兒童の入學難を緩和するために起つたものが中等程度の工業學校、第三中學設立運動となり愛兒を持つ保護者たちの一纏の望みはこの問題の解決にかけられて來ましたが、これもそれにしても今年大連市內各小學校を卒業し、男、女各中等學校を希望する兒童數は一體どの位でせう大連一、二中收容人員約五百名、大連商業約二百名、神明、彌生、羽衣の三校で約六百名となつてゐますが市內各小學校兒童の上級學校志望者は次の樣なレコードになつてゐます、もちろん新學期を控へ望みが失せ、市立中學設立問題だけが現在殘されてゐるのですがそれにしても州外內地其他から渡滿する者が相當の數に上る見込で入學競爭率はもつと困難になりませう

上級學校入學志望者調

校名	中學	商業	實業	育成	早苗	其他	全在籍者	高女	女商	技藝	聖德	其他	全在籍者
伏見臺	七一	一七	一	—	九	九	一〇七	七六	一五	八	八	三	一三一
朝日	七六	三五	一	—	四	六	一三四	九三	六	一	—	—	一〇〇
日本橋	四三	一九	二	—	三	一	九六	五三	二	二	九	一	八〇
常盤	四九	四六	—	—	九	四	一二八	四七	三三	三	五	八	九六
大廣場	七〇	三九	一	—	二	二	一二四	七六	四	四	一五		九二
春日	四三	二二	四	一	三	—	八一	三五	八	八	八	六	六五
松林	三三	三三	九	—	六	九	五九	三〇	三	六	八	一	五七
嶺前	六八	二二	四	—	—	四	九七	五二	二	五	七	四	七九
大正	四五	三三	二	—	三三	一	九四	三三	八	二	二	六	六〇
南山麓	五三	三三	九	—	六	—	九一	七四	一八	四	三	一	一〇〇
沙河口	二四	一二	—	—	一七	一	五三	三六	二	六	二	四	五九
聖德	四七	二八	三	—	四	一	八三	高等一〇〇 三二	三	—	一〇	—	七五
早苗	一九六	一三九	—	一四二	三四六	三八二	一二〇四						
下藤	四三	二一	三	—	八	—	六五	二七	六	二	四	—	八九
霞	二八	一〇	一	—	一八	—	五七	二〇	一七	五	一七	—	五九
光明臺	ナシ												
合計	八七〇	四五六	四〇	一	一五九	四八八	一三三九	八六〇	一三三	七五	一〇三	三九	一二三〇

“みどりなす”黒髪の魅力
その美を保つには

みどりなす黒髮、丈なすその黒髮こそは昔から日本女性の誇りでした。洋髮がはいり日本の女もアイロンや逆毛を使ふやうになつてから、この丈なす黒髮がだん〳〵赤つ茶けた短い汚らしい髮になつて行くのは惜しんでもあまりあることです。優美な日本のきものが讃へらるゝ限り豐かな黒髮は永久にその魅力を保つでせう。失はれ行く黒髮の美を保つために遼東ホテル美容院主磯口逸子さんの注意をきゝませう。

黒髮の美しさは日本髮に遺憾なく發揮されますが、洋髮にしてもわざ〳〵黒い豐な毛を西洋人のやうに赤くすることはない

日本人特有の黒髮で恰好よく結ひ上げてこそ西洋人に眞似の出來ぬ美しい洋髮も出來ませう。生れつき黒い豐な髮ですからこれを素直に美しく育てるのがほんたうだと思ひます。髮を美しくするには日本髮に結ふのが一番です。若い時から日本髮に結ひつゞけて來た方たちのあのつやつやさ艶のない髮をごらんなさい、と申して今日の若い方だちに皆日本髮をおすゝめすることは不可能ですから、洋髮になすつても、アイロンや逆毛をお使ひになつてもなるべく大切なおぐしをいためないやうになさつて頂き度いのです。一番いけないのは強いアイロンをお使ひになることで新聞紙を挾んで見て焦げない程度の

アイロンをお使ひになればひどい害はありません。それにしても毎日毎日同じ所に同じやうなウエーヴをお作りになると、どうしてもウエーヴのところから切れ易くなりますから十日に一度はウエーヴを少しづゝ變へて新鮮味をお出しになつたがよいでせう逆毛も拔ひ方が惡いと毛を目茶々々にします。立てる時には毛に眞直に根元から順に毛先の方へと氣長に少しづつ立て、梳く時はブラシを使つて反對に毛先の方から根元へと少しづつ梳いていらつしやれば、毛のからまるやうなことはありません。アイロンをお使ひになる洋髮でしたら

油をつけては思ふやうにウエーヴが出來ませんが、結上げてからクルミオイルのやうな輕い艷出しを上から少しおしつけになると見違へるやうに艷々しくなります。でも毛髮のためにもよいのです。もこの艷出し液だけでは榮養が不足しますから月に一度位はアイロンをやめて日本髮に結ふとか、水油をたつぷりと地に擦り込んでウエーヴ無しの輕い束髮にでも結つて毛髮をいたはつてやらないと、だんだん赤い汚い毛になつて拔毛や切毛がひどく、頭の地も痛みふけが澤山出來たり逆上せたりします。美しい黒髮を保つためには洗髮も亦大切です、油氣のないおぐしでしたら洗髮の前に

良質の椿油を頭の地によく擦り込んで出來るなら一晩位そのまゝ置き、翌日おぐしをお洗ひになりますと油氣は去つてもつや〳〵と見違へるやうな美しいおぐしになります。

公設市場の面白くない風評
容赦なく注意することです

年末から公設市場に就ていろ〳〵と面白くない風評（その主なものは滿洲人の店員が日本の婦人に面白からぬ言葉や行爲をするといふやうな）があつて取締に當る私共としては大變頭をなやましました

年末の混雜時には特に取締りを嚴重にし其後もずつと此方面に注意を拂つてゐますが、そのせゐか其後は全くこんないやな風評が一掃されたやうで大變よろこんでゐます。何しろ教養もない品性の低級な店員が多いのですからどうかするとこんな面白くないことが起りますが、こんな際には容赦なくどんな些細なことでもかまひませんから市役所の産業課（電話二二九二番、二二七二四番）或は市場事務所（電話四七六三番）へ御電話下さるか備へ付けの申告箱へ御投入下すつて御遠慮なく御注意を頂きたいと思ひます。もつとも一部の

婦人には寧ろ自ら進んでくやうな方も全く無いとは申せませんが、かういふ恥知らずな一部の人の爲に他の多數の婦人方が迷惑されるのは許しておけません。市民全體の利便のために設けた公設市場を皆樣に氣持よく利用して頂きたいと思ふのです。市場の品物が新鮮で豐富であることは誰方にも認めて頂いてゐますが、値段も標準相場（最高値段）が掲示してありますから行商人などからお求めになるよりずつと安心です。計量器も方々に備へつけてありますからこれも是非利用して頂きたいのですが、これはほとんど

利用なさる方を見受けないやうで殘念です。又時々産業課から係員が出張して皆樣のお買ひになつた品物を其場でお値段なり量目なり桝目などをおはかりして誤つてゐるのがあれば、こんな御面倒をおかけせて頂くことがございますが、これも御面倒とは存じますが御きゝ入れ頂いたら奸商を除くことにもなり、お互の利益だと思ひます。お家にゐて御用聞で萬事お濟ませになれば簡單は簡單でございますが新鮮なものを廉くお求めになるわけにはまゐりません。たとひ十錢の電車賃を奮發しても市場までおいでになれば豐富な中から最も新しくて良い品を最も經濟的に御選擇になれます

板場に就てのあたまも出來、物の良否の鑑識眼も養はれ、又外に出て新しい空氣にお觸れになることも大變有益だらうと思ひます。皆樣の爲の市場ですからせい〳〵可愛がつて惡い點があればドシ〳〵御注意御叱正を願ひたいのです（大連市產業課長丸山郁之助氏談）

家庭顧問

近視の度が進んで困る

【問】 僕は十六歳の中學生です、尋常五年生頃から近視になり中學一年から眼鏡を用ひましたがその後次第に度が進み昨年の二月眼鏡をかへました、ところがその眼鏡（二十度）が又合はなくなつて黒板の字が見えず、爲に學校の成績にさへ影響するのです、僕は學校にゐる時だけかけて家では外してゐます、僕の父母も兄弟も一人も近視はゐません、こんなに度が進むやうでは將來どんなにひどくなる事だらうと心配でなりません、これ以上度が進まないでよくなるやうな方法はないでせうか（近視の少年）

何よりも體力を充實させること

【答】 進行性の近視は普通遺傳が多いのです、御兩親が近視でなくてもそのお父さんかお母さんにあつたかも知れません、でなければ十歳頃までに何かの病氣で身體が弱つてゐた頃睡眠や運動や勉強が平均がとれないで眼ばかりつかつてゐたためかも知れません、先づ何よりも體力を充實させること、榮養を充分にとり非衞生的な生活を避け適當の運動によつて身體を鍛錬することが大切です、暗い部屋や朝夕のうすぐらい時に勉強をしたり、くびを壓迫するやうな不正な姿勢で讀書したりするとどん〳〵度が進みます、眼鏡は〇・八以上の視力の出るだけの眼鏡が必要で、眼鏡を強いのと弱いのと二種用意し近くを見る時は弱い方を、外出時には強い方をつかつた方がよろしい、眼鏡については一度專門醫について選定して貰つた方が安全です、なほ時々郊外へでも行つてなるべく遠いところを見るやうにすれば段々よくなりませう（三根辰一）

毛糸物 洗濯法
方法が惡いと縮みます

◇…坊ちやん孃ちやん方の召していらつしやるフックラとあたゝかさうな毛糸編のジャケツやドレスもお洗濯の方法が惡いと一ぺんにゴワゴワになつたり、伸び縮みして着られないやうになります。色のおちやすいのは豫め水一升にタンニン酸茶匙二杯及醋酸一杯をよくといた中に五六分間浸して色留をします。

◇…洗濯は最初に數回水を換へ振りすゝいで上よごれを落してからマルセル石鹸かラックスのやうなアルカリ性の弱い石鹸液（微溫）に浸し萬遍なくつかみ洗ひをします、この時熱い液に入れたり洗濯板でゴシゴシやつたり強くもんだりしますと毛糸の外側のやはらかい毛がからんでしまつてフエルトの樣にカチ〳〵になつてしまひます。よごれがおちたら微溫湯で數回振り洗ひをし冷水で石鹸分の拔けるまでよく濯ぎ、最後濯のぎ水に幾分すつぱい位に醋酸をまぜてその中に五六分浸します、かうすると色澤が元の通りに鮮かになり蟲害を防ぎます。

◇…酸通しがすみましたらザッとつかみ絞りにし平な板にのせて型を整へ板を斜に立かけて水をよく切ります。七分かわきになるまでその儘陰干にしたらあとは竿にかけても型のくづれるやうなことはありません。すつかり乾いたところで濡れたタオルを上に當てアイロンで仕上げます（須藤洋行主須藤てる子さん談）

日本棋院 秋季 大手合戰譜（第十局）

先 三段 加藤三七一
初段 竹中幸太郎

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

【9】

●一六一チ十三 ○一六二チ十三
●一六三チ十四 ○一六四ト十四
●一六五ヌ　九 ○一六六ル　九
●一六七ト十三 ○一六八ホ　八
●一六九ホ　五 ○一七〇ト十四
●一七一ル　八 ○一七二チ　九
●一七三ト十三 ○一七四リ十五
●一七五リ十四 ○一七六ト十四
●一七七ワ　九 ○一七八ワ　十
●一七九ト十三 ○一八〇チ　四

百八十手完（白中押勝）
●一六七劫とる●一六九ツグ○一七〇劫とる●一七三同○一七六同●一七九同

所要時間累計（白 五時十分 黑 四時二十五分）
（制限時間各七時間）

對局者のことば

黑 白百八十とコスミツケられることになつては劫爭は別として も足りない棋です、どうも百三十九以下ひどい眼にあはされました

戰の跡

本局を通觀するに、布石時代は黑有利であり、中盤に至つてももちろん先著の效果を失はず、なほ優勢を失はなかつたが、八十七、八十九のあたりから漸く歩調がみだれ、つゞいて百三の緩著あるに及んで俄に白の乘ずる所となり、白百二十八に至り大勢は決したものとされやう、白としては寧ろ勝つて意外の感があつたかも知れない

ラヂオ

大連 JQAK　一月二十六日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二
▲午前七時　ラヂオ體操第一
各地溫度通報
▲午前十一時　相場（錢鈔、特產株式、各地相場、公設市場値段）
▲正午　時報
▲午後零時五分　相場（錢鈔、特產、株式、各地相場）ニュース
▲午後三時三十分　相場（錢鈔、特產、株式、各地相場）ニュース
▲午後三時五十五分（獨逸伯林より）日獨國際放送國內アナウンス管絃樂ドイツ交響樂團、指揮ジークムント・フォン・ハウゼッガー、交響曲第九番、ニ短調ベートーヴエン作曲、第一樂章アレグロ・マ・ノン・トロッポ・ウン・ポコ・マエストーソ、第二樂章スケルツオ（モルト・ヴイヴアーチエ）第三樂章アダヂオ・モルト・エ・カンタビレ及びアンダンテ・モデラート、第四樂章終曲（獨唱、重唱及び合唱付）國內アナウンス
▲午後六時　ニュース、職業紹介（東京より）趣味講座の夕（世界の謎）
▲午後六時三十分　趣味講演「小人國の謎」內田寛一
▲午後七時　同「ボルネオの獵奇行」小倉清太郎
▲午後七時三十分　同「神秘境チベット及び蒙古」河口慧海
▲午後八時（東京より）連續講談「快男子」（第二席）大島伯鶴
▲午後八時卅分　時報（東京より）
▲午後八時卅一分　趣　講座「俚謠行脚」（第三夜）西卷冬雨莊
▲ニュース▲氣象通報

本社特選 新棋戰（其七）

香落
七段 △宮松關三郎
五段 ▲塚田正夫

【圖は四三金右迄の局面】
宮松氏持駒銀歩歩歩

	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
	香	桂				金		桂	香	一
		飛			王			角		二
				歩	金	歩	銀	歩		三
	歩		歩	銀						四
					歩		歩			五
	歩	歩	金	歩		飛		歩		六
	歩	歩	歩	銀				歩		七
								角	玉	八
		桂				金		桂	香	九

塚田氏持駒

△五九角　▲七八歩
△三八飛　▲七九歩成
△七七桂　▲九六歩
△二六角　▲四四歩
△六五歩　▲七八と
△同　飛　▲九七歩成
△八五桂　累計九十一手

土居八段講評 宮松君の三八飛以下桂を保護したのは、勢ひ敵飛車に働かゝる、順が生ずるから拙策、二六銀打、四四金、三五歩、四三銀、一三歩成、同香、一四歩、同香、一五歩と打つて香車を手に入れ、而して後に一、二兩筋より攻めを圖れば自然優勢の局形となるに相違ない、續いて七八同飛の處は、直に八五桂と指す方が敵に攻められる憂がない。

萩原七段解說 塚田氏の七八歩は稍々陣容を立て直したとはいへ、有力なる角を遊ばされた爲に攻擊に出で難く、と言つて持久戰に入つては益々不利である故に七八歩と打つたのである、續いて九六歩は、同歩なら九二飛と廻り、飛車の活用と局面の轉換を圖る意味である。宮松氏の二六角、六五歩は愈々攻勢に出で敵飛の十分に働かない內に持駒を利用して一擧に攻め倒さんとするものである、塚田氏の七八とは、敵飛を呼び寄せ次に九七歩と成つて八七と寄りを含んで居り、宮松氏の同飛は、敵飛に十分活用される順を與へて面白くなかつた。

帝制近き滿洲國に移住露人續出

親戚や知己を秘かに誘つて赤系露人まで入滿

【吉林】來吉一白系露人の談に依れば滿洲國の治安回復に伴ひ赤系露人の入滿希望者續出し現在北鐵從業員（赤系）中殆ど全部國內の惡政を痛感し表面上司の命に從つて居るが內心に於ては共產制度より離脫し滿洲國の王道樂土下に永住せんとしてなりその他親戚知人に現情を內通し之を同伴入滿する者續々として激增して居る、なほ二十日に於ける滿洲國新國是發表後に於ては其の氣分益々橫溢し入滿者には國幣三百圓乃至四百圓を提供して秘に知己親戚を呼寄せて居る模樣で之が爲に從事員中には自己の鄉里に何か事由を作り休暇を利用して歸鄉歸來するに際して必ず二三名の者を同伴し入滿して居る模樣で逐日激增して居る現況にある

待望の帝制

吉林住民の喜び

希望に輝く省內全土

【吉林】溥儀執政皇帝推戴運動は全滿各地の三千萬民衆の總意により遂に來る三月一日を以て卽位の段取りに決定したが吉林における帝政運動卽ち執政を皇帝に仰がんとする帝政請願書は各團體を通じて合計六十通の多きに達し帝政を願望する在吉滿人の如何に熱烈なるかを物語つてゐる、かくてこの民衆の要望容れられて滿洲國の新國是重大發表は二十日午後四時を以て遂に公表された、均しく國民擧つて待望したる帝政は實現に決定した吉林在住滿人間には恰も陽春を迎へたるが如く希望に燃え喜びに溢れて居る、一般人は三千萬民衆の要望に依り順天安民卽ち天命に依りて實現されたるもので我々の等しく待望したる結晶なりと至極平和境で皇道の榮えあらん事を願つて居る

京圖沿線の特產出廻り激增

今後益々增加せん

【吉林】京圖沿線に於ける本年の特產出廻り狀況は昨年に比し等しく激增し居るが昨年の最盛期樺皮廠大豆四〇、二三〇瓲、孤店子七二、四五〇、吉林四五、二四〇、蛟河一六、九二〇、敦化二四、六九〇瓲に對する本年の出廻りは敦化八〇〇車、蛟河四〇〇車、新站二五〇車、煙筒山四〇〇車、磐石九七六二車、小城子三〇〇車、水曲柳三〇〇車、山河屯六〇〇車、五常七〇〇車、拉林五〇〇車

以上の如くにして之は京圖拉濱線の開通に依り經濟的に交通上から發展の動向を呈せる所にして右京圖拉濱兩線の開通は今後特產並に一般經濟上において異常な發達を豫想せられるもので殊に拉濱沿線の如きは將來經濟的に豫想以上の發展を示すものと見られてゐる

なほ本年開通後における運賃の比率は一車に付き吉林新京間一二四圓二十錢、新京大連間四一二、二〇錢、これは大連向けにて北鮮向けは吉林拉法八六、四〇錢、拉法敦化一二二、〇〇錢、敦化圖們一八〇、〇〇錢、圖們雄基一四二、五〇錢にして大連向けは一瓲に付き二錢五厘北鮮向けは三錢三厘の比格率を示して居る、之は吉林及び京圖沿線に未だ特產商としての確固な邦人が進出して居ない爲に其の間の圓滑が取れず多少特產商人があつても小資本者なるが爲に萬事の交渉に對して不便な點が多いためで今後漸次大資本家の進出に依つて開拓せられて行くものと見られて居る

目下吉林の國際運輸支店では滿鐵建設事務所に對し混保施設方を出願中で京圖拉濱兩沿線に於ける將來の特產出廻は實に吉林吉海方面を壓倒して活氣づくものと期待されて居る

熱河の征服者

トラック隊朝陽へ

【奉天】朝陽から承德まで七十里其間四間と六間の立派なバラス道路が完成し旅大のペーブメントを疾走するよりは愉快だ——その話、この熱河は今や國道路の建設が着々進行し承德から灤平、國境は勿論のこと、赤峰、林西間も交通路が開け奉山路局のバスが本線を往復してゐるが、このほど阜站屯から三十餘臺のトラックが朝陽に送られた、今後の熱河交通網を十二分に征服するものはこのトラックで日常の物資は大部分トラックで運搬されてゐる、神速の足をもつてゐるトラックも目的地に到着するまでは汽車の厄介にならねばならぬ（寫眞は其のトラック）

コロンバイルの實狀を踏查

布利秋氏更に三河へ

【海拉爾】呼倫貝爾の認識、今や治安成つた今日呼倫貝爾への主題は一に茲に在るのだがそれかあらぬか昨夏以來これが調查と視察のため來呼する者、學徒といはず爲政家といはず利權屋に至る迄相次ぎ各々海拉爾又は滿洲里に陣取つて呼倫貝爾を究めてゐたが、多くは座敷調查で兩市の調查表を基調に各自各相の呼倫貝爾史を作り探檢家といつても凡そ又これ等の輪で一かどの探檢家を氣取つた程のものだつたが、去る十六日突如來海した布利秋氏は全く探檢家の本領を發揮して零下三十五、六度の極寒も何のその、各種統計の調查は勿論附近一帶の實蹟調查は地圖の收め綿密な調查を續けてゐるが二十日勇躍三河地方へ向つた、將來唯一の農業移民地なりと聞かされた同氏は茲に豫定を變更して三河へ出發したのだが同氏は曩に滿洲里よりタライノールの湖上を縱斷し外蒙近く自動車を驅つて甘珠爾廟に出で全蒙古人の生活を支配してゐるラマ教の本據を衝き乾隆帝の眞筆の額が揭げてある壽寧寺にラマ教の實際を探り、遠く狼の群を車窓に眺めて零下四十五度の曠野を馳驅して來海したものだが、北滿の旅行は不自由してこそ意義ありとして創設期の海拉爾西本願寺の狹屋に宿泊して活動してゐる歸海後は一路チチハルに向ひ更に黑龍江の秘境を探つて內地人の北滿認識に對する一轉機を與へんものと雄心勃々たるものがあるが同氏の壯擧によつて成る北滿紹介はその綿密の踏查より徹して反響多きものがあらう【寫眞は海拉爾郊外南屯ラマ寺に於ける布氏】

技術員の不足に惱む大豆の檢查

總局、滿鐵に增員要求

【奉天】鐵路總局では大豆、豆粕の檢查規程を實施、產業の開發、荷主の便宜のために非常な努力を拂ひつゝあるが大豆及豆粕の檢查は純技術的な問題であるため滿鐵の檢查員派遣も全國線に亘つて充分な人數を得られず目下其の補充方を考究中であるが、滿鐵における檢查技術員は現在七十餘名しかなくその約半數が國線各驛に派遣されて居る狀態であるが新線の開通やいよいよ本格的となつた大豆出廻り等に檢查員の大多忙を來し出廻り主要驛數ケ所を一人でかけ持ちするといつた狀態で平均一人一日廿六車の檢查能力を以てしては到底荷主の檢查要求に卽座に應ずる事が出來ない處があり斯くして一日でもその發送の遲れることは荷主に多大の影響を及ぼし延いては產業開發にも影響する處があるので、總局では至急滿鐵々道部に交渉派遣員の增員を要求することゝなつた

大黑河に邦人民會

【チチハル】アムールを隔てゝ蘇聯ブラゴエスチエンスクと對峙する滿洲國北の關門大黑河を指して押寄せた邦人は今や二百を超ゆるに至つたので居留民會を設くる事となりチチハル領事館の認可を經て去る十四日之が發會式を兼ねて評議員選擧を施行、得點を纏めて內田領事のもとに送附して來たが左の諸氏が得點順により認可される筈

九五票　松坂政孝（警察隊）
六七票　奧田道夫（醫師）
六二票　熊澤定一郎（旅館業）
六一票　寺崎嶽司（指導官）
六〇票　木下千一（國際）
五四票　市川猛（滿鐵）
五二票　牛田功（警察隊）
四一票　廣田繁一（旅館業）

チチハル鄉軍

【チチハル】在鄉軍人會チチハル分會にては十九日午後四時より滿鐵事務所において評議員會を開催し役員改選の結果左の通當選した

分會長鈴木兵一郎、副會長石川祥一、同佐藤龜人、常任理事松尾量藏、同監事勝谷史郞、理事長谷川淸、監事山本一行

就職難ものかは卒業生大半賣切

吉林同文商業の好成績

【吉林】事變以來頓に其の存在と實質的價値を認識され學業順調に益々實力向上に努めつゝ有る吉林同文商業學校は現在相當多數の卒業生を送り何れも卒業前より就職先が決定し不況何ものぞとばかり賣行き甚だ好成績を示して居るが本年の卒業生二十四名も既に大半就職決定し申込者は一日も早く申込む樣にと希望して居る、右學校は事變前より殊に事變以來商業的に又日語にも熟達し實社會に用ひられて居る

新站の全貌

一躍交通上の樞要地

（上）吉林支局　築山乙次郎

【吉林】新站は北緯四十三度六分東經廿七度の地點に位し東に張廣才嶺、西に太平、老爺の二嶺あり北は呼蘭山脈を以つて圍まれ松花江の支流たる拉法河、報馬河の合流地點にある貧地にして南は拉法を經て敦化に接續し將來京圖線と拉濱線の分岐點として國內鐵道並に軍事上の要衝にある要地である

×　×

今より約二百年前大洪水の爲め縣內杉松地方の部落流失の際、同地方より五六戶の農民が移住したのに始まり其後漸次戶口を增加したが大正十三四年頃に於いては支那人百餘戶鮮人十數戶に過ぎざる一寒村であつたが、それが昭和二年吉敦線開通してから大豆並に木材の小集散地として冬期稍殷盛を見るに至り昭和五年末には戶數二百二十餘戶、鮮支人雜居の小都市を形成するに至り、滿洲事變の勃發するや馬匪賊の慘害を受け一時疲弊其の極に達したが昭和七年十月拉濱線鐵道工事の開始と共に俄然發展の氣運に惠まれ、昭和八年五月あらゆる建築工事着工せらるゝや邦人の來住するもの日と共に激增し同年十二月十六日拉濱線の開通に依り一躍軍事上及び鐵道要衝地となつた何新站市街に於ける十二月現在人左の如し

日本人戶數五二人口二九四人、鮮人戶數一〇七人口五〇三人、滿人戶數五六〇、人口三、〇二六人、外人（露人）戶數二人口二人、合計七二一戶、三千八百二十五名（露人は白系にして鐵道工事從業者）

×　×

新站は昭和二年春吉敦線拉法驛開設以來一般に拉法新站と稱せられ爾來拉法驛を中心とする蘭門子舊站（拉法驛南方）に對する拉法北部の一村落名に過ぎなかつたが昭和八年二月當地に拉濱線新站驛開設せらるゝや拉法より獨立して新站として知らるゝに至つたものである

×　×

昭和七年四月新站附近の警備に任じてゐたが滿洲國軍警田長部隊の背反に依り當地住民は一時吉林方面及鐵道沿線に避難したが同年五月拉濱線鐵道工事開始に當り漸次避難民の歸住及他地方よりの來住者を見るにいたつた、しかし市街を圍繞せる山岳は馬匪賊の潛入場所となり屢々新站襲擊の噂傳へられ辛うじて一時其の難を免れたが同年六月以降高粱繁茂期に際し再び匪賊襲來の氣運再燃し、同年六月及び八月には新站東方部落舊站並西方部落太姑家子（新站より三支里）には匪頭中俠の率ゐる七十餘名同太平の部下二百餘名襲來し民家十九戶を燒却、多數の死傷者を出した、その後數次に亘る皇軍並に滿洲國軍の討伐に依り附近一帶の匪賊は潰滅或は歸順しその後新站附近は賊影を認めず目下極めて平穩である（つゞく）

反日滿聯合軍結成

敦化延吉地方の匪團

頭目會議で協議決定

【新京】確實な筋よりの情報によれば敦化、延吉縣方面に蟠居する兵匪團頭目六名は去る一月初旬敦化縣黃泥河子に集合し頭目會議を開催したが同會議においては

一、敦化、延吉兩縣下に蟠居中の救國軍及馬匪賊團は爾後大同團結し日滿軍憲に對抗するため反日滿聯合軍を編成する

二、結氷期間の日滿兩軍の討匪工作に備へるため步哨の增設聯絡を密にする

三、越冬、食糧問題については材木伐採業者一人宛に麥粉三袋、豆油十斤、食鹽四斤、精麥三斗玉蜀黍五斗の提供方を要求すること

等を協議した外、該反日滿聯合軍總司令には匪首青山を推薦すること滿場一致で可決した、なほ右兩縣下の匪團現狀は左の如し

頭目名	根據地	匪數
青山	敦化縣黃泥河子	八〇〇
新軍好	延吉縣崇札鄉屯	二〇〇
穿山	延吉縣崇札鄉屯	五〇
孔明山	敦化縣四道河子	一二〇
老來好	延吉縣崇札鄉屯	五〇
姚振山	敦化沙河掌	三〇〇

上海家裡教首領來滿

【新京】上海家裡教第二十一代首領曾妨璀氏（六〇）は大連經由で最近來京したが、彼の渡滿目的は上海家裡と在滿家裡との聯絡を計るためで現在上海の家裡教は中央第十九路軍の壓迫によつて苦境に陷りこの强壓に對抗するには將來滿洲國內の家裡と連絡提携を計り精神的對抗を行ふより外道がないと言つてゐるが、既に奉天に於ては家裡有力者間の遊說に奔走した模樣で更にハルビン、チチハル方面にも赴く豫定であると

てあらゆる點に條件を具備し需要者に對しての希望通り實力相應しての前途には益々多くの期待がかけられて居る、近く昭和九年度の新入學者を募集する模樣で人員四十名、年齡十四歲以上十八歲以下の高等小學二年卒業程度を以て來る二月一日より二月末日迄募集し試驗は三月四、五の兩日學科は國文算術、口試身體檢查等にて既に其の諸準備を急いで居る

吉林市政公署

文化的施設

【吉林】吉林市區擴張案に關しては昨年來より吉林市政籌備處に於て銳意諸準備を進め籌備處も市政公署と改名して近く市政公署移轉さへ決定し國道の開通に伴つて市街計畫並に公園其の他文化都市としての具備必要な準備は既に着々進められて居る模樣であるが本年は國慶を間近に控へ首都新京に隣接せる吉林として設備萬端至れり盡せりの方法を以て土地柄首都の遊園地として將來內地の京都に彷彿る樣計畫もある模樣で該市政公署の着手せんとする市區擴張並に市街計畫は均しく省城民に期待をかけられて居る

開魯附近物價

【奉天】鄭家屯地方事務所調查によれば開魯縣城內は他地域の地價と同じく事變前後を通じ略同一地價を維持してゐる

正號卽ち東西大通に面する市街地一號地は六畝に付上等五〇〇〇元、中等四〇〇〇元、下等二〇〇〇元にて副號卽ち東西大通以外市街地一號地は五畝に付上等二〇〇〇元、中等一〇〇〇元下等四〇〇元にして正副號共一號地の地價一〇〇〇元以上のものは家屋を包含する價格で一號地四〇〇元の市街地は家屋を含まない價格である

又開魯縣農耕地價は一頃百畝に付開魯城外附近上等地四〇〇元、中等地三〇〇元、下等地一〇〇元、城外三十支里附近は上等地二〇〇元、中等地一〇〇元、下等地五〇元、城外遠隔地は一般に五〇元見當であると

金州戶外デー

【金州】二十一日の戶外デーは寒さは相當ひどかつたが折柄の好天氣であつたので豫想外の人出で定刻前既に南山登りに變電所と城內東門外の參加票交付所に押掛けたる老若男女約八百餘名準備せし七百の參加票不足となり補充せねばならぬ騷ぎで滿電バス前の撫順所や民政署前の景品引替所は押すな押すなの大混雜であつた、定刻正午迄には總ての行事が無事終了し日曜祭日外に出ぬ老幼婦人等も寒空にも拘らず外出而も南山迄登らしめた事だけでも大成功であつた參加人員八百餘名

一等賞白米一俵の幸運者は民政署員橫山氏の息七歲が當籤した

毛はえ薬
フミナイン
博士創製の毛生え薬
發賣元 東京藥院

眼科専門
王仁医院
大連市西通（常盤橋西広場中間）
電話二五七六番

造花
花環
徽章
装飾材料
ばらや
大連近江町西広場角・電三九一〇

質
確実保管・勉強出来
信用第一
博多屋本店質部
電四四五三番

按摩
電話ロ21670

質屋の活躍
簡便なる金融機関
勉強出来
保管確実
秘密厳守
若狭屋質店
電話六八三四番

雪の曠野を驀進し 晴れの新京入り
南北を一直線に車輪の壯途 輝く工大自動車隊

【新京特電二十五日發】旅順工大航空研究會の自動車隊（六臺）は二十五日午前十一時半頃南新京驛に到着した、これより先同隊歡迎のため是安特務部囑託芳賀新京鐵道事務所長その他日滿官民有志多數が五臺の自動車で午前十一時滿電前を

出發 南新京驛に赴いた零下三〇度の皚々たる雪の曠野に一行の勇姿は大きいエンヂンの音を高らかに驀進して來た、

國產千代田の前面に飾られた花輪を各自動車に立てられた工大の校旗も日の丸も南滿の旅順から北滿の新京まで一氣に飛ばして來たかと歡迎の人たちは非常な感激である

教官小松、小林、鈴木、新津、茂木、助手田淵、學生隊長添島諸氏を初め學生一行何れもはち切れる元氣で出迎への人達と交驩した後特務部自動車先導

案内 の下に行進、先づ國道局に至り直木國道局長發聲で自動車隊の萬歲を三唱して同局準備の午餐會に臨んだ、午後は日滿各方面を歷訪挨拶した、なほ一行の新京滯在は二十六日、二十七日の兩日で二十六日午後十一時新京發歸旅の途につく筈

なほ滯在中の一行の行動は菱刈關東軍司令官訪問、鄭國務總理丁交通部總長その他日滿要人を訪問挨拶する外二十五日夜は鄭總理、二十六日正午は丁交通部總長の歡迎宴に臨むことゝなつてゐる

名と遭遇これを盤平縣方面に潰走せしめ南下した兩部隊は東西より接迫し二十四日夜來軸鞍東方大洋河を中心として約五百の匪團を包圍二十五日早朝より一齊攻擊を開始した

交通網の整備が 招く日滿融和
副島學生隊長の談

【新京特電二十五日發】旅京間自動車走行試驗の旅順工大學生隊長副島氏はその壯擧の大成功に當り感激して大要左の如く語る

酷寒と惡路には尠からず苦勞はあつたが實に意義ある旅行であつた、途中御社の方には特にお世話になりまたその都度お話もいたしましたが沿道の日滿各方面の御

好意 が非常に篤く吾々の二大眼目であつた日滿親善の助長國產自動車の耐寒試驗は完全に大成功裡に遂行出來た、特に滿洲國側が縣公署を始め全官民が積極的に好意を寄せまた酷寒嚴冬に拘らず全沿道に亘り警備を一行のためにしていただいたことは衷心感謝の外なかつた、吾々のこの旅行からみて今後國內の交通が整備すれば日滿の融和はいふまでもなく兩國民の幸福はより多く

招來 し東洋平和の確立に貢獻する事が如何に大なるかを信じて疑はない、通過して來た道路は殆んど放任されてゐるので所々切れ目があつたり馬車の轍の跡が深くなつたところがあつたりして豫想外の苦難をなめた

が自動車はその惡路にも適するやうに特別の工風をなす前に先づ道路の改修をするの必要を痛感した、奉天以北はその以南よりも比較的に整理されてゐるが

今後 の全滿的交通機關の發達からすれば少くとも自動車路と馬車路とは區別せねばならないものだと思つた、滿洲の產業開發が今後この自動車交通機關の發達に俟たねばならない關係上、この道路問題は更に重大性を帶びることであらうと思はれる、自動車燃料としては撫順製のガソリンを使用したが外國品に比較して何等遜色のないことを發見した、最後に吾々今回の計畫が將來全國學生航空聯盟が滿蒙の地を

縱橫 に活躍する時代の實現されるための一助ともなれば非常に結構である、終りに色々と日滿兩方面の御後援に對し深く感謝いたします

三角地帶の 匪賊また蠢動
廿三日から討伐開始

【奉天特電二十五日發】日滿兩軍の分散配置と引續く大討伐に一時殆ど影をひそめてゐた三角地帶の匪賊團は結氷期とゝもに警備の手薄に乘じ最近鄧鐵梅匪、劉景文殘黨が再び蠢動し始めたので奉天省警備司令部ではこれが徹底的掃蕩を期すべくこのほど安奉地區混成第二旅、遼河地區第三旅の出動を命ずるとゝもに奉天よりは教導隊並に混成第五旅が顧問部小越少佐司令部より滿良將軍張指揮の下に出動し二十三日以來漸次行動を開始して鄧鐵梅匪根據地を悉く潰滅すると共に混成第三旅の一部は廿四日夜楊木溝附近において約二百

遼陽繁榮策
鐵路總局で社宅借受け

【奉天特電二十五日發】遼陽司令部が分散し各地に移駐したので軍隊景氣で生命を保つてゐた市內は機關區の移轉の靜かさを受けて街は空家が多く司令部の一部には全滿軍用犬協會の育成所が淋しく部屋の一隅に陣取つてゐるだけで遼陽の自力更生については可なり各方面でいろ〱研究されつゝあるが未だこれといふ繁榮策もない、鐵路總局では國線の陣容充實で採用した新入社員の社宅緩和のため兵舍を借り受け宿舍に充てる樣子で當局と目下打合せ中であるといふ、若しこれが實現した曉は總局員その他で數百名の居住者が增加する模樣で遼陽としては一部生氣づける譯でありその實現を期待してゐる

あすは五色旗 けふ青天白日旗
急速に排除の機運

益々その國運の發展を期待されつゝある昨今の滿洲國にとつて一般海運業者間に對支海運對策上非常に興味ある問題が論議されつゝある

卽ち現在當然滿洲國の置籍船であるべき筈の船舶にして猶且對支貿易上滿支兩國の國旗を入港時に使用しあいまいなる二重國籍の態度を持續してゐる事實がある、かゝる事實は滿洲國の威信にも關係することであり、何等かこの際明白な態度を表すべきであるといはれてゐる滿洲國側船主中には既に天津港へ堂々滿洲國船舶として、これに對し支那側より何等抗議なく暗に滿洲國籍なる事を默認した形でその成功を喜ばれてゐるが更に疑問視されてゐた矢先き海、青島等支那各港に對しても同樣曖昧な態度を執らず旗幟を明らかにすべきであると主張されてゐる

無制限配當 覺束なし
競馬懇談會

關東廳主催全滿競馬懇談會は一時から再開、滿洲國立奉天會出走馬に關する件に入つた、滿洲國側の規則や方針が著しく實際に遠ざかつてゐるため議論多く大體左の如き點に意見の一致を見た

一、競馬開催期日（滿洲三大競馬……）

來滿直後の人が 最も罹病する
年齡は廿一歲から卅五歲まで 天然痘患者の調査

全滿にわたる天然痘の猖獗は猛烈であるが最も多い奉天で衞生課が昭和八年四月以降九月十二日までの日滿罹病者百名に就いて調査した結果によると左の如き興味ある統計を得た、內地より來滿直後の者が最も天然痘に罹患し易くまた年齡別にみて二十一歲乃至三十五歲の二期種痘後の者に多いことが

判明 した、卽ち患者百名中、內地渡來一年未滿の者六十二名あり五五・三六パーセントを示し、廿一歲乃至三十五歲の第二期定期種痘後五ケ年以上經過した者が六十四名あり、これまた五七パーセント強を示してゐる

この事實によつて渡來者の現在滿洲で未種痘の者は直に種痘を……

早大軍勝つ
七對零大連一中敗る
アイスホツケー戰

光る鴨江の氷
まだ油斷のならぬ匪賊の襲來
一考すべき開渠問題

城安バス試乘記（A）

和氣特派員記
佐內特派員撮影

滿洲國體協へ 入團希望者續出
民國體協を脫退し

採用試驗を行ふ
奉天鐵路總局

關東軍管下の 團隊長會議

キングスカウトを組織

白衣の勇士
滿期凱旋兵 二十八日着連

女の部屋（74）

林芙美子作　一木弴畫

母と娘（二）

綾子は持つてゐた茶を危く取り落しさうな程驚いた。

——どうしてゐたのよ、あんたまあ？

麗子は綾子の手を自分の手の中にしつかり握りしめて打振つた。

綾子は突嗟には口も利けない程此の思ひがけない邂逅に感動して了つてゐた。

——變つたわねえ！

——あんたも變つたわ。

綾子の聲は慄へてゐた。

——何時頃から此處に來てゐるの？

——もう四年になるわ。

——ぢや、あの直後ね。

——……

綾子は答へる代りに點頭いて見せた。その顏は明らかに何かの苦痛を忍んでゐるもの〻やうに硬直してゐた。

綾子と麗子とは女學校時代から同性愛と云はれる程仲よしで、何をするにも、何處に行くにも必ず一緒であつた。積極的で命令する事を喜ぶ麗子の氣性と、消極的で服從するのを喜ぶ綾子の氣性とはうまく一つになつて、恰も異性間の戀愛のやうな睦まじさが二人の間にかもされてゐたのだつた。

それが土方の出現によつて、更に麗子の勝利によつて、全く破壞されて了つた。戀の敗殘者になつた綾子は、音もなく麗子の前から姿を消して行つた。それ以來今日が始めての邂逅であつた。

二人は暫く無言で、つくづくとお互を打ち眺めてゐたが、軈て殆ど同時に太い吐息をついた。

——何時かゆつくり話し合ひたいわね。

麗子が懐愛をこめていつた。

——妾……誰もお友達がないのよ、聞いて貰ひたいことは山程あるのだけど、あんたを失くしてからつてもの、誰一人妾の本心を理解してくれる人もゐなければ、此方から話したいと思ふ人もゐないし……矢張りあんただわね……

綾子は淋しく微笑んでゐた。

——何時か逢つてくれない？

——逢つたつて……

——……昔のやうぢやないつての？

——妾には、あんたの不幸に同情するなんて事……出來さうにもないわ。

彈じかれた樣に綾子の手を離した。血の氣が徐々に彼女の顏から退いて行つた。泪がすーと一本頬を流れて絨毯の上に落ちた。又一つ。又一つ。

綾子は目を伏せてゐる。心の動搖を示すまいと一心に努力してゐる。だが彼女の唇はその心を裏切つてぴくぴく慄へてゐた。

——妾はあの時、それでもそれが貴女の幸福の爲ならと思つてどうにか自分を慰める事が出來たのだけど……綾子の聲は水の樣に冷靜だつた。その後のあんたの噂……おゝ！

今は彼女も心の激しい喘ぎを隱しおふせなくなつて、刺すやうな憎惡と侮蔑に燃える眼で此の友を睨みすゑた。そして身震ひした。

——うちの若樣なんかと出歩くあんたの煩悶なんか……

——もう云はないで！

麗子は取り縋る樣に云つた。

綾子は暫く石の樣に立ちつくしてゐたが、漸く冷靜さを取りかへすと、音もなく出て行つた。

麗子は聲をあげて泣き度い處を漸く我慢して、心臓を刳り抜かれるやうな苦悶を感じながら、ソファーの一つに身を落した。

其處へすつかり鬚を洗ひ落して短く剃つた眉もそのまゝの、餘計珍妙になつて了つた信一がニコニコしながら入つて來た。

滿日柳壇

カレンダー　編輯局選

大連　土肥　重一
新妻にカレンダーも笑ひ寄り
奉天　笠原　青蛙
カレンダーだけを殘して除隊兵
遼陽　大保　欣
カレンダー四五枚殘したまゝに暮
戀人を待つ間にむしる二三枚
大連　河東美津雄
嫁ぐ日を娘心でくつて見る
大晦日はうり出されたカレンダー
大石橋　久輔　滋男
カレンダー柱の上で春を待ち
大連　佐藤　奇坊
ルンペンへ新カレンダーの派出な色
大連　月波　眞平
佛滅よ女給は今日の日もめくり
カレンダー後三枚へ餅になり
旅順　桃井たかし
カレンダーへ愛想をまく年の暮
大連　林子　禾
カレンダーはがれたやうに老婆さま
大連　赤井　利坊
カレンダー剝いで時計の塵をふき
大連　市村　喜一
片足は墓穴にありとカレンダー見
斷しては居られぬ日當の端になり
出動の癖にカレンダーめくられる
カレーダーもういくつかは見逃され
新京　林田　深緑
カレンダー癖にさはつた日をめくり
大連　玉井　天坊
留守宅のカレンダー秋のまゝで暮
夜逃げしたその日を語るカレンダー
朝鮮　木内　爲栖
カレンダー數へるだけの數になり
カレンダー旗日を探してる或る日
出張の日を示してるカレンダー
遼陽　新見　貢
新舊のカレンダー並ぶ年の暮
新婚の夫婦へカレンダー分けてやり
大石橋　田中　仙人
不合格今年こそはと日をめくり

滿日柳壇課題

▽題「鏡」「友情」「湯」編輯局選
▽締切　二月十日（各題五句、別紙の事）
▽祝　滿洲帝國の祝吟高橋月南選
▽締切　二月十日一人一句（三月一日發表）
▽宛　本社編輯局川柳係宛
▽賞　佳吟に薄賞を呈す

大連　中川知美子
カレンダー見上げて妻は涙ぐみ
遼陽　星野　瓢六
カレンダーへ勘定書を添えて出し
カレンダーの旗日へ女給はしやいでる
東京　今井　泰雄
カレンダー一度にめくる年の暮
小平島　清風　充夫
平等に旗日のせまるカレンダー
新京　庄下　百鈴
正月を待つ子はカレンダー無茶にはぎ
カレンダーは桃色事件置いて行く
四平街　坂口　フミ
退院を待つカレンダー順に消し
抱いた子に明日の分迄めくらせる
大連　八尋たつを
失業へカレンダーさへも手に入らず
新京　美奈川五朗
暴君のカレンダー今日も旗印
開原　古市　贅六
カレンダー姉の婚日を數へて見
先勝の日今日も相場へ強く買ひ
恐れがち父の命日繰つて出し
大連　松浦　虎雄
カレンダーも子の數へる程になり
大連　今宮　三郎
青春譜土曜のコース待つ遠し
大連　外山　角照
御歳暮は皆カレンダーで持て餘し
大連　赤井　市郎
カレンダーの鏡へ女中嬉しがり
佛滅のカレンダー恨む不合格
大連　高川　照雄
暦から正月が出るやうに剝ぎ
大連　築　幽朶
カレンダー別の氣で見る姉妹
弟は誕生日まで皆めくり
カレンダー剝いで弟駄々をこね
新京　吉川　峰雲
非常時が西暦消してるカレンダー
大連　藤村　忠夫
カレンダー新年の氣分さきがける
奉天　野口　安生
カレンダーは破れし戀を清算し
御年玉犬のカレンダー持ち廻り
大連　久川美名都
嫁ぐ日をそつと讀んでるカレンダー
日めくりの子の歸る日を又數へ
カレンダー氣の付く度にむしられる
大連　吉岡　武久
年の暮夜店に並ぶカレンダー
戀人と逢う日を暦書いてあり
大連　志筑　乃公
カレンダーも買はねばならぬ獨者
カレンダーもめくらず嬉しい二人仲
大連　月森　輝
嫁ぐ前姉のカレンダーめくられず
旅順　木川つとむ
カレンダー二枚破つて叱られる
大連　櫻井　晴子
新カレンダー先づ休日が數へられ
カレンダー後一枚で年が明け
大連　安田　三郎
カレンダー弟電車の切符にし
奉天　香規　泉
カレンダーへ試驗準備をせかせられ
大連　平松　磊笑
日曜が見え透く土曜のカレンダー
カレンダめくれば十九の春は待ち
二枚宛めくつて夜勤の疲れやう
奉天　金毛利　忠
カレンダーで旅行きめる仲のよさ
嫁入前カレンダー破てひやかされ
奉天　寺林　晋
カレンダが坊主になつて春は待ち
大連　鈴木たつ坊
カレンダーまで不足する子澤山
陋屋の初春飾るカレンダー